

大警視川路利良関係文献抄—『警察手眼』検討を中心として—
—（附録）『大警視だより』及び『大警視だより』続刊等紹介—

（改訂稿・第五十八次補正稿）

（令和 7（2025）年 4 月 23 日（水）現在）

（参考 1）

- ・「法制史学者著作目録選（WEB 版）」中「明治警察史コーナー」参照。（平成 24 年 8 月 24 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

- ・「「明治警察史コーナー」所載項目一覧」（令和 4（2022）年 8 月 5 日（金）追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichiran003.pdf>〉

- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表 編修副長官従五位重野安繹撰— 明治警察史の一齣—」（平成 30 年 12 月 1 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉

（参考 2）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

- ・（改訂稿・第五十四次補正稿。令和 5（2023）年 11 月 19 日（日）現在）以降、本稿が電子版であることに鑑み、黒、赤の二色使用に変更した。

〔目 次〕

(掲載経緯)	7
(改訂年月日一覧)	8
(改訂経緯)	10

(改頁 1) ***** 15

1 はじめに (省略)	15
(仮序)	15
【関連事項】	15
【関連事項補正】	16
【参考事項】	17
(1) 「幕末掃苔屋 公式ブログ」	17
(2) 本 HP 別稿一覧	17
(3) 大警視川路利良研究関係記事抄	18

(改頁 2) ***** 23

2 関係文献等の概要	23
(1) 戦前	23
ア 単行書	23
(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29)	23
(イ) 大正年代 (大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24)	25
(ウ) 昭和戦前期 (昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15)	25

(改頁 3) ***** 27

イ その他	27
(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29)	27
(イ) 大正年代 (大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24)	28
(ウ) 昭和戦前期 (昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15)	28

(改頁 4) ***** 30

(2) 戦後	30
ア 単行書	30
(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7)	30
(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30)	34

(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	39
---------------------------	----

(改頁 5) ***** 42

イ その他	42
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	42
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	46
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	54

(改頁 6) ***** 59

ウ 小説類（含漫画）抽出	59
--------------	----

(改頁 7) ***** 64

3 『警察手眼』関係限定	64
(1) 戦前（明治元年～昭和 20 年、1868.9.08～1945.8.15）	64
ア 単行書	64
イ その他	65
(2) 戦後（昭和 20 年～、1945.8.16～）	65
ア 単行書	65
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	65
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	66
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	67
イ その他	67
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	67
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	67
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	68

(改頁 8) ***** 69

(3) 関係者別	69
ア 佐和正（校閲者）	69
イ 丁野遠影（「緒言」の執筆者）	71
ウ 植松直久（編纂者）	72

(改頁 9) ***** 72

4 その他（1 記念関係）	73
---------------	----

- (1) 旧邸（東京）73
- (2) 頌徳碑（東京）74
- (3) 弥生慰霊堂（東京）（抄）74
- (4) 銅像（東京）（抄）74
- (5) 警視庁（東京）74
- (6) 警視庁創立 150 年関係（東京）75
- (7) 鹿児島での記念碑等（抄）75

(改頁 10) ***** 77

5 その他（2 資料類）77

- (1) 『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』関係77
- (2) 警察史研究会会誌『手眼』全三冊内容概略78
- (3) 雑誌『敬天愛人』80
- (4) 川路利良漢詩集81
- (5) 警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧.....82
- (6) 調査中84

(改頁 11) ***** 85

(附録 1) 『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介.....85

- (1) 旧『大警視だより』（『大警視だより』。鹿児島・「大警視川路利良」研究会刊 ⇒ 大警視川路利良研鑽会刊）85

(改頁 12) ***** 88

- (2) 新『大警視だより』（『大警視だより』続刊）。東京・大警視川路利良研鑽会刊） 88
- ・『大警視だより』続刊第 1 号（通巻第 30 号、平成 28（2016）年 3 月 31 日刊）...88
- ・『大警視だより』続刊第 2 号（通巻第 31 号、平成 28（2016）年 8 月 1 日刊）...89
- ・『大警視だより』続刊第 3 号（通巻第 32 号、平成 29（2017）年 1 月 1 日刊）...90
- ・『大警視だより』続刊第 4 号（通巻第 33 号、平成 29（2017）年 7 月 1 日刊）...91
- ・『大警視だより』続刊第 5 号（通巻第 34 号、平成 30（2018）年 1 月 1 日刊）...92
- ・『大警視だより』続刊第 6 号（通巻第 35 号、平成 30（2018）年 7 月 1 日刊）...93
- ・『大警視だより』続刊第 7 号（通巻第 36 号、平成最終号、平成 31（2019）年 1 月 1 日刊）93
- ・『大警視だより』続刊第 8 号（通巻第 37 号、加藤晶会長追悼号、令和（2019）元年 7 月 1 日刊）94
- ・『大警視だより』続刊第 9 号(加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、令和 2（2020）年 1 月 1 日刊）95

・『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2（2020）年 7 月 1 日刊）	96
・『大警視だより』続刊第 11 号（加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第 40 号、令和 3（2021）年 1 月 1 日刊）	97
・『大警視だより』続刊第 12 号（福永英男前部会長追悼号、通巻第 41 号、令和 3（2021）年 7 月 1 日刊）	98
・『大警視だより』続刊第 13 号（松井幹郎先生追悼号、通巻第 42 号、令和 3（2021）年 10 月 13 日刊）	99
『大警視だより』続刊第 14 号（福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第 43 号、令和 4（2022）年 1 月 1 日刊）	100
・『大警視だより』続刊第 15 号（松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第 44 号、令和 4（2022）年 7 月 1 日刊）	101
・『大警視だより』続刊第 16 号（通巻第 45 号、令和 5（2023）年 1 月 1 日刊）	102
・『大警視だより』続刊第 17 号（通巻第 46 号、令和 5（2023）年 7 月 1 日刊）	103
・『大警視だより』続刊第 18 号（通巻第 47 号、令和 6（2024）年 1 月 1 日刊）	104
・『大警視だより』続刊第 19 号（廣瀬權警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第 48 号、令和 6（2024）年 7 月 1 日（月）刊）	105
・『大警視だより』続刊第 20 号（復刊第 20 号、創刊第 50 号記念号、通巻第 50 号（通号変更（「臨時特別号」を加算）、令和 7（2025）年 1 月 1 日刊）	107
・『大警視だより』続刊第 21 号（通巻第 51 号、令和 7（2025）年 7 月 1 日（火）刊）、	109
【参考】『大警視だより』続刊発行「追悼号」、「記念号」紹介	110

（改頁 13） ***** 111

（附録 2）（関係分重複掲載）警察政策学会警察史研究部会作成関係資料……………111

（1）「警察政策学会資料」……………111

（2）「警察政策学会学会資料・別刷」……………112

（附録 3）（関係分重複掲載）大警視川路利良研鑽会刊行物……………112

（改頁 14） ***** 113

（附録 4）警察政策学会警察史研究部会作成「警察政策学会資料」抄—『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』関係—……………113

1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警察政策学会資料第 110 号、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊。「第一輯」に相当。）目次一覧…	114
2 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【上冊】』（警察政策学会資料第 114 号、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）目次一覧…	119
3 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【下冊】』（警察政策学会資料第 115 号、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）目次一覧…	121
4 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）—福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』（警察政策学会資料第 122 号、令和 4（2022）年 5 月 8 日刊）目次一覧…	123
5 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察政策学会資料第 130 号、令和 5（2023）年 8 月刊）目次一覧…	128
6 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第五輯）』（警察政策学会資料第 138 号、令和 6（2024）年 12 月刊）目次一覧…	130
7 『武藤誠先生略年譜・著作目録』（警察政策学会資料・別冊。警察政策学会、平成 26（2014）年 11 月 7 日刊）目次一覧…	132
8 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷、令和元（2019）年 10 月 1 日刊）目次一覧…	134

（改頁 15） ***** 136

【参考】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄） ……136

（改頁 16） ***** 136

【目次再掲】 ……137～141

(掲載経緯)

- ・本文献目録は、『高橋雄豺博士・田村豊氏・中原英典氏等略年譜・著作目録並びに『警察協会雑誌』資料一斑等—明治警察史雑纂 第二輯—』（平成 19（2007）年 3 月 1 日刊、CD 版有。）106～117 頁掲載の「川路大警視関係文献一斑」を、改題（「大警視川路利良関係文献抄—『警察手眼』検討を中心として—」）の上、改訂しつつあるものである。ただし、本文中「1 はじめに」及び「2 関係文献の概要（省略）」は省略した。

（改訂稿：平成 19（2007）年 8 月 2 日作成）

- ・従来「5 その他」中にあった『大警視だより』及び『大警視だより』続刊関係記載を「(附録)『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介」と独立させ、副題ともした。

（令和 5（2023）年 3 月 10 日追記）

- ・従来の「2 関係文献の概要（省略）」は存在自体をなくし、「3 全体」を「2 関係文献等の概要」に変更し、以後番号を修正した。（令和 6（2024）年 4 月 28 日追記）

(改訂年月日一覧)

初稿：平成 19（2007）年 3 月 1 日（木）作成

（註：現状は下記の如く「平成 19（2007）年 8 月 2 日（木）作成改訂稿」

（初稿の第一次補正稿）以降各次「補正稿」の形態となる。）

（HP 初載）：改訂稿（初稿の第一次補正稿）：平成 19（2007）年 8 月 2 日（木）作成

改訂稿：第二次補正稿：平成 20（2008）年 1 月 25 日作成

改訂稿：第三次補正稿：平成 20（2008）年 3 月 14 日作成

改訂稿：第四次補正稿：平成 20（2008）年 6 月 8 日作成

改訂稿：第五次補正稿：平成 20（2008）年 7 月 4 日作成

改訂稿：第六次補正稿：平成 20（2008）年 9 月 14 日作成

改訂稿：第七次補正稿：平成 20（2008）年 12 月 28 日作成

改訂稿：第八次補正稿：平成 21（2009）年 3 月 9 日作成

改訂稿：第九次補正稿：平成 21（2009）年 3 月 31 日作成

改訂稿：第十次補正稿：平成 21（2009）年 9 月 6 日作成

改訂稿：第十一次補正稿：平成 22（2010）年 5 月 1 日作成

改訂稿：第十二次補正稿：平成 22（2010）年 10 月 5 日作成

改訂稿：第十三次補正稿：平成 24（2012）年 8 月 24 日作成

改訂稿：第十四次補正稿：平成 24（2012）年 9 月 27 日作成

改訂稿：第十五次補正稿：平成 25（2013）年 3 月 7 日（木）作成

改訂稿：第十六次補正稿：平成 25（2013）年 4 月 16 日（火）作成

改訂稿：第十七次補正稿：平成 25（2013）年 8 月 6 日（火）作成

改訂稿：第十八次補正稿：平成 25（2013）年 10 月 31 日（木）作成

改訂稿：第十九次補正稿：平成 25（2013）年 11 月 15 日（金）作成

改訂稿：第二十次補正稿：平成 26（2014）年 5 月 31 日（土）作成

改訂稿：第二十一次補正稿：平成 26（2014）年 7 月 9 日（水）作成

改訂稿：第二十二次補正稿：平成 26（2014）年 7 月 26 日（土）作成

改訂稿：第二十三次補正稿：平成 26（2014）年 8 月 31 日（日）作成

改訂稿：第二十四次補正稿：平成 26（2014）年 10 月 16 日（木）作成

改訂稿：第二十五次補正稿：平成 26（2014）年 11 月 16 日（日）作成

改訂稿：第二十六次補正稿：平成 26（2014）年 12 月 21 日（日）作成

改訂稿：第二十七次補正稿：平成 26（2014）年 12 月 23 日（火）作成

改訂稿：第二十八次補正稿：平成 27（2015）年 2 月 22 日（日）作成

改訂稿：第二十九次補正稿：平成 27（2015）年 6 月 6 日（土）作成

改訂稿：第三十次補正稿：平成 27（2015）年 7 月 12 日（日）作成

改訂稿：第三十一次補正稿：平成 27（2015）年 8 月 25 日（火）作成

改訂稿：第三十二次補正稿：平成 27（2015）年 10 月 8 日（木）作成

改訂稿：第三十三次補正稿：平成 28（2016）年 1 月 2 日（土）作成

改訂稿：第三十四次補正稿：平成 28（2016）年 4 月 13 日（水）作成

改訂稿：第三十五次補正稿：平成 28（2016）年 6 月 25 日（土）作成
改訂稿：第三十六次補正稿：平成 28（2016）年 8 月 1 日（月）作成
改訂稿：第三十七次補正稿：平成 28（2016）年 10 月 23 日（火）作成
改訂稿：第三十八次補正稿：平成 28（2016）年 12 月 18 日（日）作成
改訂稿：第三十九次補正稿：平成 28（2016）年 12 月 24 日（土）作成
改訂稿：第四十次補正稿：平成 29（2017）年 3 月 17 日（金）作成
改訂稿：第四十一次補正稿：平成 29（2017）年 5 月 3 日（水）作成
改訂稿：第四十二次補正稿：平成 29（2017）年 6 月 28 日（水）作成
改訂稿：第四十三次補正稿：平成 29（2017）年 7 月 20 日（木）作成
改訂稿：第四十四次補正稿：平成 29（2017）年 11 月 25 日（土）作成
改訂稿：第四十五次補正稿：平成 30（2018）年 1 月 17 日（水）作成
改訂稿：第四十六次補正稿：平成 30（2018）年 6 月 10 日（日）作成
改訂稿：第四十七次補正稿：平成 30（2018）年 8 月 9 日（木）作成
改訂稿：第四十八次補正稿：平成 30（2018）年 12 月 1 日（土）作成
改訂稿：第四十九次補正稿：平成 31（2019）年 2 月 3 日（日）作成
改訂稿：第五十次補正稿：平成 31（2019）年 4 月 7 日（日）作成
改訂稿：第五十一次補正稿：令和元（2019）年 6 月 18 日（火）作成
改訂稿：第五十二次補正稿：令和 4（2022）年 8 月 5 日（金）作成
改訂稿：第五十三次補正稿：令和 5（2023）年 3 月 10 日（金）作成
改訂稿：第五十四次補正稿：令和 5（2023）年 11 月 19 日（日）作成
改訂稿：第五十五次補正稿：令和 6（2024）年 2 月 8 日（木）作成
改訂稿：第五十六次補正稿：令和 6（2024）年 4 月 28 日（日）作成
改訂稿：第五十七次補正稿：令和 7（2025）年 1 月 4 日（土）作成
改訂稿：第五十八次補正稿：令和 7（2025）年 4 月 23 日（水）作成

(改訂経緯)

- ・(改訂稿: 第一次補正稿(初稿の第一次補正稿): 平成 19 (2007) 年 12 月 22 日作成)
上記に多少補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第二次補正稿: 平成 20 年 1 月 25 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第三次補正稿: 平成 20 年 3 月 14 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第四次補正稿: 平成 20 年 6 月 8 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第五次補正稿: 平成 20 年 7 月 4 日作成)
これまでの表題「大警視川路利良関係文献抄(改訂稿)」を「大警視川路利良関係文献抄—『警察手眼』検討を中心として—(改訂稿)」と再度改題し、更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第六次補正稿: 平成 20 年 9 月 14 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第七次補正稿: 平成 20 年 12 月 28 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第八次補正稿: 平成 21 年 3 月 9 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第九次補正稿: 平成 21 年 3 月 31 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十次補正稿: 平成 21 年 9 月 6 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十一次補正稿: 平成 22 年 5 月 1 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十二次補正稿: 平成 22 年 10 月 5 日作成)
更に、河内屋信吉氏『侍たちの警視庁』(自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊) 追加等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十三次補正稿: 平成 24 年 8 月 24 日作成)
更に、「大警視だより」(「大警視川路利良研究会刊 ⇒大警視川路利良研鑽会、平成 23 年 6 月 13 日創刊〜)、河内貞芳氏『侍たちの警視庁 大警視川路利良の時代』(自己出版、平成 24 年 6 月 10 日刊。上記河内屋信吉氏書の改訂版) 追加等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十四次補正稿: 平成 24 年 9 月 27 日作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十五次補正稿: 平成 25 年 3 月 7 日(木) 作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十六次補正稿: 平成 25 年 4 月 16 日(火) 作成)
更に一、二補正を加えた。

- ・(改訂稿: 第十七次補正稿: 平成 25 年 8 月 6 日 (火) 作成)
更に一、二補正を加えた。肥後精一氏の御長逝 (平成 24 年 11 月 6 日) を記載した。
- ・(改訂稿: 第十八次補正稿: 平成 25 年 10 月 31 日 (木) 作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第十九次補正稿: 平成 25 年 11 月 15 日 (金) 作成)
更に一、二補正を加えた。武藤誠氏の御長逝 (平成 25 年 11 月 7 日) を記載した。
- ・(改訂稿: 第二十次補正稿: 平成 26 年 5 月 31 日 (土) 作成)
更に一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第二十一次補正稿: 平成 26 年 7 月 9 日 (水) 作成)
『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』の項目を新設するとともに、『大警視だより』第 20 号記事等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第二十二次補正稿: 平成 26 年 7 月 26 日 (土) 作成)
従来検索に不便であったことから、見出し番号を変更するとともに、著作刊行年号欄を新設し、多少読みやすくした。その他一、二補正を加えた。
- ・改訂稿: 第二十三次補正稿: 平成 26 年 8 月 31 日 (日) 作成)
更に『大警視だより』第 21 号記事等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第二十四次補正稿: 平成 26 年 10 月 16 日 (木) 作成)
平成 26 年 10 月 13 日開催予定の「大警視川路利良生誕一八〇年・大警視川路利良研鑽会結成三周年記念」祝賀行事の件、警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会、平成 26 年 11 月 7 日刊) 刊行の件等を追加した。
- ・(改訂稿: 第二十五次補正稿: 平成 26 年 11 月 16 日 (日) 作成)
『大警視だより』第 22 号 (平成 26 年 12 月 13 日刊) 掲載の上記平成 26 年 10 月 13 日開催「大警視川路利良生誕一八〇年・大警視川路利良研鑽会結成三周年記念」祝賀行事の件等を追加した。
- ・(改訂稿: 第二十六次補正稿: 平成 26 年 12 月 21 日 (日) 作成)
『大警視だより』第 23 号 (平成 27 年 2 月 13 日刊)、DVD『川路利良生誕一八〇年 研鑽会発足三周年記念』(大警視川路利良研鑽会、平成 26 年 12 月 13 日刊) の件等を追加した。
- ・(改訂稿: 第二十七次補正稿: 平成 26 年 12 月 23 日 (火) 作成)
誤植を補正した。
- ・(改訂稿: 第二十八次補正稿: 平成 27 年 2 月 22 日 (日) 作成)
『大警視だより』第 24 号 (平成 27 年 4 月 13 日刊) 記事等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第二十九次補正稿: 平成 27 年 6 月 6 日 (土) 作成)
『大警視だより』臨時特別号 (川路知子様哀悼号) (平成 27 年 3 月 28 日刊) 及び同第 25 号 (平成 27 年 6 月 13 日刊) 記事等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第三十次補正稿: 平成 27 年 7 月 12 日 (日) 作成)
『大警視だより』第 26 号 (武藤誠先生 三回忌 近し 追悼号) (平成 27 年 8 月 13 日刊) 記事等一、二補正を加えた。

- ・(改訂稿: 第三十一次補正稿: 平成 27 年 8 月 25 日 (火) 作成)
『大警視だより』第 27 号 (大警視没後 136 年を記念して大警視を偲ぶ諸稿を掲載) (平成 27 年 10 月 13 日刊) 記事等一、二補正を加えた。
- ・(改訂稿: 第三十二次補正稿: 平成 27 (2015) 年 10 月 8 日 (木) 作成)
大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』(発行者: 川路利永、編集者: 鹿児島市・松井幹郎、平成 27 年 12 月 13 日刊) 刊行の件等を追加した。
- ・(改訂稿: 第三十三次補正稿: 平成 28 (2016) 年 1 月 2 日 (土) 作成)
『大警視だより』第 28 号 (平成 27 年 12 月 13 日刊) 発行記事等を追加した。
- ・(改訂稿: 第三十四次補正稿: 平成 28 (2016) 年 4 月 13 日 (水) 作成)
全体のレイアウトを一部修正し、本 HP 検索の便を図るため、「(改頁) *****」を随所に設けた。また、松井幹郎氏発行『大警視だより』最終第 29 号 (平成 28 年 2 月 13 日刊) 発行記事及び『大警視だより』続刊第 1 号 (通巻第 30 号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成 28 年 3 月 31 日刊) 発行経緯等を追加した。
- ・(改訂稿: 第三十五次補正稿: 平成 28 (2016) 年 6 月 25 日 (土) 作成)
全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第三十六次補正稿: 平成 28 (2016) 年 8 月 1 日 (月) 作成)
『大警視だより』続刊第 2 号 (通巻第 31 号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成 28 年 8 月 1 日刊) について言及した。
- ・(改訂稿: 第三十七次補正稿: 平成 28 (2016) 年 10 月 23 日 (日) 作成)
全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第三十八次補正稿: 平成 28 (2016) 年 12 月 18 日 (日) 作成)
『大警視だより』続刊第 3 号 (通巻第 32 号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成 29 年 1 月 1 日刊) について言及の上、全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第三十九次補正稿: 平成 28 (2016) 年 12 月 24 日 (土) 作成)
伊東潤氏『走狗』(中央公論新社、平成 28 年 12 月 25 日刊) に言及の上全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十次補正稿: 平成 29 (2017) 年 3 月 17 日 (金) 作成)
(復刊)『中村徳五郎 [著] 川路大警視 付・鈴木蘆堂 [著] 大警視川路利良君伝』(周南市・マツノ書店、平成 29 年 4 月刊) に言及の上全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十一次補正稿: 平成 29 (2017) 年 5 月 3 日 (水) 作成)
全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十二次補正稿: 平成 29 (2017) 年 6 月 28 日 (水) 作成)
『大警視だより』続刊第 4 号 (通巻第 33 号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成 29 年 7 月 1 日刊) について言及の上、全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十三次補正稿: 平成 29 (2017) 年 7 月 20 日 (木) 作成)
全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十四次補正稿: 平成 29 (2017) 年 11 月 25 日 (土) 作成)
『大警視だより』続刊第 5 号 (通巻第 34 号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成 30 年

- 1月1日刊)について言及の上、全体にわたって補正した。
- ・(改訂稿: 第四十五次補正稿: 平成30(2018)年1月17日(水)作成)
全体にわたって補正した。作成)
 - ・(改訂稿: 第四十六次補正稿: 平成30(2018)年6月10日(日)作成)
『大警視だより』続刊第6号(通巻第35号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成30年7月1日刊)について言及の上、全体にわたって補正した。
 - ・(改訂稿: 第四十七次補正稿: 平成30(2018)年8月9日(木)作成)
全体にわたって補正した。
 - ・(改訂稿: 第四十八次補正稿: 平成30(2018)年12月1日(土)作成)
『大警視だより』続刊第7号(通巻第36号。横浜・大警視川路利良研鑽会、平成31年1月1日刊)について言及の上、全体にわたって補正した。
 - ・(改訂稿: 第四十九次補正稿: 平成31(2019)年2月3日(日)作成)
全体にわたって補正した。
 - ・(改訂稿: 第五十次補正稿: 平成31(2019)年4月7日(日)作成)
「5 その他」に「(12) 川路利良漢詩集」を新設するとともに、全体にわたって補正した。
 - ・(改訂稿: 第五十一次補正稿: 令和元年(2019)年6月18日(火)作成)
『大警視だより』続刊第8号(加藤晶会長追悼号、通巻第37号、令和元(2019)年7月1日刊)について言及の上、全体にわたって補正した。
なお、同稿は一部補正の上、下記に収載した。
 - ・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷、令和元(2019)年10月1日刊)中「第1編 大警視川路利良関係文献抄」1~66頁
(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I030121097>)
 - ・(改訂稿: 第五十二次補正稿: 令和4年(2022)年8月5日(金)作成)
レイアウトを全面的に変更し、一部補正、追加した。
 - ・(改訂稿: 第五十三次補正稿: 令和5年(2023)年3月10日(金)作成)
従来「5 その他」中にあった『大警視だより』及び『大警視だより』続刊関係記載を「(附録)『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介」と独立させ、副題とした。
加えて、全体にわたって補正、追加した。
 - ・(改訂稿: 第五十四次補正稿: 令和5(2023)年11月19日(日)作成)
本稿が電子版であることに鑑み、黒赤二色使用に変更するとともに、全体にわたって補正、追加した。
 - ・(改訂稿: 第五十五次補正稿: 令和6(2024)年2月8日(木)作成)
(改頁14) 個所に、「(附録4) 警察政策学会警察史研究部会作成「警察政策学会資料」抄—『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』関係—」を新設追加するとともに、全体にわたって補正、追加した。
 - ・(改訂稿: 第五十六次補正稿: 令和6(2024)年4月28日(日)作成)
以下のように変更するとともに、全体にわたって修正した。

- ・「2 関係文献の概要（省略）」を削除し、「3 全体」を「2 関係文献等の概要」に変更し、以下番号を修正した。

「5 その他」を、「5 その他（1）」と「5 その他（2）」に分けた。

- ・（改訂稿：第五十七次補正稿：令和 7（2025）年 1 月 4 日（土）作成）

全体にわたって補正、追加した。

- ・（改訂稿：第五十八次補正稿：令和 7（2025）年 4 月 23 日（水）作成）

全体にわたって補正、追加した。

(改頁 1) *****

1 はじめに (省略)

(仮序)

本「大警視川路利良関係文献抄—『警察手眼』検討を中心として—」は、平成 19 (2007) 年 3 月に副題 (「—『警察手眼』検討を中心として—」) の如く川路大警視『警察手眼』検討に資するため関係文献の一端を整理し始め、その後適宜改訂増補しつつあるものである。単に明治警察史検討の観点から渉猟しているだけのものであって、日本近代政治史ないし日本内政史研究文献からの抽出は、一部を除きほとんどしていないことをお断りしておく。

(平成 30 (2018) 年 8 月 9 日追記)

【関連事項】

- ・ 川路利良 (1834.6.17~1879.10.13、天保 5 年 5 月 11 日~明治 12 年 10 月 13 日)
〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%9D%E8%B7%AF%E5%88%A9%E8%89%AF>〉
- ・ 国立国会図書館サーチ: 「川路利良」、「川路大警視」等で検索のこと (平成 24 年 11 月 8 日追加)
〈<http://iss.ndl.go.jp/>〉
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料「川路利良」、「川路大警視」等で検索のこと (平成 24 年 11 月 8 日追加)
〈<http://www.ndl.go.jp/>〉
- ・ 国立国会図書館近代デジタルライブラリー: 「川路利良」、「川路大警視」等で検索のこと (平成 24 年 11 月 8 日追加)
〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉
なお、近代デジタルライブラリーは平成 28 年 5 月末で終了し、国立国会図書館デジタルコレクション 〈<http://dl.ndl.go.jp/>〉と統合された。(この部分平成 28 年 8 月 1 日追加)
〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%BF%91%E4%BB%A3%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%AA%E3%83%BC>〉
- ・ 国会図書館の検索システムは平成 30 年 1 月初めに変更された。〈<http://www.ndl.go.jp/>〉
(平成 30 年 1 月 17 日追加)
- ・ 国立公文書館デジタルアーカイブ・システム: 「川路利良」、「川路大警視」等で検索のこと (平成 21 年 9 月 7 日追加)
〈<https://www.digital.archives.go.jp/>〉

- ・ CiNii（平成 25 年 3 月 7 日追加、同 30 年 2 月 3 日一部修正）

〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

〈<http://ci.nii.ac.jp/>〉

【関連事項補正】（令和 4 年 8 月 5 日追加）

- ・ 法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・ 国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・ 国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・ 国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和 4（2022）年 5 月 19 日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・ 国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和 4（2022）年 4 月 1 日追加）
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・ CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

【参考事項】

(1)「幕末掃苔屋 公式ブログ」(平成 24 年 9 月 27 日追加、平成 26 年 10 月 16 日補正)

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya>〉

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/c/7095f3867f9f4d1a9ddabe547bb5ca>〉

(2) 本 HP 別稿一覧 (平成 24 年 8 月 24 日新設追加)

- ・「法制史学者著作目録選」中 ⇒ 「明治警察史コーナー」:

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

- ・「「明治警察史コーナー」所載項目一覧」(令和 4 (2022) 年 8 月 5 日 (金) 追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichiran003.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑(碑文全文、付句読点文、書下し文)一故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰一 一明治警察史の一齣一」(HP 初載: 平成 21 年 9 月 26 日 (土) 初稿作成)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「佐和正関係文献抄一明治警察史の一齣一」(HP 初載: 平成 20 年 12 月 15 日初稿作成)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について一中原英典氏のお問いかけを追って一」〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「国分友諒顕彰碑について一原田弘先生のお教えに接して一」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshohi.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「篠崎五郎関係資料抄一台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人一 一明治警察史の一齣一」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「高橋雄豺博士著作目録(再訂稿)」(平成 24 年 9 月 27 日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「田村豊氏著作目録」(平成 26 年 8 月 31 日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉

- ・本 HP 別稿「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄(参考)渡辺忠威氏警察史関係文献抄」(平成 24 年 9 月 27 日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

(3) 大警視川路利良研鑽会関係記事抄（令和元年 6 月 8 日小見出し新設、整理）

* 肥後精一氏の御逝去（平成 25（2013）年 5 月 12 日追加）

・戦後川路大警視研究に大きな業績をあげられた肥後精一氏（1915～2012）におかれては、平成 24（2012）年 11 月 6 日鹿児島県にて長逝されたとお聞きする。享年 96。謹んで御冥福をお祈りするものである。

・『大警視だより』No.22（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 12 月 13 日刊）に、平成 26 年 10 月 13 日（月、体育の日）開催の「大警視川路利良生誕一八〇年及び大警視川路利良研鑽会発足三周年記念祝賀行事『墓参、記念講演等、祝賀会及び懇親会』」記事とともに、肥後精一氏三回忌記事が掲載されている。（平成 26 年 11 月 16 日追加）

* 武藤誠氏の御逝去（平成 25 年 11 月 15 日追加）

・戦後川路大警視研究に大きな業績をあげられた元警察大学校長武藤誠氏（1922.5.20～2013）におかれては、平成 25（2013）年 11 月 7 日静岡県で長逝された。享年 91。謹んで御冥福をお祈りするものである。御著作目録刊行が望まれる。

〈<http://www.asahi.com/articles/TKY201311110258.html>〉

〈<http://fuhoh.seesaa.net/article/380158408.html>〉

・上記御著作目録として、警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』（警察政策学会、平成 26（2014）年 11 月 7 日刊）が刊行された。

〈<http://ci.nii.ac.jp/ncid/BB17092387>〉（平成 26 年 10 月 16 日追加）

・『季刊現代警察』第 152 号（平成 29（2017）年 3 月 15 日刊）96 頁所載「〔出版のお知らせ〕」中に武藤誠氏著『明治の炎 『警察手眼』の世界』（啓正社文庫、昭和 62 年 8 月 10 日刊）の紹介あり。（平成 29 年 5 月 3 日追加）

・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年 10 月 1 日刊。序文：廣瀬權部会長）中に「武藤誠先生略年譜・著作目録」（抄録）が収録されている。（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

* 『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』の刊行

（平成 27 年 10 月 8 日追加）

・平成 27（2015）年 10 月 13 日（火）に大警視川路利良研鑽会編『大警視だより』（隔月刊行）の第 1 号～第 27 号（＋臨時特別号）を集成した大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（発行者：川路利永氏、編集者：鹿児島市・松井幹郎氏、平成 27（2015）年 10 月 13 日刊）が刊行された。臨時特別号は、「川路知子様哀悼号、通し番号はなし、大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 3 月 28 日刊」4 である（川路利永名誉会長御母堂川路知子様平成 27 年 3 月 3 日御長逝、享年 97。本臨時特別号は実際は第 24 号発行後に刊行。）。

＊『大警視だより』、第 29 号（平成 28 年 2 月 13 日刊）で休刊

（平成 28 年 4 月 13 日追加、同年 12 月 19 日、令和 5 年 11 月 19 日各一部補正）

・創刊者松井幹郎氏は、『大警視だより』第 28 号（平成 27（2015）年 12 月 13 日刊）上で健康上の事情からの休刊予告を載せられ、次いで第 29 号（平成 28（2016）年 2 月 13 日刊）を発行す。同号が同氏編輯発行に係る『大警視だより』の最終号となる。

・上記『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』に未収録のNo.28 及び No.29 は、下記『大警視だより』続刊第 3 号（横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 29 年 1 月 1 日刊）に再録された。⇒その後警察政策学会資料第 122 号 106～108 頁に再々録。

＊『大警視だより』続刊の刊行と発行状況（継続追加中）

・平成 28（2016）年 3 月末に『大警視だより』続刊第 1 号（通巻第 30 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 28 年 3 月 31 日刊）が発行された。『大警視だより』続刊は、上記松井幹郎氏編輯に係る『大警視だより』を継承するもので、警察政策学会警察史研究部会長加藤晶氏等同部会有志の編輯より発行されしものである。なお、加藤氏は、同日付けで研究部会長を退任され、翌年度から大警視川路利良研鑽会会長に就任された。

現在までの発行状況は、下記のとおりである。（平成 28 年 4 月 13 日追加、以下継続中）

＊『大警視だより』続刊第 1 号（通巻第 30 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 28 年 3 月 31 日刊）

＊『大警視だより』続刊第 2 号（通巻第 31 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 28 年 8 月 1 日刊）の発行（平成 28 年 8 月 1 日追加）

＊『大警視だより』続刊第 3 号（通巻第 32 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 29 年 1 月 1 日刊）の発行（平成 28 年 12 月 18 日追加）

＊『大警視だより』続刊第 4 号（通巻第 33 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 29 年 7 月 1 日刊）の発行（平成 29 年 8 月 1 日追加）

＊『大警視だより』続刊第 5 号（通巻第 34 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 30 年 1 月 1 日刊）の発行（平成 29 年 11 月 25 日追加）

＊『大警視だより』続刊第 6 号（通巻第 35 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 30（2018）年 7 月 1 日刊）の発行（平成 30 年 1 月 17 日追加、同年 8 月 9 日一部修正）

＊『大警視だより』続刊第 7 号（平成最終号、通巻第 36 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、平成 31（2019）年 1 月 1 日刊）の発行（平成 30 年 12 月 1 日追加）

（松井幹郎氏創刊の『大警視だより』を平成 28（2016）年春に継承した『大警視だより』続刊の主宰者であった元警察政策学会警察史研究部会長、大警視川路利良研鑽会会長加藤晶氏（1930～2019.5.8）におかれては、令和元（2019）年 5 月 8 日に逝去されたことより、廣瀬権氏が後任会長に就任された。）

＊『大警視だより』続刊第 8 号（加藤晶会長追悼号、通巻第 37 号、横浜・大警視川路利良研鑽会刊、令和元年 7 月 1 日刊）の発行（令和元年 6 月 18 日追加）

＊『大警視だより』続刊第 9 号（加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、令和 2（2020）年 1 月 1 日刊）の発行（令和 4 年 8 月 5 日追加）

- *『大警視だより』続刊第10号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第10号記念号、通巻第39号、令和2（2020）年7月1日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』続刊第11号（加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第40号、令和3（2021）年1月1日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』第12号（福永英男前部会長追悼号、通巻第41号、令和3（2021）年7月1日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』続刊第13号（松井幹郎先生追悼号、通巻第42号、令和3（2021）年10月13日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』続刊第14号（福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第43号、令和4（2022）年1月1日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』続刊第15号（松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第44号、令和4（2022）年7月1日刊）の発行（令和4年8月5日追加）
- *『大警視だより』続刊第16号（通巻第45号、令和5（2023）年1月1日刊）（令和5年3月10日追加）
- *『大警視だより』続刊第17号（通巻第46号、令和5（2023）年7月1日刊）（令和5年3月10日追加）
- *『大警視だより』続刊第18号（通巻第47号、令和6（2024）年1月1日刊）（令和5年11月19日追加）
- *『大警視だより』続刊第19号（廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第48号、令和6（2024）年7月1日（月）刊）（令和6年4月28日追加）
- *『大警視だより』続刊第20号（廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第50号（今回から上記『大警視だより』臨時特別号（平成27（2015）年3月28日刊）をも通巻内に包含し通巻号数を改訂した。）、令和7（2025）年1月1日（水）刊）（令和7年1月4日追加）
- *『大警視だより』続刊第21号（通巻第50号、令和7（2025）年1月1日（水）刊）（令和7年4月23日追加）（以下続刊）

***加藤晶氏の御逝去**（令和元年6月18日追加）

・松井幹郎氏創刊の『大警視だより』を平成28（2016）年春に継承した『大警視だより』続刊の主宰者であった元警察政策学会警察史研究部会長、大警視川路利良研鑽会会長加藤晶氏（1930～2019.5.8）におかれては、令和元（2019）年5月8日横浜市で長逝された。享年89。謹んで御冥福をお祈りするものである。なお、加藤氏の後任研鑽会会長には翌日付けで廣瀬権氏が就任された。

・『大警視だより』続刊第8号（加藤晶会長追悼号、通巻第37号、令和元（2019）年7月1日刊）が刊行された。その後の『大警視だより』続刊にも記念稿その他収録。

***原田弘氏の御逝去**（令和 4 年 8 月 5 日追加）

大警視川路利良研鑽会名誉会員原田弘氏（1927～2021）には、悲しい哉令和 3（2021）年 7 月 6 日逝去された。94 歳（享年 95）。寔に痛惜の念に堪えません。謹んで御冥福をお祈りいたします。

***松井幹郎氏の御逝去**（令和 4 年 8 月 5 日追加）

『大警視だより』創刊者にして大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表松井幹郎氏（MATSUI MIKIRO、みきろう、1935～2021）先生には、病いのため令和 3（2021）年 8 月 17 日（火）鹿児島市で逝去された。享年 87（満 85 歳）。寔に痛惜の念に堪えません。謹んでお悔み申し上げますとともに、御冥福をお祈りいたしております。

***警察政策学会警察史研究部会長及び大警視川路利良研鑽会会長の交代**

（『大警視だより』続刊第 19 号（廣瀬權警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第 48 号、令和 6（2024）年 7 月 1 日（月）刊）6 頁記載）（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

「【謹告】警察政策学会警察史研究部会長及び大警視川路利良研鑽会会長の交代

警察政策学会警察史研究部会長廣瀬權氏には、平成 31（2019）年 4 月 1 日に福永英男第二代部会長の後を継いで第三代部会長に就任され、『近代警察史の諸問題』（警察政策学会資料）を創刊されるなど部会隆盛のため多大の御功績を残されたが、令和 5（2023）年度末をもって退任された。同氏は、また大警視川路利良研鑽会会長を令和元（2019）年 5 月 8 日に逝去された加藤晶氏（初代部会長）から引き継がれ、加藤氏の遺願である『大警視だより』続刊の継続的定期発行に努められたことをはじめ、川路大警視研究、研鑽にも大きく貢献、寄与されたが、同会長も併せて辞された。後任の警察政策学会警察史研究部会長及び大警視川路利良研鑽会会長には、4 月 1 日付けで新谷珠恵氏が就任された。廣瀬氏の長年の御指導、御高教に深く感謝するとともに、新谷氏により部会、研鑽会ともが更に発展することを願うものである。

本号は、「廣瀬權警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号」として発行する。廣瀬氏には今後は顧問として両会をお支えいただくことになっているが、同氏の益々の御活躍を祈念いたす次第である。（令和 6（2024）年 4 月 1 日誌）」

（下記令和 7（2025）年 1 月 4 日及び 2 月 2 日追加。）

・警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察政策学会資料第 138 号、令和 6（2024）年 12 月刊）に一部再録した。

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

(改頁 2) *****

(該当目次)

2 関係文献等の概要…………… *

(1) 戦前 …………… *

ア 単行書 …………… *

(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29) …………… *

(イ) 大正年代 (大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24) …………… *

(ウ) 昭和戦前期 (昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15) …………… *

2 関係文献等の概要

(1) 戦前 (明治元年～昭和 20 年 8 月 15 日、1868.9.08～1945.8.15)

ア 単行書 (※印: 国立国会図書館電子図書館 (近代デジタルライブラリー、<http://kindai.ndl.go.jp/>) に収録。⇒国立国会図書館デジタルコレクション、<http://dl.ndl.go.jp/> に収録。) (平成 31 年 2 月 3 日一部修正)

(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29)

明治 9 (1876) 年

・※川路利良 (1834～1879) 述、佐和正 (1844～1918) 校閲、植松直久 (1846～1882) 編纂『警察手眼』(明治 9 年 9 月丁野遠影 (丹山、1831～1916) 緒言)

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/785246/1/1>〉

明治 11 (1878) 年

・※『東京警視本署布達全書』(明治 10 年 1 月) 等 (須原鉄二、明治 11 年刊等)

明治 12 (1879) 年

・※福田恒久編『明治名誉略伝』(江島喜兵衛、明治 12 年 2 月刊)

・※川路利良述、吉村増雄 (福岡県土族) 注釈『警察手眼注釈』(畏三堂、明治 12 年 7 月刊)

・※川路利良述、佐和正校閲、植松直久編纂『警察手眼』(警視局蔵版、明治 12 年 10 月 24 日版權届出)

(参考: 警視庁警視総監官房『警察手眼』(大正 4 年 2 月 16 日六版印刷発行、印刷兼発行者 田山宗堯) の奥付記載事項: 明治 12 年 10 月 27 日初版、明治 32 年 11 月 12 日再版印刷発行、明治 33 年 2 月 18 日三版印刷発行、明治 43 年 8 月 15 日四版印刷発行、明治 44 年 1 月 25 日五版印刷発行) (平成 19 年 8 月 2 日追加、露崎栄一氏の御教示による。)

・※川村艶吉『川路利良公伝』(文会堂、明治 12 年 10 月 18 日刊) (「川路利良」に「としよし」のルビあり (一丁。)) (平成 28 年 12 月 18 日一部修正)

明治 14 (1881) 年

・※重野成齋（安齋、1827～1910）・鱸松塘（元邦、1823～1898）批閱、川路利良著『龍泉遺稿』（漢詩集、明治 14 年刊、龍泉は川路の号）

〈http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/html/bunko11/bunko11_a1211/index.html〉

（アドレスのみ平成 25 年 11 月 15 日追加）

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/894637>〉（平成 31 年 2 月 3 日追加）

明治 17 (1884) 年

・※佐和正（1844～1918）『航西日乗』（三冊、明治 17 年 5 月刊）（肥後精一（1915～2012）『明治のプランナー 大警視 川路利良』（鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊）121～152 頁に上巻のみ縮小復刻。参考：成島柳北『航西日乗』（『明治文化全集』第 7 巻所収、日本評論新社、昭和 30 年刊）

明治 21 (1888) 年

・※安藤次郎編『警官備考』（明治 21 年 2 月刊）

明治 26 (1893) 年～明治 27 (1894) 年

・※『警視庁史稿』（上巻：警視庁蔵版、明治 26 (1893) 年 3 月（同年 9 月 30 日刊）。下巻：警視庁蔵版、明治 27 (1894) 年 3 月（同年 3 月 31 日刊））（内務省警保局編『庁府県警察沿革史』1、2（昭和 2 年 3 月 28 日刊）。原書房復刻本、昭和 48 年 12 月 20 日刊）

〔（検討中）太田政弘総監序文 第 2 版：昭和 2 年 3 月 25 日刊 初刊：明治 27 年 3 月 31 日刊？？（於平成 20 年 10 月 3 日神田古書会館古書展）（平成 20 年 12 月 28 日追加）〕

（参考）『警視庁史稿 上巻』（警視庁蔵版、明治 26 年 9 月 30 日刊）及び『警視庁史稿 下巻』（警視庁蔵版、明治 27 年 3 月 31 日刊）の翻刻本として、『庁府県警察沿革史 其ノ一（警察研究資料第八輯）』（（警視庁史稿）、内務省警保局、昭和 2 年 3 月 28 日刊）、『庁府県警察沿革史 其ノ二（警察研究資料第九輯）』（（警視庁史稿）、内務省警保局、昭和 2 年 3 月 28 日刊）『庁府県警察沿革史其ノ二附録（警察研究資料第九輯附録）』（（警視庁史稿類別目次、警視庁史稿編年目次）、内務省警保局、昭和 2 年 3 月 28 日刊）がある。同翻刻本は、其ノ一、其ノ二で各通頁になっているが、親本各頁横欄外に付されている巻数、年月日等が省略されているため、検索はいささか不便。ただし、新たに『其ノ二附録』（目次）を付けて、検索に資している。この他、戦後に、同翻刻本の復刻本（『庁府県警察沿革史 其ノ二』（『警視庁史稿』二冊本）、原書房、昭和 48 年 12 月 20 日刊）が刊行されているが、これには、何故か上記附録が復刻されていないことから、検索は極めて難しい。『警視庁史稿』につき「国立国会図書館デジタルコレクション」

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/785266>〉、

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/785267>〉参照。（平成 31 年 2 月 2 日追加）

・※松本栄『干城偉績』（訂 2 版、明治 26 年 12 月刊）

明治 35 (1902) 年

・※干河岸貫一編『明治百傑伝』（青木嵩山堂、明治 35 年 3 月刊）

・※大月ひさ『英雄の片影』（文学同志会、明治 35 年 11 月刊）

明治 41 (1908) 年

・※『西南記伝』(上巻一)(黒龍会本部、明治 41 年 12 月 3 日刊。原書房復刻本、昭和 44 年刊)(平成 26 年 10 月 15 日追加)

〈<http://www.senshu-u.ac.jp/School/horitu/publication/hogakuronshu/100/otani.pdf#search='%E8%A5%BF%E5%8D%97%E8%A8%98%E4%BC%9D'>〉(平成 28 年 4 月 12 日追加)

(イ) 大正年代 (大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24)

大正元 (1912) 年

・鈴木高重(蘆堂)『大警視川路利良君伝』(東陽堂、大正元年 12 月 9 日刊。大正 5 年 10 月 28 日 4 版刊(巻末に各紙書評あり。))(平成 28 年 4 月 13 日一部補正)

⇒(復刊)『中村徳五郎[著] 川路大警視 付・鈴木蘆堂[著] 大警視川路利良君伝』(限定 200 部。周南市・マツノ書店、平成 29 年 4 月 1 日刊。『大警視川路利良君伝』は大正元年 12 月 9 日刊初版を復刻)(販売用パンフレット所載推薦文桐野作人(1954～)「相補い合う川路大警視の古典的伝記 鈴木蘆堂著『大警視川路利良君伝』 中村徳五郎『川路大警視』」を末尾に附載。)(<http://www.matuno.com/bookimages/72541.htm>)

(平成 29 年 3 月 17 日追加、同年 7 月 20 日一部修正)

大正 6 (1917) 年

・※故大警視 川路利良原著、磯矢隆吉編『警察論語』(一名＝警察手眼釈義)(東京・磯矢隆吉、大正 6 年 7 月 15 日刊)⇒同書再刊:(東京・桂月堂、昭和 4 年 1 月 25 日刊)⇒戦後復刻:川路利良原著、磯矢隆吉編纂『警察論語(一名 警察手眼)』(警察教養文庫、飛龍閣、昭和 31 年 11 月 26 日刊)(平成 19 年 8 月 2 日、同 28 年 4 月 13 日各補正。)

大正 13 (1924) 年

・『警察手眼』(大正 13 年増版には時の警視総監太田政弘(1870～1951)の「序」あり。原本未見。)⇒『警察手眼』(「警察手眼」復刻刊行会、昭和 48 年 5 月 25 日刊)は、当該大正 13 年 8 月刊のものを復刻。(平成 19 年 8 月 2 日補正、露崎栄一氏の御教示による。)

大正 15 (1926) 年

・※宮武外骨(1867～1955)『明治密偵史』(明治表裏叢書(二)、有限社、大正 15 年 8 月 5 日刊)(復刻版:『宮武外骨著作集』第貳巻(河出書房新社、昭和 62 年 1 月 31 日刊))(平成 20 年 12 月 28 日追加、平成 26 年 7 月 21 日補正)

(ウ) 昭和戦前期 (昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15)

昭和 2 (1927) 年

・上柳延太郎(1895～1927)『警察叢話』(高橋雄豺、鈴川壽男(大正 9 (1920) 年内務省入省)との共編、松井茂の「序」あり、「二 教養 警察精神に関する若干の考察 1 『警察手眼』を読み(大正 14 年 1 月)(141～144 頁)」、大学書房、昭和 2 (1927) 年 5 月 20 日刊)(平成 20 年 3 月 14 日追加)

昭和 7 (1932) 年

- ・『川路大警視』(川路大警視記念碑建設期成会、昭和 7 (1932) 年 1 月 23 日刊)
- ・中村徳五郎 (1873~1940.5.20) 『川路大警視』(日本警察新聞社、昭和 7 年 10 月 1 日刊)
〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1900868/1/1>〉
(中村徳五郎については、下記参照。平成 22 年 5 月 1 日追加)
〈http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/N/nakamura_tk.html〉
⇒(復刊)『中村徳五郎 [著] 川路大警視 付・鈴木蘆堂 [著] 大警視川路利良君伝』(限定 200 部。周南市・マツノ書店、平成 29 年 4 月 1 日刊。『川路大警視』は昭和 12 年 8 月 16 日刊行 11 版を復刻。)(販売用パンフレット所載推薦文桐野作人 (1954~)「相補い合う川路大警視の古典的伝記 鈴木蘆堂著『大警視川路利良君伝』中村徳五郎『川路大警視』を末尾に附載。)(<http://www.matuno.com/bookimages/72541.htm>)
(平成 29 年 3 月 17 日追加、同年 7 月 20 日一部修正)

昭和 11 (1936) 年

- ・『類聚伝記大日本史』第 14 卷(陸軍篇)(雄山閣、昭和 11 年刊。昭和 56 年 3 月復刊)

昭和 12 (1937) 年

- ・村居鍊城 (1866~?) 『明治大正実話稿 附 感恩録 智友録』(村居鍊次郎、昭和 12 年 9 月 12 日刊)
〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1026490/1/1>〉

昭和 13 (1938) 年

- ・日高節 (みさを) 『明治秘史 西郷隆盛暗殺事件』(隼陽社、昭和 13 年 7 月 1 日刊)(25、40~44 頁が詳しい。)(紹介: 柳影生「日高氏の新著 明治秘史 西郷隆盛暗殺事件」『自警』第 20 卷第 8 号 創刊二十年記念、昭和 13 年 8 月 1 日刊) 110 頁。「・・・著者は、永年同郷の先輩勝田孫彌氏に師事して、その史眼の公正にして犀利なるは云ふまでもない。・・・」
(紹介: 平成 27 年 6 月 6 日追加)
〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1258147/1/1>〉

昭和 15 (1940) 年

- ・杉村幹 (かん、1881.1~1947.9) 『警視総監物語』(警友社、日本警察新聞社、昭和 15 年 2 月 26 日刊)(1~15 頁に「川路利良」あり。)
〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1438029/1/1>〉

昭和 17 (1942) 年

- ・清沢湧 (きよし、1890~1945) 『外政家としての大久保利通』(中央公論社、昭和 17 年 5 月 10 日刊) 〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1682763/1/3>〉
⇒中公文庫版(中央公論社、平成 5 (1993) 年 3 月刊、解説: 村松剛)
⇒ちくま学芸文庫版(筑摩書房、令和 4 (2022) 年 10 月 10 日刊、解説: 瀧井一博「政治家としての大久保利通」)(令和 6 (2024) 年 4 月 28 日追加)
・杉村幹 (かん、1881.1~1947.9) 『警察物語』(二松堂、昭和 17 年 10 月 15 日刊)
〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/1459196/1/1>〉

(改頁 3) *****

(該当目次)

2 関係文献の概要…………… *

(1) 戦前 …………… (既出)

ア 単行書 …………… (既出)

イ その他 …………… *

(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29) …………… *

(イ) 大正年代 (大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24) …………… *

(ウ) 昭和戦前期 (昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15) …………… *

イ その他

(ア) 明治年代 (明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29)

明治 12 (1879) 年

・「警視局廢セラルヽ噂□ (并) 川路大警視ノ洋行広沢参議暗殺ニ係ル大獄ノ判決将サニ近キニアラントス」『近事評論』第 169 号 (共同社、明治 12 (1879) 年 1 月 8 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

・野州賤民・高山素雄「同胞兄弟ニ代テ川路大警視ノ洋行ヲ送ル」『近事評論』第 176 号 (共同社、明治 12 (1879) 年 2 月 13 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

・「川路大警視帰朝ノ後ハ尚ホ一層警視ノ権力ヲ張ラルヽトハ果シテ信乎」『扶桑新誌』第 48 号 (共同社、明治 12 (1879) 年 7 月 1 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

・「川路大警視ハ何カ異常ノ事アラレシトノ巷説」『扶桑新誌』第 63 号 (明治 12 (1879) 年 9 月 16 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

・「川路大警視ノ帰朝ヲ賀シ併セテ君ガ平癒ヲ祈ル」『扶桑新誌』第 68 号 (共同社、明治 12 (1879) 年 10 月 11 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

* (川路大警視: 明治 12 (1879) 年 10 月 13 日逝去)

・「大警視川路利良君ノ死ヲ悼ミ併セテ大警視ノ後任其人ヲ得ラレンコトヲ望ム」『近事評論』第 225 号 (共同社、明治 12 (1879) 年 10 月 18 日刊。不二出版、平成 2 年復刻本あり。) (未見、平成 19 年 12 月 28 日追記)

明治 19 (1886) 年

・「川路利良」『大日本人名辞書』第 1 卷 (著作者: 大日本人名辞書刊行会、明治 19 年 4 月 15 日刊、昭和 12 年 3 月 20 日増訂 11 版刊) (講談社、昭和 49 年 8 月 28 日復刻版刊)

明治 38 (1905) 年

・※守屋義之『警官処世訓』(京都・講法会、明治 38 年 10 月 1 日刊) (16 頁以下に「故

川路大警視墓表」あり。）（平成 20 年 8 月 11 日追加）

（イ）大正年代（大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24）

大正 9（1920）年

・南木性（摩天楼）『時乃人・永遠乃人』（博文館、大正 9 年 7 月 18 日刊）（72、86、140 頁に大浦兼武（1850～1918）の藤田組贖札事件（明治 11/1878 年）関与の記述あり。）

大正 13（1924）年

・川路利良履歴資料（島津家編輯所/編、出版地 東京、出版者 島津家玉里出張所、出版年 大正 13 年写）（鹿児島県立図書館所蔵、島津家編輯所所蔵資料の複製）

大正 14（1925）年

・川路利恭（1856～1925、川路利良甥、養子、福岡県知事等）「四十年前の外遊の思出」『警察協会雑誌』第 296 号（大正 14 年 4 月刊）

（ウ）昭和戦前期（昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15）

昭和 2（1927）年

・藤沢正啓「熊本籠城の実話—明治十年西南役警視隊に加りて—」『警察協会雑誌』第 321 号（昭和 2 年 5 月刊）46～52 頁

昭和 3（1928）年

・鳥越熟二（1895～1933）「川路大警視」『警察協会雑誌』第 329 号（昭和 3 年 1 月 1 日刊）72～80 頁、後に鳥越熟二『警察夜話』（松華堂書店、昭和 8 年 6 月 24 日刊。遺稿集）253～274 頁に収録。

昭和 7（1932）年

・日高節（みさを）「川路大警視を語る—大山綱昌翁回旧談—」『自警』第 14 巻第 154 号（昭和 7 年 6 月 10 日刊）70～75 頁（大山綱昌：1853～1934）
<[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%B1%B1%E7%B6%B1%E6%98%8C\(%E5%AE%98%E5%83%9A\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%B1%B1%E7%B6%B1%E6%98%8C(%E5%AE%98%E5%83%9A))>（平成 22 年 5 月 1 日追加）

・「川路大警視の錦絵」（口絵、「明治名誉一覧」）『警察協会雑誌』第 384 号（昭和 7 年 8 月刊）（この錦絵はしばしば各書で引用される。）

・安立綱之（1859～1938）「大警視のお蔭」中村徳五郎『川路大警視』（日本警察新聞社、昭和 7 年 10 月 1 日刊）347 頁（安立は国分友諒（ともさね、1837～1877）の実弟）

昭和 9（1934）年

・警視庁警察練習所編『警視庁警察練習所沿革並現況一斑』（警視庁警察練習所、昭和 9 年 3 月 31 日刊。復刻版：警視庁警察学校、昭和 48 年 9 月 30 日刊）（平成 29 年 5 月 3 日追加）

昭和 10（1935）年

・日高節（みさを）「安立綱之翁叢談（其 1～6）」『自警』昭和 10 年 1～4、6、7 月号各参照。（警察政策学会資料第 122 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4（2022）年 5 月 8 日刊。序文：廣瀬権部会長）に再録。）（令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

昭和 12 (1937) 年

・「川路利良」『新撰大人名辞典』第 2 卷 (平凡社、昭和 12 年 7 月 23 日刊) (覆刻版『日本人名大事典』〈平凡社、昭和 54 年 7 月 10 日刊〉)

(改頁 4) *****

(該当目次)

2 関係文献の概要…………… *

(1) 戦前 …………… (既出)

ア 単行書 …………… (既出)

イ その他 …………… (既出)

(2) 戦後 (昭和 20 年～、1945.8.16～) …………… *

ア 単行書 …………… *

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7) …………… *

(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30) …………… *

(ウ) 令和年代 (令和元年～、2019.5.1～) …………… *

(2) 戦後 (昭和 20 年～、1945.8.16～)

ア 単行書

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7)

昭和 31 (1956) 年

・川路利良原著、磯矢隆吉編纂『警察論語 (一名 警察手眼)』(警察教養文庫、飛龍閣、昭和 31 年 11 月 26 日刊) (上記大正 6 (1917) 年 7 月 15 日刊版の復刻)

昭和 33 (1958) 年

・野上傳蔵 (1889～1961)『大警視の生涯』(福岡市・自己出版、昭和 33 年 1 月 10 日刊)

昭和 34 (1959) 年

・警視庁史編さん委員会『警視庁史 明治編』(昭和 34 年 1 月 1 日刊)

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/3035536>〉

昭和 38 (1963) 年

・黒田重雄 (元警察大学校教授、刊行時: 東北管区警察学校普通部長)『日本警察史の研究』(令文社、昭和 38 年 10 月 20 日刊) (平成 26 年 12 月 26 日追加)

昭和 41 (1966) 年

・立教大学日本史研究会編『大久保利通関係文書 第 2』(吉川弘文館、昭和 41 年刊) (58 頁、川路利良 285～338 頁、大久保利通: 1830～1878)

昭和 43 (1968) 年

・『警視庁年表』(警視庁総務部企画課、昭和 43 年 11 月 30 日刊、昭和 55 年 3 月 5 日増補・改訂版刊) (平成 29 年 6 月 28 日追加)

昭和 44 (1969) 年

・井上毅伝記編纂委員会編『井上毅伝 史料篇第三』(國學院大學図書館、昭和 44 年 3 月 5

日刊) (66～71 頁「16 仏国警察制度考〔明治六年〕」、72～79 頁「17 仏警察兵職務問答〔明治六年〕」、井上毅: 1844～1895) (平成 24 年 11 月 16 日追加)

・朝倉治彦 (1924～2013) 『明治官制辞典』(東京堂出版、昭和 44 年 4 月 10 日刊) (令和元年 6 月 18 日追加)

昭和 45 (1970) 年

・荒木征逸 (1915～1971) 『全訳警察手眼』(警察時報社、昭和 45 年 5 月 1 日刊) (高橋雄豺博士 (1889～1979) の序文あり。当初『警察時報』昭和 45 年 5 月号別冊付録の由。)(警察時報社 HP: <http://www.k-jiho.com/pages/top.html>) : この部分平成 28 年 4 月 12 日追加)

・『内務省史』第 2 巻 (大霞会、昭和 45 年 11 月 1 日刊) (原書房復刻: 昭和 55 年 7 月刊)

昭和 46 (1971) 年

・梅溪昇 (1921～2016) 『お雇外国人⑩—政治・法制』(鹿島研究所出版会、昭和 46 年 12 月 10 日刊) (第 3 章 警察制度の整備とグロース) (平成 21 年 3 月 9 日追加)

昭和 47 (1972) 年

・高橋雄豺 (1889～1979) 『明治警察史研究—明治年代の警保局長—』第 4 巻前編 (令文社、昭和 47 年 7 月 10 日刊) 111～142 頁

(参考) 本 HP 別稿: 「高橋雄豺博士著作目録 (再訂稿)」(平成 24 年 9 月 27 日追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>

昭和 48 (1973) 年

・『明治初年の自治体警察 番人制度』(都史紀要 22、東京都、昭和 48 年 1 月刊、平成 2 年 1 月第二刷刊) (平成 20 年 6 月 8 日追加)

・『警察手眼』(『警察手眼』復刻刊行会、昭和 48 年 5 月 25 日刊) (昭和 3 年以降は刊行されず、「警視庁創設百年を迎えるに当たり、この“警察官のバイブル”ともいわれる名著を復刻刊行」との由。大正 13 年 8 月刊のものを復刻。)

・警視庁警察学校『警視庁警察学校 (二)』(警視庁警察学校、昭和 48 年 9 月 29 日刊) (平成 30 年 12 月 1 日追加)

・警視庁警察練習所編『警視庁警察練習所編纂 警視庁警察練習所沿革並現況一斑 東京 警察練習所蔵版』(復刻版: 警視庁警察学校、昭和 48 年 9 月 30 日刊 (原本: 警視庁警察練習所、昭和 9 年 3 月 31 日刊。)) (平成 29 年 5 月 3 日追加)

昭和 49 (1974) 年

・『警視庁百年の歩み』(警視庁創立 100 年記念行事運営委員会、昭和 49 年 1 月 15 日刊) (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R1000000002-I000001199635>)

・「川路利良」『日本人物文献目録』(平凡社、昭和 49 年 6 月 10 日刊)

・榎原一郎 (1919～2004) 『小説 警視庁』(潮出版社、昭和 49 年 9 月刊。集英社文庫、平成 7 年 8 月 25 日刊)

・滝静雄 (1910～?) 「警察今昔物語 御用提灯から機動隊まで」(新人物往来社、昭和 49 年 9 月 1 日刊) 58～60 頁 (平成 20 年 3 月 14 日追加)

・『警察百年記念と鹿児島』(鹿児島県警察協会 (編集 鹿児島県警察本部教養課)、昭和 49

年 10 月 31 日刊) (平成 26 年 10 月 16 日追加)

〈 http://books.google.co.jp/books/about/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E7%99%BE%E5%B9%B4%E8%A8%98%E5%BF%B5%E3%81%A8%E9%B9%BF%E5%85%90%E5%B3%B6.html?id=BQuQNQAACAAJ&redir_esc=y〉

・『警察制度百年史 日本の警察百年の歩み記念』（警察制度調査会、昭和 49 年刊）（平成 29 年 6 月 28 日追加）

昭和 50 (1975) 年

・山田風太郎 (1922～2001) 『警視庁草紙』（文藝春秋、上下、昭和 50 年 3 月刊。河出文庫、上下、平成 6 年 3 月 4 日刊。各種文庫本あり。）

・司馬遼太郎 (1923～1996) 『翔ぶが如く 1～7』（文藝春秋、昭和 50 (1975) ～51 (1976) 年刊）⇒『翔ぶが如く』（文春文庫、昭和 55 (1980) 年刊、全 10 巻、解説平川祐弘）⇒新装改版（平成 14 (2002) 年刊）

⇒『司馬遼太郎全集 35・36・37・38 翔ぶが如く』（文藝春秋、昭和 58 (1983) 年刊）（令和 6 (2024) 年 4 月 28 日一部修正）

昭和 51 (1976) 年

・高橋雄豺 (1889～1979) 『明治年代の警察部長—明治警察史研究』（良書普及会、昭和 51 年 7 月 1 日刊）

昭和 53 (1978) 年

・横倉辰次 (1904～1983) 『明治のデカ部屋 第一区十三小区探偵物語』（おりじん書房、昭和 53 年 8 月 30 日刊）（平成 28 年 9 月 22 日追加）

昭和 55 (1980) 年

・『警視庁警察学校百年の歩み』（警視庁警察学校、昭和 55 年 1 月 16 日刊）（平成 31 年 2 月 3 日追加）

・『龍泉遺稿』（川路利良漢詩集、肥後精一 (1915～2012.11.6、96 歳) 復刻、昭和 55 年 4 月刊）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/f6031915ba38dedab0093eb091098cd6>〉

⇒肥後精一 (1915～2012.11.6、96 歳) 『明治のプランナー 大警視川路利良』（鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊）158～170 頁に縮小の上再録。（平成 31 年 2 月 3 日一部修正）

・『東京の消防百年の歩み』（東京消防庁、昭和 55 年 6 月 1 日刊）（平成 28 年 10 月 23 日追加）

・徳富蘇峰 (1863～1957) 『近世日本国民史 西南の役 (1) ～ (7)』講談社学術文庫 徳富蘇峰『近世日本国民史』：民友社刊行本（未完）、明治書院刊行本（未完）あり。時事通信社刊行本（昭和 35～46 年刊）：当該講談社学術文庫本の底本。

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%BF%91%E4%B8%96%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%9B%BD%E6%B0%91%E5%8F%B2>〉

(1) 萩 秋月等の事変篇 昭和 55 年 2 月 10 日刊

(2) 神風連の事変篇 昭和 55 年 3 月 10 日刊

(3) 西南の役緒篇 昭和 55 年 4 月 10 日刊（川路大警視関係）：第 9～16 章 149～335

頁

- (4) 西南役出師篇 昭和 55 年 5 月 10 日刊（川路大警視関係）：第 8 章 1～3 179～187

頁

- (5) 熊本城攻守篇 昭和 55 年 7 月 10 日刊

- (6) 西南役両面戦闘篇 昭和 55 年 9 月 10 日刊（川路大警視関係）：第 7 章 2～5 142～158 頁（國分友諒戦死の件：157 頁）

- (7) 西南役終局篇 昭和 55 年 10 月 10 日刊（川路大警視関係）：第 6 章 144～172 頁、第 8 章 191～209 頁

（平成 31 年 2 月 3 日追加）

・『警視庁年表（増補・改訂版）』（警視庁総務部企画課、昭和 55 年 3 月 5 日刊。初版：昭和 43 年 11 月 30 日刊）（平成 29 年 6 月 28 日追加）

・『東京の消防百年の歩み』（東京消防庁、昭和 55 年 6 月 1 日刊）（平成 28 年 10 月 23 日追加）

昭和 56（1981）年

・『千葉県警察史』第 1 巻（千葉県警察本部、昭和 56 年 3 月 31 日刊）103 頁以下

・山田風太郎（1922～2001）『明治波濤歌』（新潮社、上下、昭和 56 年刊。河出文庫、上下、平成 6 年 6 月 3 日刊。各種文庫本あり。）

昭和 57（1982）年

・山本華萩『実録 警視庁秘史』（東洋政経調査会、昭和 57 年 10 月 10 日刊）（平成 19 年 8 月 2 日追加）

・渡辺忠威（1926～1986）『警察教育の先覚者たち』（立花書房、昭和 57 年 12 月 1 日刊）

（1 大警視 川路利良 初出：「大警視川路利良略伝（上）（下）」『警察学論集』第 34 巻第 4、5 号（昭和 56 年 4、5 月刊））（令和 6（2024）年 2 月 8 日一部補正）

（参考）本 HP 別稿「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」参照。（平成 24 年 9 月 27 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

・渡辺忠威（1926～1986）『大警視川路利良略伝』（河島醇伝刊行会、昭和 57（1982）年）

（加来耕三（1958～）『日本警察の父川路大警視 幕末・明治を駆け抜けた巨人』（講談社＋α 文庫、平成 16（2004）年 2 月 20 日刊）428 頁によるが未確認。）（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

昭和 58（1983）年

・瓜生敏雄（1926～？）『動乱と警察』（慶應通信、昭和 58 年 6 月刊）（平成 29 年 5 月 3 日追加）

・『古典体系 日本の指導理念』第 6 巻（創業の初心 ③ 近代社会の事始め）（第一法規出版、昭和 58 年 10 月 15 日刊）（129～176 頁：渡辺忠威編輯「警察手眼」）（平成 20 年 7 月 4 日追加。平成 28 年 10 月 23 日一部修正）

昭和 59（1984）年

・肥後精一（1915～2012.11.6、96 歳）『明治のプランナー 大警視川路利良』（鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊）（平成 25 年 5 月 12 日一部修正）

・草山巖（1925～?）『兵庫県警察の誕生一幕末から明治の世相』（慶應通信、昭和 59 年 7 月 10 日刊）（平成 29 年 5 月 3 日追加）

昭和 61（1986）年

・肥後精一（1915～2012）『川路利良史跡案内全国一覧』（自己出版、昭和 61 年 9 月刊）
・武藤誠（1922～2013.11.7、91 歳）『明治の炎 『警察手眼』の世界』（啓正社文庫、昭和 62 年 8 月 10 日刊）

（参考）『季刊現代警察』第 152 号（平成 29 年 3 月 15 日刊）96 頁所載「〔出版のお知らせ〕」中に武藤氏著『明治の炎 『警察手眼』の世界』（啓正社文庫、昭和 62 年 8 月 10 日刊）の紹介あり。（平成 29 年 5 月 3 日追加）

（イ）平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）

平成元（1989）年

・笠野孝（1930～）『注解警察手眼』（立花書房、平成元（1989）年 5 月 1 日刊）

平成 2（1990）年

・山口修（1924～1998）『前島密』（人物叢書、吉川弘文館、平成 2（1990）年 5 月 1 日刊。前島密：1835～1919）（令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

・山下洋輔（1942～）『ドバラダ門』（新潮社、平成 2（1990）年 8 月刊。新潮文庫、平成 5（1993）年 9 月 25 日刊）（平成 25 年 5 月 7 日追加）

・肥後精一（1915～2012.11.6、96 歳）『大警視川路利良随想』（鹿児島・自己出版、平成 2（1990）年 9 月 30 日刊）（平成 25 年 5 月 12 日一部修正）

・由井正臣（1933～2008）・大日方純夫（1950～）校注『官僚制・警察』（日本近代思想大系 3）（岩波書店、平成 2（1990）年 11 月刊）

平成 4（1992）年

・大日方純夫（1950～）『日本近代国家の成立と警察』（校倉書房、平成 4（1992）年 11 月 25 日刊）

平成 5（1993）年

・山下洋輔（1942～）『ドバラダ乱入帖』（集英社、平成 5（1993）年 10 月 25 日刊）（平成 25 年 5 月 7 日追加）

平成 6（1994）年

・肥後精一（1915～2012）・西岡市祐（1933～?）編『現代語訳付 龍泉遺稿 甦る大警視川路利良の人物像』（東京法令出版、平成 6（1994）年 5 月 2 日刊）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/f6031915ba38dedab0093eb091098cd6>〉

平成 11（1999）年

・『維新残影 大警視川路とその時代』（読売新聞社、平成 11（1999）年 12 月 24 日刊、パンフレット）

・加来耕三（1958～）『大警視 川路利良』（出版芸術社、平成 11（1999）年 12 月 1 日刊。平成 16 年に下記改訂版（講談社＋α 文庫）、令和 6 年に下記中公新書ラクレ版あり。）

平成 12 (2000) 年

- ・鹿児島県警察本部監修『大警視川路利良銅像建立記念誌 脈々と』（鹿児島県警察協会、平成 12 (2000) 年刊?)
- ・久保博司 (1941～) 『警察手眼 日本警察再生への処方箋』（講談社、平成 12 (2000) 年 11 月 6 日刊)

平成 13 (2001) 年

- ・桜島次郎『川路利良に学ぶ 上巻』（「桜島次郎」は肥後精一氏 (1915～2012) の筆名、桜島出版、平成 13 (2001) 年 8 月 1 日刊)
- ・山田風太郎 (1922～2001) 『風々院風々風々居士 山田風太郎に聞く』（森まゆみ (1954～) 聞き手、筑摩書房、平成 13 (2001) 年 11 月刊。ちくま文庫 (平成 17 年 6 月刊)) (平成 19 年 12 月 22 日追加)

平成 14 (2002) 年

- ・勝田政治 (1952～) 『内務省と明治国家形成』（吉川弘文館、平成 14 (2002) 年 1 月 1 日刊) (令和 4 (2022) 年 8 月 5 日追加)
<<http://www.yoshikawa-k.co.jp/book/b33112.html>>

平成 15 (2003) 年

- ・神川武利 (1932～2006) 『大警視・川路利良 日本警察を創った男』（PHP 研究所、平成 15 (2003) 年 2 月 10 日刊)
(参考) 四宮正貴 (1947～) 「脱亜入欧」論理を克服するために 日本近代化をめぐる西郷隆盛・大久保利通の対決―神川武利氏著『大警視・川路利良』を読んで思う」『月刊日本』第 7 巻第 5 号 (通号第 73 号、平成 15 (2003) 年 5 月刊)
- ・ウィリアム・ウィリス (1837～1894、戊辰戦争で負傷した川路を横浜で治療した医師) 著、大山瑞代 (1943～) 訳『幕末維新を駆け抜けた英国人医師：甦るウィリアム・ウィリス文書』（鹿児島県歴史資料センター黎明館所蔵。創泉堂出版、平成 15 (2003) 年 11 月 30 日刊) (平成 21 年 3 月 9 日追加)
- ・露崎栄一 (1949～) 『警察手眼編纂者 植松直久伝』（自己出版、平成 15 (2003) 年 12 月刊)

平成 16 (2004) 年

- ・白水浩信 (しろうず、1969～) 『ポリスとしての教育―教育的統治のアルケオロジー』（東京大学出版会、平成 16 (2004) 年 2 月 10 日刊)
- ・加来耕三 (1958～) 『日本警察の父川路大警視 幕末・明治を駆け抜けた巨人』（講談社 + α 文庫、平成 16 (2004) 年 2 月 20 日刊) (前掲平成 11 年出版芸術社版の改訂版。その後『川路利良 日本警察をつくった明治の巨人』（中公新書ラクレ、中央公論新社、令和 6 (2024) 年 1 月 10 日刊) あり。) (令和 6 (2024) 年 4 月 28 日一部補正)
- ・警察政策学会警察史研究部会『「警察」という言葉の成立事情』（警察政策学会資料第 31 号、平成 16 (2004) 年 3 月刊。笠野孝氏 (1930～) 執筆) (平成 26 年 10 月 24 日追加) <<http://www.asss.jp/katudou/publication/siryou/>> ⇒
< <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC031%E5%8F%B>

7.pdf

・柏原及也（1918～2009）『明治物語 飛躍する近代日本の原像』（上・下巻）（日刊警察新聞社、平成 16（2004）年 9 月 30 日刊）

平成 17（2005）年

・久野猛（ひさの、1937～）『大警視川路利良の魅力 『翔ぶがごとく〈ママ〉』の司馬遼太郎から警察官へのメッセージ』（教育実務センター、平成 17（2005）年 6 月 5 日刊）

平成 18（2006）年

・『松井茂久『警官陶冶篇』検討序説—附篇：大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」— 資料 —明治警察史雑纂 第一輯—』（平成 18（2006）年 6 月 15 日刊）（CD 版あり。これには、『警官陶冶篇』（増訂三版、福岡市・林磊落堂、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）の PDF 版を収録。）（平成 26 年 12 月 26 日追加）

平成 19（2007）年

・河内屋信吉（1977～）『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』（自己出版、平成 19（2007）年 1 月 7 日刊。下記に改訂版あり。）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/51d257125d0245e97075532055d53d8e>〉

（「侍たちの警視庁」、平成 22（2010）年 7 月 8 日掲載か。）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/8126e90d38ea22e37ff04f3dfb784dc3>〉（上記の続編「新たに発見した警視庁の侍たち」、平成 22（2010）年 7 月 10 日掲載か。）（平成 22 年 10 月 5 日追加）

・『高橋雄豺博士・田村豊氏・中原英典氏等略年譜・著作目録並びに『警察協会雑誌』資料一斑—明治警察史雑纂 第二輯—』（平成 19（2007）年 3 月 1 日刊）（平成 26 年 12 月 26 日追加）

・『松井茂久『警官陶冶篇』の再検討 附録 大森鍾一『直興遺篋抄』・川路利良『警察手眼』関係資料 —明治警察史雑纂 第三輯—』（平成 19（2007）年 4 月 1 日刊。上記①の改訂版に当たる。）（CD 版あり。これには『警官陶冶篇』（増訂三版、福岡市・林磊落堂、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）の PDF 版を収録。特別収録：既刊明治警察史雑纂第一輯、第二輯（全部））（平成 26 年 12 月 26 日追加）

・副田義也（1934～）『内務省の社会史』（東京大学出版会、平成 19（2007）年 3 月 30 日刊）（平成 19 年 8 月 2 日追加）

・久野猛（ひさの、1937～）『『警察手眼』に親しむ』（立花書房、平成 19（2007）年 4 月 20 日刊）（平成 19 年 8 月 2 日追加）

平成 20（2008）年

・警察政策学会警察史研究部会『警察巡閲規則 [注解]』（警察政策学会資料第 51 号、平成 20（2008）年 7 月刊。戸高公德氏作成）（平成 26 年 11 月 15 日追加）

〈<http://www.asss.jp/katudou/publication/siryou/>〉

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC051%E5%8F%B7.pdf>〉

〉（令和 6（2024）年 2 月 8 日 URL 追加）

平成 21 (2009) 年

・松井幹郎 (1935～2021) 『「川路利良大警視聖地巡礼」ガイドブック』(自己出版、平成 21 年 3 月刊) (「川路利良の足跡を求めて、全国各地を訪ねてきたが、川路利良大警視没後 130 年を機に『「川路利良大警視聖地巡礼」ガイドブック』としてまとめ」られたもので、大変貴重な資料集である。後掲改訂版参照。) (平成 21 年 3 月 31 日追加)

・『今に続く川路大警視の精神』(川路大警視没後 130 年記念、教養資料、鹿児島県警察本部警務部教養課、平成 21 年 3 月刊) (平成 22 年 5 月 1 日追加、同 30 年 1 月 17 日一部修正)

(HP「ポリスチャンネル」(日刊警察ニュース) 平成 21 年 6 月 3 日に拠る。)

〈<http://www.police-ch.jp/news/2009/06/004709.php>〉

「(中略) ○…今年は、鹿児島県出身で、近代日本警察制度を創設した川路利良大警視の没後 130 年の節目に当たることから、この機会に川路大警視の軌跡をたどり、遺訓や功績を深く理解することにより、更なる士気高揚を図るねらい。」

・松井幹郎 (1935～2021) 『「大警視川路利良聖地巡礼」ガイドブック』(自己出版、平成 21 年 10 月 13 日刊) (前掲の改訂版であり、更に貴重なものである。平成 21 (2009) 年 10 月 13 日は川路大警視没後 130 年に当たることから、これを記念し、この日に刊行された。「各巡礼地の調査の他に、力を注ぎましたことの一つは、「青山墓地の『川路君墓表』」を忠実に採録することと『現代語訳』を作成することでした。」と仄聞する。) (平成 21 年 9 月 6 日追加)

平成 22 (2010) 年

・警察政策学会警察史研究部会『普魯西王国警察大尉ウィルヘルム・ヘーン九州・東北各県巡回視察復命書 付 全国警部長会議における演説』(警察政策学会資料第 60 号、平成 22 年 5 月刊。「あとがき」に「編 T 生」とある。) (平成 26 年 10 月 24 日追加)

〈<http://www.asss.jp/katudou/publication/siryou/>〉

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC060%E5%8F%B7.pdf>〉 (令和 6 (2024) 年 2 月 8 日 URL 追加)

平成 24 (2012) 年

・林田敏子 (1971～)、大日方純夫 (1950～) 編著『警察 近代ヨーロッパの探究 8』(ミネルヴァ書房、平成 24 年 1 月? 日刊) (平成 24 年 8 月 24 日追加)

・河内貞芳 (1977～) 『侍たちの警視庁 大警視川路利良の時代』(自己出版、平成 24 年 6 月 10 日刊。前著河内屋信吉『侍たちの警視庁』(自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊) の改訂版) (平成 24 年 8 月 24 日追加)

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/398b5c5ed4155c98dc73cf6ec7bb0bd0>〉、

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/8020cee9a1a024b6a0943184714da1b7>〉

平成 25 (2013) 年

・警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成 25 年 12 月刊)。なお、別に公益財団法人警察協会 HP 〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/>〉

に HP 用「目次集」がアップされている。⇒

〈<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>〉（平成 26 年 7 月 21 日追加）

（参考）〈<http://asss.jp/katudou/publication/siryoku/7.html>〉（平成 26 年 11 月 16 日追加）

平成 26（2014）年

・松浦寿輝（1954～）『明治の表象空間』（新潮社、平成 26 年 5 月 30 日刊）

〈<http://www.amazon.co.jp/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E3%81%AE%E8%A1%A8%E8%B1%A1%E7%A9%BA%E9%96%93-%E6%9D%BE%E6%B5%A6-%E5%AF%BF%E8%BC%9D/dp/4104717029>〉（平成 26 年 8 月 31 日追加）

〈<https://book.asahi.com/article/11612727>〉（書評）（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

・警察政策学会管理運用研究部会（松尾庄一氏執筆）『警察協会雑誌にみる警察の歴史』（警察政策学会資料第 77 号、平成 26（2014）年 1 月〈マ〉刊。同年 5 月「まえがき」あり。（実際は平成 26 年 6 月発行か））（平成 26 年 10 月 16 日追加）

〈<http://asss.jp/katudou/publication/siryoku/7.html>〉

・警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』（警察政策学会、平成 26 年 11 月 7 日刊。武藤誠：1922～2013）（平成 26 年 10 月 16 日追加）

〈<http://asss.jp/katudou/publication/siryoku/7.html>〉（平成 26 年 11 月 16 日追加）

・DVD『川路利良生誕一八〇年 研鑽会発足三周年記念』（大警視川路利良研鑽会、平成 26 年 12 月 13 日刊）（平成 26 年 12 月 21 日追加）

平成 27（2015）年

・大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（発行者：川路利永氏、編集者：鹿児島市・松井幹郎氏、平成 27 年 10 月 13 日刊）（平成 27 年 10 月 8 日追加）

・松田敬之（1972～）『〈華族爵位〉請願人名辞典』（吉川弘文館、平成 27 年 11 月 30 日刊）（「川路利永」参照。令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

平成 28（2016）年

・鹿児島で松尾善弘氏等により『龍泉遺稿』訳本が新たに自己出版で近刊予定とのことを仄聞す。詳細不明。（平成 28 年 4 月 13 日追加）

⇒松尾善弘（1940～）監修、鹿児島県漢詩学習会編訳『大警視川路利良漢詩集』（斯文堂、平成 28 年 11 月刊）〈<https://www.22art.net/daikeishi/>〉（平成 31 年 4 月 7 日追加）

・伊藤潤（1960～）『敗者列伝』（実業之日本社、平成 28 年 5 月 20 日発売。川路利良については大久保利通の項参照。）（平成 28 年 4 月 13 日追加、同年 6 月 19 日補正）

〈http://www.j-n.co.jp/books/?goods_code=978-4-408-53684-2〉

・警察政策学会警察史研究部会（鈴木康夫氏執筆）『横浜外国人居留地における近代警察の創設 治安の維持と不平等条約』（警察政策学会資料第 86 号。警察政策学会、平成 28 年 3 月刊）（平成 28 年 6 月 25 日追加）

〈<http://asss.jp/report/86/86-00.pdf>〉、〈<http://asss.jp/report/86/86-01.pdf>〉、

〈<http://asss.jp/report/86/86-02.pdf>〉

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC086%E5%8F%B7.pdf>〉

>

・伊東潤（1960～）『走狗』（中央公論新社、平成 28 年 12 月 25 日刊。同年 12 月 19 日発売）（巻末（514、515 頁）掲載「主要参考文献」、「その他の参考文献」参照。）（平成 28 年 12 月 24 日追加）⇒中公文庫本（2020/2/20 刊）あり。（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

< https://www.amazon.co.jp/%E8%B5%B0%E7%8B%97-%E4%BC%8A%E6%9D%B1%E6%BD%A4/dp/4120049248/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1482563804&sr=1-1>
<<http://jito54.blog13.fc2.com/>>

（書評）

・前山光則（1947～）『西日本新聞』平成 29（2017）年 1 月 29 日 12 面（平成 29 年 5 月 3 日追加）

・縄田一男（1958～）『週刊新潮』平成 29（2017）年 3 月 2 日号 121 頁（平成 29 年 3 月 17 日追加）

・田口幹人（書店員）『小説新潮』平成 29 年 3 月号 297 頁「本の森（平成 29 年 5 月 3 日追加、5 月 5 日一部修正）」

平成 29（2017）年

・（復刊）『中村徳五郎〔著〕川路大警視 付・鈴木蘆堂〔著〕大警視川路利良君伝』（周南市・マツノ書店、平成 29 年 4 月刊）（刊行パンフレットに桐野作人（1954～）「相補い合う川路大警視の古典的伝記 鈴木蘆堂著『大警視川路利良君伝』 中村徳五郎『川路大警視』」あり。）（平成 29 年 3 月 17 日追加）

（原典）・鈴木高重（蘆堂）『大警視川路利良君伝』（東陽堂、大正元年 12 月 9 日刊。大正 5 年 10 月 28 日 4 版刊（巻末に各紙書評あり。））、・中村徳五郎（1873～1940）『川路大警視』（日本警察新聞社、昭和 7 年 10 月 1 日刊）（中村徳五郎については、下記参照。）

<http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/N/nakamura_tk.html>

平成 30（2018）年

・関根謙一（1936～）著・荻野徹編『関根謙一警察法等論文集』（立花書房、平成 30 年 12 月刊）（令和元年 6 月 17 日追加）

<<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R100000002-I029404481>>

（ウ）令和年代（～平成 31 年、～2019.4.30。令和元年～、2019.5.1～）

令和元（2019）年

・警察政策学会資料第 107 号『明治の国家と警察制度の形成』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和元（2019）年 8 月刊）（鈴木康夫氏執筆）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

< <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%A%D%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99107.pdf>>

・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）

年 10 月 1 日刊。序文：廣瀬權部会長）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R1000000002-I030121097>〉

令和 2（2020）年

・警察政策学会資料第 110 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）（序文：廣瀬權部会長）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf> 〉

・伊東潤（1960～）『走狗』（〈解説〉榎木孝明、中公文庫、中央公論新社、令和 2（2020）年 2 月 20 日刊。親本：中央公論新社、平成 28 年 12 月 25 日刊）

〈<https://www.chuko.co.jp/special/souku/>〉（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

令和 3（2021）年

・警察政策学会資料第 114、115 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公徳氏追悼記念論集』（上下冊、警察史研究部会編、警察政策学会、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）（序文：廣瀬權部会長）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf> 〉

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99115.pdf> 〉

令和 4（2022）年

・警察政策学会資料第 122 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4（2022）年 5 月 8 日刊）（序文：廣瀬權部会長）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

・警察政策学会資料第 121 号『明治の内政・治安政策と武士の終焉』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4（2022）年 7 月刊）（鈴木康夫氏執筆）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC121%E5%8F%B7.pdf>〉

・瀧井一博（1967～）『大久保利通—「知」を結ぶ指導者—』（新潮社、新潮選書、令和 4（2022）年 7 月 25 日刊）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

〈<https://www.shinchosha.co.jp/book/603885/>〉

令和 5（2023）年

・警察政策学会資料第 130 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』

（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 5（2023）年 8 月刊）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

〈<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>〉

・伊藤之雄（1952～）『維新の政治と明治天皇——岩倉・大久保・木戸の「公論」主義 1862～1871』（名古屋大学出版会、令和 5（2023）年 11 月刊）

【書評】瀧井一博（1967～）『藝林』73 巻 1 号（令和 6（2024）年 4 月 10 日刊）

〈<https://www.unp.or.jp/ISBN/ISBN978-4-8158-1139-6.html>〉

（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

令和 6（2024）年

・加来耕三（1958～）『川路利良 日本警察をつくった明治の巨人』（中公新書ラクレ、中央公論新社、令和 6（2024）年 1 月 10 日刊）（加来耕三氏の川路大警視本については、前掲平成 11 年出版芸術社版、平成 16 年講談社＋α文庫各参照。）（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

〈<https://www.hanmoto.com/bd/isbn/9784121508072>〉

・警察政策学会資料第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第五輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 6（2023）年 12 月刊）（令和 7（2024）年 1 月 4 日追加）

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

(改頁 5) *****

3 全体 …………… (既出)

(1) 戦前 …………… (既出)

(2) 戦後 …………… (既出)

ア 単行書 …………… (既出)

イ その他 …………… *

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7) …………… *

(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30) …………… *

(ウ) 令和年代 (令和元年～、2019.5.1～) …………… *

ウ 小説類抽出 …………… *

イ その他

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7)

昭和 26 (1951) 年

・田中榮一 (1901～1980) 「川路大警視 (1～3)」『自警』第 33 巻第 4～6 号 (昭和 26 年 4～6 月刊) ⇒田中榮一『霜夜に祈る』(財自警会文化部、昭和 26 年 7 月 10 日刊) 209～292 頁に再録。なお、同著 293～311 頁に「警察手眼」を附載する。(平成 20 年 1 月 25 日単行書部分追加)

昭和 27 (1952) 年

・小泉輝三朗 (てるさぶろう、1895～1992.8.7) 「資料 藤田組贗札事件顛末」『法律新報』第 760 号 (昭和 27 年 1 月 1 日刊) 56～64 頁 (64 頁に宮下嘉三郎 (匿名) 「お竹どん—藤田組贗札事件風刺唄—」を附載する。) ⇒小泉輝三朗『明治黎明期の犯罪と刑罰』(批評社、平成 12 年 10 月 10 日刊) 26～33 頁参照。(平成 20 年 3 月 14 日追加)

昭和 33 (1958) 年

・圭室諦成 (たまむろ-たいじょう、1902～1966) 『西南戦争』(至文堂、昭和 33 年 5 月刊。増補版: 昭和 41 年 11 月 30 日刊) (平成 20 年 8 月 31 日追加)

昭和 34 (1959) 年

・高木健夫 (1905～1981) 『東京の顔 東京の歴史散歩』(光書房、昭和 34 年 7 月 10 日刊) 268～270 頁 (平成 20 年 9 月 2 日追加)

昭和 35 (1960) 年

・圭室諦成 (たまむろ-たいじょう、1902～1966) 『西郷隆盛』(岩波書店、岩波新書、昭和 35 年 4 月 18 日刊) (平成 20 年 9 月 7 日追加)

昭和 40 (1965) 年

・手塚豊 (1911～1990) 「警視庁御雇外人ガンベ・グロース」『法学研究』第 38 巻第 6 号 (昭和 40 年 6 月刊) (「警視庁御雇外人グロース関係資料補遺」『法学研究』第 40 巻

第 12 号〈昭和 42 年 12 月刊〉参照。手塚豊『手塚豊著作集 第 10 卷 明治史研究雑纂』（慶応通信、平成 6 年 3 月刊）に収録。）（平成 21 年 3 月 9 日追加）

・「川路大警視像除幕記念」（警視庁編、昭和 40 年 11 月刊）（写真 3 枚、除幕式プログラム〈昭和 40 年 11 月 20 日〉）（鹿児島県立図書館所蔵記事）

昭和 41（1966）年

・海音寺潮五郎（1901～1977）「川路大警視—川路大警視銅像除幕式における記念講演」『自警』第 48 巻第 1 号（昭和 41 年 1 月刊）

・警視庁総務部企画課「川路大警視の銅像完成」『自警』第 48 巻第 1 号（昭和 41 年 1 月刊）

・高橋雄豺（1889～1979）「明治年代の警保局長（8）4 川路利良」『自警』第 48 巻第 3 号（昭和 41 年 3 月刊）⇒同『明治警察史研究—明治年代の警保局長—』第 4 巻前編（令文社、昭和 47 年 7 月 10 日刊）に収録。

（参考）本 HP 別稿：「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」（平成 24 年 9 月 27 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉

・高橋雄豺（1889～1979）「明治年代の警保局長（9）5 大山巖」『自警』第 48 巻第 6 号（昭和 41 年 6 月刊）⇒同『明治警察史研究—明治年代の警保局長—』第 4 巻前編（令文社、昭和 47 年 7 月 10 日刊）に収録。

・川原衛門（1915～？）「物語 警視庁史」『自警』第 48 巻第 10 号（昭和 41 年 10 月刊）以下

（1）「草創のころ」第 48 巻第 10 号（昭和 41 年 10 月）、（2）「川路大警視」第 48 巻第 11 号（昭和 41 年 11 月）、（3）「各地に騒乱事件」第 48 巻第 12 号（昭和 41 年 12 月）、（4）「抜刀隊奮戦す」第 49 巻第 1 号（昭和 42 年 1 月）、（5）「きびしい規律」第 49 巻第 2 号（昭和 42 年 2 月）、（6）「警視庁誕生のころ」第 49 巻第 3 号（昭和 42 年 3 月）、（7）「明治中期の犯罪」第 49 巻第 4 号（昭和 42 年 4 月）、（8）「暗殺」第 49 巻第 5 号（昭和 42 年 5 月）、（9）「日清戦争の後」第 49 巻第 6 号（昭和 42 年 6 月）（以下昭和 44 年 2 月まで）⇒『ものがたり警視庁史』（自警文庫 8、財自警会、昭和 57 年 3 月刊）として刊行。

・川原衛門（1915～？）「総監プロフィール」『自警』第 48 巻第 10 号（昭和 41 年 10 月刊）（以下昭和 46 年 8 月まで）⇒『総監プロフィール』（自警文庫 3、財自警会、昭和 54 年 3 月刊）として刊行。

昭和 42（1967）年

・手塚豊（1911～1990）「警視庁御雇外人グロース関係資料補遺」『法学研究』第 40 巻第 12 号（昭和 42 年 12 月刊）（『法学研究』第 38 巻第 6 号〈昭和 40 年 6 月刊〉参照。手塚豊『手塚豊著作集 第 10 卷 明治史研究雑纂』（慶応通信、平成 6 年 3 月刊）に収録。）（平成 21 年 3 月 9 日追加）

昭和 43（1968）年

・新聞記事「明治初期の警察裏面史」『読売（？）新聞』昭和 43 年 3 月 8 日（金）第 12 版（掲載紙不明。豊島区・原田良康氏所蔵川路大警視の綿貫吉直少警視宛書簡等の件）（平成 20 年 6 月 7 日追加。原田弘氏（1927～2021）の御教示による。）

昭和 44 (1969) 年

- ・高橋雄豺 (1889～1979) 「川路大警視の「泰西見聞誌」(1～8) 『警察研究』第 40 巻第 5 号～第 41 巻第 1 号 (昭和 44 年 5 月～昭和 45 年 1 月刊) ⇒『明治年代の警察部長—明治警察史研究—』(良書普及会、昭和 51 年 7 月 1 日刊) に収録。
- ・高橋雄豺「警察制度の生みの親・川路利良」『国民の風格を高めよ』(時事通信社、昭和 45 年 11 月 1 日刊) (初出: 『フォト』第 16 巻第 11 号 (昭和 44 年 6 月刊))
- ・秋元信英 (1942～) 「警視庁御雇外人プロスペール・ガンベ・グロースの履歴」『國學院雑誌』第 70 巻第 9 号 (通巻第 749 号、昭和 44 年 9 月刊)

昭和 45 (1970) 年

- ・秋元信英 (1942～) 「川路利良「内国旅券規則案」の考察—明治前期における「居住・移転の自由」形成過程の一齣」(1、2) 『國學院雑誌』第 71 巻第 8 号 (昭和 45 年 8 月刊)、第 72 巻第 2 号 (昭和 46 年 2 月刊)

昭和 47 (1972) 年

- ・中原英典 (1915～1979) 「綿貫吉直履歴ノート」『警察学論集』第 25 巻第 12 号 (創刊 25 周年記念特集、昭和 47 年 12 月 25 日刊) 107～120 頁 (平成 26 年 8 月 31 日追加)

昭和 48 (1973) 年

- ・『明治初年の自治体警察 番人制度』(都史紀要 22) (東京都、昭和 48 年 1 月刊) (平成 20 年 8 月 31 日追加)

昭和 49 (1974) 年

- ・海音寺潮五郎 (1901～1977) 「川路と西郷と大久保と」『自警』昭和 49 年 1 月号 (警視庁創立百年記念特集号。未見) (平成 20 年 3 月 14 日追加)

昭和 50 (1975) 年

- ・武藤誠 (1922～2013) 「明治の警察の系譜」『致遠』(警察大学校学友会誌) 第 55 号 (昭和 50 年 7 月号、7 月 10 日刊) 45～49 頁 (平成 26 年 7 月 9 日追加)
- ・武藤誠 (1922～2013) 「西郷と大久保の手を握らせよう」『みなみの手帖』第 13 号 (鹿児島市・みなみの手帖社 (鹿児島市下荒田 1 丁目 25 の 6、平成 15 年廃刊) 昭和 50 年 8 月 30 日刊) 23～25 頁 (西郷隆盛: 1828～1877、大久保利通: 1830～1878) (平成 26 年 7 月 9 日追加) ⇒警察政策学会資料第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(警察史研究部会編、警察政策学会、令和 6 (2023) 年 12 月刊) に再録 (令和 7 (2024) 年 4 月 23 日追加)

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

昭和 51 (1976) 年

- ・岩田玲文 (1932～) 『西郷隆盛暗殺始末』(新人物中央社、昭和 51 年 4 月 10 日刊) (平成 20 年 9 月 14 日追加)
- ・クララ・ホイットニー (1861～1936) 著・一又民子訳『クララの明治日記』(上、下) (講談社、昭和 51 年刊。復刊: 中公文庫、平成 8 年 5 月刊) (内容細目 上 明治 8 年 8 月 3 日・明治 11 年 7 月 18 日 下 明治 11 年 7 月 19 日・明治 20 年 4 月 17 日) (平成 28 年 6 月 18 日原田弘先生御教示に拠る。)

昭和 52 (1977) 年

- ・井黒弥太郎 (1908～2004 前後か?) 『黒田清隆』 (吉川弘文館、昭和 52 年 10 月刊)

昭和 54 (1979) 年

- ・鹿児島市に大久保利通銅像が没後 100 年を記念して昭和 54 (1979) 年 9 月 26 日中村晋也氏 (1926～) によって制作される。

〈<https://www.kagoshima-kankou.com/guide/10512>〉

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E6%9D%91%E6%99%8B%E4%B9%9F>〉

- (参考 1) 朝日新聞デジタル記事「大久保利通の慰霊祭、鹿児島で初開催 「恩讐越えて」ライター・知覧哲郎令和 3 (2021) 年 5 月 15 日 13 時 39 分

〈<https://www.asahi.com/articles/ASP5G6RQMP5CTLTB00N.html>〉

(令和 6 (2024) 年?月?日追加)

- (参考 2) 時事ドットコム 2024 年 1 月 27 日(土)

Subject: 薩摩の川路利良像、「魂」と共に 彫刻家「一心に仕事の人」一葛藤の子孫、送るエール・警視庁 150 年

〈<https://www.jiji.com/jc/article?k=2024012000396&g=soc>〉

(令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

昭和 56 (1981) 年

- ・渡辺忠威 (1926～1986) 「大警視川路利良略伝」(上下) 『警察学論集』第 34 巻第 4、5 号 (昭和 56 年 4、5 月刊) ⇒ 『警察教育の先覚者たち』(立花書房、昭和 57 年 12 月 1 日刊) に収録。

(参考) 本HP別稿「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄 (参考) 渡辺忠威氏警察史関係文献抄」参照。(平成24年9月27日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

- ・露崎栄一 (1949～) 「植松直久伝」(『旭光』〈千葉県旭光会〉昭和 56 年 5 月号 40 頁以下

昭和 57 (1982) 年

- ・渡辺忠威 (1926～1986) 「警察手眼考」 『警察学論集』第 35 巻第 2 号 (昭和 57 年 2 月刊)

昭和 58 (1983) 年

- ・小西四郎 (1912～1996、NHK 大河ドラマ『翔ぶが如く』の監修者) 「川路利良」 『国史大辞典』第 3 巻 (吉川弘文館、昭和 58 年 2 月 1 日刊) 715～716 頁 (平成 30 年 12 月 1 日追加)

昭和 60 (1985) 年

- ・大日方純夫 (1950～) 「警察と民衆 —2— 川路利良,ヨーロッパへ」 『法学セミナー』通号第 366 号 (昭和 60 年 6 月刊)

昭和 61 (1986) 年

- ・遠矢浩規 (1963～) 『利通暗殺』 (行人社、昭和 61 年 6 月 25 日刊)
⇒ 戎光祥出版から令和 6 (2024) 年 8 月に再刊 (別書の如し)。(令和 7 (2025) 年 4 月 23 日追加)

〈<https://www.ebisukosyo.co.jp/item/739/>〉

・時野谷勝（1911～1994）「内務卿大久保利通と大警視川路利良」『日本歴史 別冊 伝記の魅力』（吉川弘文館、昭和 61 年 11 月 20 日刊）178～181 頁

（参考）後掲「川路利良 警察制度関係資料」（（外題）川路利良警察制度意見）、「西南戦争ニ対スル大義名分論」（注釈、解説：時野谷 勝〈1911～1994〉）『霊山歴史館紀要』第 2 号（平成元年 3 月 1 日刊）参照。（平成 22 年 5 月 1 日追加）

昭和 62（1987）年

・谷沢永一（1929～2011）、吉野孝雄（1945～）編『宮武外骨著作集』第 2 卷（宮武外骨（1867～1955）、明治演説史・明治密偵史・明治史料。解題 谷沢永一著、解説 マックレイカーの弾性 荒瀬豊（1930～）著）（河出書房新社、昭和 62 年 1 月刊）（未見。平成 20 年 9 月 14 日追加）

・峰隆一郎（1931～2000）『明治暗殺伝』（祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 62 年 9 月刊）（平成 20 年 5 月 6 日追加）

・後藤正義（1925～1996.8.29）『西南戦争警視隊戦記』（自己出版、昭和 62 年 10 月 31 日刊。平成 28（2016）年 11 月 25 日山口県周南市マツノ書店から復刊、限定 250 部、[〈http://www.matuno.com/〉](http://www.matuno.com/)、販売用パンフレット所載の中村彰彦氏の推薦文掲載 [〈http://www.nakamuraakihiko.com/?p=1534〉](http://www.nakamuraakihiko.com/?p=1534)を末尾に附載。）（平成 20 年 8 月 16 日追加。平成 28 年 10 月 23 日再追加、同年 12 月 19 日再々追加、平成 29 年 7 月 20 日再々追加）

・峰隆一郎（1931～2000）『明治・人斬り伝』（祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 62 年 12 月刊）（平成 20 年 5 月 6 日追加）

・手塚豊（1911～1990）「西南戦争前後の鹿児島県第四課長（警察）と鹿児島警視出張所長一鹿児島県警察本部編『警察風土記』への疑問」手塚豊編著『近代日本史の新研究 VI』（北樹出版、昭和 62 年 12 月？日刊）（平成 26 年 7 月 26 日追加）

昭和 63（1988）年

・峰隆一郎（1931～2000）『明治剣鬼伝』（祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 63 年 5 月 1 日刊）（平成 20 年 5 月 6 日追加）

・峰隆一郎（1931～2000）『明治警鬼伝』（祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 63 年 9 月 1 日刊）（平成 20 年 5 月 6 日追加）

（イ）平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）

平成元（1989）年

・「川路利良 警察制度関係資料」（（外題）川路利良警察制度意見）、「西南戦争ニ対スル大義名分論」（注釈、解説：時野谷勝（1911～1994））『霊山歴史館紀要』第 2 号（平成元年 3 月 1 日刊）（参考）前掲時野谷 勝「内務卿大久保利通と大警視川路利良」『日本歴史 別冊 伝記の魅力』（吉川弘文館、昭和 61 年 11 月 20 日刊）178～181 頁参照。（平成 22 年 5 月 1 日追加）

・文藝春秋編『「翔ぶが如く」と西郷隆盛』（文藝春秋、文春文庫 ビジュアル版、平成元年 11 月？日刊）（平成 21 年 3 月 31 日追加）

平成 2 (1990) 年

・鈴木卓郎 (1924～1994) 「川路大警視像の除幕式に参列して」『同盟ニュース』通巻第 253 号 (第 22 巻、同盟通信社、平成 2 年刊) (鹿児島県立図書館所蔵記事)

(参考) 平成 2 (1990) 年川路大警視父祖の地霧島市横川町に川路利良像建立、除幕式には鹿児島県警本部長やフランキー堺氏 (縁故関係者、1929～1996) らが祝辞を述べている
<http://www.kagoshima-cci.or.jp/?page_id=23302> ((参考) 分: 令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

・平井政明 (1903～?) 「勝田孫弥先生小伝」『敬天愛人』第 8 号 (財西郷南洲顕彰会、平成 2 年 9 月 24 日刊) 208～210 頁 (勝田孫弥: 1867～1941) (平成 30 年 4 月 6 日追加)
<<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8B%9D%E7%94%B0%E5%AD%AB%E5%BC%A5>>
>

平成 3 (1991) 年

・中村彰彦 (1941～) 『鬼官兵衛烈風録』(新人物往来社、平成 3 年 7 月刊。角川文庫、平成 7 年 6 月刊。佐川官兵衛 (1831～1977)) (平成 20 年 8 月 14 日追加)

・時野谷勝 (1911～1994) (資料報告) 川路利良書状 (8 通) 『懷徳』60 号 (平成 3 年 12 月刊、懷徳堂記念会) ((口絵) 川路利良書状 6 枚 (懷徳堂文庫蔵) あり。)

・笠原英彦 (1956～) 『明治国家と官僚制』(芦書房、平成 3 年 12 月 5 日刊) の「第 2 部 太政官制の展開と維新官僚 第 5 章 警察制度の確立と安藤則命 1 安藤則命と維新警察、2 広沢横死事件と強制捜査、3 藤田組事件と警視局の改組」(235～314 頁)

・新宮正春 (1936～2004) 「西郷暗殺行」『戦乱軍記 頸を獲る』(徳間書店、平成 3 年 12 月刊。未見) ⇒同『西郷暗殺行』(上記書の改題文庫化。徳間文庫、平成 7 年 7 月 15 日刊) に再録。) (平成 25 年 8 月 6 日追加)

平成 4 (1992) 年

・沢田良克「川路大警視の事績一わが国警察・消防制度の創始者一」酒田古文書同好会『方寸』第 9 号 (発行所: (酒田市) 本の会、平成 4 (1992) 年 5 月 31 日刊) 213～220 頁

・大日方純夫 (1950～) 『日本近代国家の成立と警察』(校倉書房、平成 4 年 11 月 25 日刊)

平成 6 (1994) 年

・「手塚豊主要著作目録」『明治史研究雑纂〔手塚豊著作集〕第 10 巻』(慶應通信、平成 6 年 3 月 10 日刊。手塚豊: 1911～1990)

・吉田英法 (1953～2016) 「続日本刑事政策史上の人々 3 川路利良」『罪と罰』第 31 巻第 3 号 (通巻第 123 号、平成 6 年 4 月刊)

平成 11 (1999) 年

・佐々木隆「川路利良と秘密情報」『メディア史研究』(通号 8) (平成 11 年 3 月刊)

・小野次郎 (1953～) 「川路大警視の「声無きに聞き、形無きに見る」」『南日本新聞』平成 11 年 8 月 4 日 (水) (平成 20 年 5 月 6 日追加)

平成 12 (2000) 年

・峰隆一郎 (1931～2000) 『明治凶襲刀』(祥伝社文庫、平成 12 年 2 月刊) (平成 20

年 5 月 6 日追加)

- ・鹿島茂(1949～)「二人の川路大警視 司馬文学と山田風太郎(特集 司馬遼太郎を読む)」『小説 tripper』2000(春季)(平成12年3月刊)
- ・武藤誠(1922～2013)「川路利良大警視の真実」『季刊現代警察』第26巻第4号(通号90)(平成12年7月刊)
- ・橋口俊二「日本警察の誕生と西郷隆盛」『敬天愛人』第18号((財)西郷南洲顕彰会、平成12年9月24日刊)23～51頁(平成26年7月25日追加)
- ・舞岡淳(1947～)『明治九年の謀略(長編時代小説)』(光文社、カッパ・ノベルス、平成12年8月30日刊)(平成19年12月12日追加)
- ・福永英男(1936～2021)「弱者の保母たれ—『警察手眼』に学ぼう—」『日刊警察』平成12年12月12日(火)第3面(平成28年12月19日追加)

平成13(2001)年

- ・舞岡淳(1947～)『明治十一年の贗札(長編時代小説)』(光文社、カッパ・ノベルス、平成13年5月刊)(平成19年12月12日追加)

平成14(2002)年

- ・武藤誠(1922～2013)「明治の夢 近代警察の源流 (1)～(27)」『Valiant』(東京法令出版)通巻第222号～第251号(平成14年3月～同16年8月)(第234号(平成15年3月)、第247号(平成16年4月)、第249号(平成16年6月)各休載、第一部完結。)
- ・福永英男(1936～2021)「川路大警視と漢詩(I)、(II)」『日刊警察』平成14年1月15日(火)第6面、2月12日(火)第6面(平成28年12月19日追加)
- ・福永英男(1936～2021)「「声無きに聞き 形無きに見る」の出典」『日刊警察』平成14年3月12日(火)第3面(上記小野次郎氏論稿(平成11年刊)関連)(平成20年6月7日追加)
- ・福永英男(1936～2021)「「声無きに聞き 形無きに見る」拾遺」『日刊警察』平成14年8月27日(火)第3面(上記小野次郎氏論稿(平成11年刊)関連)(平成20年6月7日追加)

平成16(2004)年

- ・久野猛(ひさの、1937～)「「警察手眼」(川路利良大警視語録)に親しむ(1)～(12・完)」『警察公論』第60巻第9号(平成15年9月刊)～第61巻第8号(平成16年8月刊)⇒久野猛『「警察手眼」に親しむ』(立花書房、平成19年4月20日刊)として刊行(平成19年8月2日補正)

平成17(2005)年

- ・福永英男(1936～2021)「川路大警視の死を巡って」『日刊警察』平成17年5月24日(火)第3面(平成28年12月19日追加)
- ・明治初期警察史研究会「坂元純熙、国分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問ひかけを追って—」『警察時報』第60巻第9号(平成17年9月1日刊坂元純熙:1843～1914、国分友諒:1837～1877)(平成29年3月16日追加)
- ・武藤誠(1922～2013)「動乱のなかの警察官たち 近代警察の源流(1)～(29・完)」『Valiant』通巻第265号(平成17年10月号)～通巻第293号(平成20年2月号)(当

該誌リニューアルにより、第 29 回「西南戦争〈11〉」で中断。) (平成 19 年 8 月 2 日、同年 12 月 22 日、平成 20 年 1 月 25 日各補正)

・『前田愛対話集成 I 闇なる明治を求めて』(みすず書房、平成 17 年 12 月刊)(前田愛(1931~1987)、上野昂志(1941~)「山田風太郎と(明治もの)の魅力」29~55 頁、初出:『別冊新評』1979 年夏「山田風太郎の世界」(新評社))(平成 20 年 12 月 28 日追加)

平成 18 (2006) 年

・平岩浩二(1961~)「第 14 章 大久保利通と川路利良」『霊的見地から見た日本史』(ナチュラリスピリット、平成 18 年 3 月 6 日刊)

平成 19 (2007) 年

・小野次郎(1953~)「日本の近代化におけるフランスの貢献 近代日本の警察制度草創期における川路大警視とフランス法律家との関わり」『警察公論』平成 19 年 8 月号(第 62 巻第 8 号)38~47 頁(平成 19 年 8 月 2 日追加)

・友野春久(1952~)「谷口登太伝」『敬天愛人』第 25 号((財)西郷南州顕彰会、平成 19 年 9 月 24 日刊)70~89 頁(下記『敬天愛人』第 26 号に続稿あり。)(平成 31 年 4 月 7 日追加)

・小川原正道(1976~)『西南戦争 西郷隆盛と日本最後の内戦』(中公新書、平成 19 年 12 月 20 日刊。西南戦争を主題とする新書としては 50 年振りとの由。巻末の「参考文献」も貴重。)(平成 20 年 3 月 13 日追加)

平成 20 (2008) 年

・猪飼隆明(1944~)『西南戦争 戦争の大義と動員される民衆』(吉川弘文館、平成 20 年 4 月 1 日刊)(平成 20 年 8 月 11 日追加)

・伊牟田比呂多(?~2017、83 歳)「長州派閣僚を警察掌握に向かわせた藤田組疑獄事件と薩軍関係者の復権」『敬天愛人』第 26 号((財)西郷南洲顕彰会、平成 20 年 9 月 24 日刊)57~95 頁(平成 30 年 12 月 1 日追加)

・友野春久(1952~)「谷口登太年譜」『敬天愛人』第 26 号((財)西郷南州顕彰会、平成 20 年 9 月 24 日刊)173~186 頁(上記『敬天愛人』第 25 号所収論稿の続き。「中原尚雄年譜」もあり。)(平成 31 年 4 月 7 日追加)

・吉田英法(1953~2016)「明治前期の警察制度の変遷と近代警察の確立に至る経緯」(安藤忠夫・國松孝次・佐藤英彦編『警察の進路~21 世紀の警察を考える~』(東京法令出版、平成 20 年 12 月 15 日刊)427~465 頁)(平成 21 年 3 月 9 日追加)

平成 21 (2009) 年

・武藤誠(1922~2013)「やながわ人物伝 9 わが国の近代警察のいしずえをつくった人 綿貫吉直」『よみたくなるなる〈マ〉 やながわ人物伝』(柳川市郷土学副読本、柳川市教育委員会、平成 21 年 3 月 19 日刊。綿貫吉直:1831~1889)114~125 頁(平成 26 年 8 月 31 日追加)

平成 22 (2010) 年

・「川路利良」『幕末明治 人物研究文献目録』(日外アソシエーツ KK、平成 22 年 5 月 25 日刊)64 頁(平成 28 年 6 月 19 日追加)

・武藤誠（1922～2013）「西南戦争 警視拔刀隊（1）」『季刊現代警察』第 129 号（啓正社、平成 22 年 8 月 30 日刊）24～29 頁 ⇒「同（7）」『季刊現代警察』第 136 号（啓正社、平成 24 年 10 月 25 日刊）50～55 頁（未完）（平成 22 年 10 月 5 日追加、同 24 年 11 月 7 日一部追加）

・渡辺京二（1930～2022）「山田風太郎の明治」『道標』第 31 号（平成 22 年 12 月刊）⇒渡辺京二（1930～2022）『幻影の明治 名もなき人びとの肖像』（平凡社、平成 26 年 3 月刊行。第一章 山田風太郎の明治）⇒平凡社ライブラリー 870（平成 30 年 8 月 16 日刊）に収録。（平成 30 年 10 月 9 日追加）

平成 24（2012）年

・桐野作人（1954～）「さつま人国誌 川路利良と西郷隆盛の回文 上・下」『南日本新聞』平成 24 年 6 月 18、25 日（平成 25 年 11 月 15 日追加）

〈<http://373news.com/bunka/jikokushi/kiji.php?storyid=1858>〉

〈<http://373news.com/bunka/jikokushi/kiji.php?storyid=1861>〉

〈<http://dangodazo.blog83.fc2.com/blog-entry-1222.html>〉

・大日方純夫（1950～）「私の研究転換—人民闘争史から警察史へ 歴史家の本棚 第Ⅱ架（21）」『日本古書通信』第 998 号（2012（平成 24）年 9 月号）11 頁（平成 24 年 12 月 3 日追加）

・「鹿児島裁判所裁判官の上表密書 政府の西郷暗殺「陰謀の証」 首謀者は法に照らし処すべし」『敬天愛人』第 30 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 24 年 9 月 24 日刊）181～200 頁（平成 31 年 4 月 6 日追加）

・宮地正人（1944～）『幕末維新変革史 下』（岩波書店、平成 24 年 10 月 25 日刊）（平成 25 年 1 月 21 日追加）

平成 25（2013）年

・畠中恵（1959～）『明治・妖モダン』（朝日新聞出版、平成 25 年 9 月刊。朝日文庫、平成 29 年 7 月刊）

・大日方純夫（1950～）『維新政府の密偵たち 御庭番と警察のあいだ』（吉川弘文館、平成 25 年 9 月 20 日刊）（平成 25 年 10 月 31 日追加）

・伊牟田比呂多（？～2017、83 歳）「西郷下野に伴い辞職した警察官、明治中・後期に警察トップへ復権の背景」『敬天愛人』第 31 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 25 年 9 月 24 日刊）159～188 頁（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・大日方純夫（1950～）「維新政府の密偵」『本郷』第 108 号（吉川弘文館、平成 25 年 11 月 1 日刊）21～23 頁（平成 25 年 10 月 31 日追加）

平成 26（2014）年

・渡辺京二（1930～2022）『幻影の明治 名もなき人びとの肖像』（平凡社、平成 26 年 3 月刊行。第一章 山田風太郎の明治）⇒平凡社ライブラリー 870（平成 30 年 8 月 16 日刊）（平成 30 年 10 月 9 日追加）

・松浦寿輝（1954～）「編集委員が迫る 明治の言論 上 政治思想」『読売新聞』平成 26 年 7 月 4 日（金）朝刊 12 版第 13 面（聞き手 尾崎真理子（1959～、読売新聞編集委員）、川路利良「巡査礼式」に言及）（平成 26 年 7 月 9 日追加）

⇒（参考）松浦寿輝『明治の表象空間』（新潮社、平成 26 年 5 月 30 日刊）

〈<http://www.amazon.co.jp/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E3%81%AE%E8%A1%A8%E8%B1%A1%E7%A9%BA%E9%96%93-%E6%9D%BE%E6%B5%A6-%E5%AF%BF%E8%BC%9D/dp/4104717029>〉（平成 26 年 8 月 31 日追加）

・松尾庄一（1953～）「実務から見た警察の歴史 第 1 回 開化警察」『季刊現代警察』第 142 号（平成 26 年 7 月 10 日刊）78～85 頁（連載開始）（平成 26 年 7 月 16 日追加）

・廣瀬権（1942～）「「警察協会雑誌の謎」解明に向けた一步」『警察学論集』第 67 巻第 8 号（平成 26 年 8 月 10 日刊）97～114 頁（「警察協会雑誌の二つの謎」（第 521 号は存在したのか否か、何故昭和 23 年 6 月の第 529 号「新警察法施行記念特集号」をもって突然終了したのか）を解く旅」（平成 26 年 3 月 20 日初稿）を成稿、公表したもの。）（平成 26 年 8 月 31 日追加）

・松尾庄一（1953～）「実務から見た警察の歴史 第 2 回 民衆警察」『季刊現代警察』第 143 号（平成 26 年 10 月 10 日刊）74～81 頁（平成 2 年 11 月 16 日追加）

平成 27（2015）年

・松尾庄一（1953～）「実務から見た警察の歴史 第 3 回 国防警察」『季刊現代警察』第 144 号（平成 27 年 2 月 12 日刊）64～71 頁（平成 27 年 2 月 22 日追加）

・松尾庄一（1953～）「実務から見た警察の歴史 第 4 回 民主警察」『季刊現代警察』第 145 号（平成 27 年 5 月 20 日刊）64～71 頁（平成 27 年 6 月 6 日追加）

・村上徳光「西南戦争と警視隊」『日刊警察』平成 27 年 8 月 4 日（火）第 3 面（平成 27 年 8 月 25 日追加）

・畠中恵（1959～）『明治・金色キタン』（朝日新聞出版、平成 27 年 11 月刊行。朝日文庫、平成 30 年 2 月刊）（平成 31 年 4 月 7 日追加）

・小野正博（1952～）「警察の真髓 PART1 警察組織の真髓」『季刊現代警察』第 147 号（平成 27 年 11 月 25 日刊）28～35 頁（平成 28 年 6 月 19 日追加）⇒単行本（啓正社刊）として近刊予定との由（平成 31 年 4 月 7 日追加）

・松田敬之（1972～）「川路利恭」『〈華族爵位〉請願人名辞典』（吉川弘文館、平成 27 年 12 月 10 日刊）232 頁（川路利恭（1856～1925）の肖像あり。）（平成 28 年 6 月 25 日追加）〈<http://www.yoshikawa-k.co.jp/book/b201448.html>〉

平成 28（2016）年

・佐藤賢一（1968～）「遺訓」『波』（新潮社）平成 28 年 1 月号より連載中。

〈<http://kbaba.asablo.jp/blog/2016/02/23/8026143>〉（平成 28 年 10 月 23 日追加）

⇒佐藤賢一（1968～）「遺訓」（新潮社 PR 誌『波』）連載中が平成 29（2017）年 11 月号所載第 11 回で完結した。同号末尾「編集室だより」（118 頁）によれば、「そして、佐藤賢一さんの「遺訓」も最終回。山形庄内と西郷隆盛の繋がりに光をあてて、新たな明治初期のかたちを鮮烈に浮き上がらせました。年内に刊行の予定です。」との由。（平成 29 年 11 月 25 日追加）

⇒・佐藤賢一（1968～）『遺訓』（新潮社、平成 29 年 12 月 27 日刊）（平成 30 年 1 月 17 日追加）⇒【書評】末國善己（1968～）「ニューエンタメ書評 第 74 回」『ランティエ』平成 30 年 2 月号 120～123 頁（平成 30 年 1 月 17 日追加）

- ・川原井豊春「ネットワーク（連載記事） 大警視とのゆかりを誇りとして ●下谷署 川路大警視ゆかりの地、下谷」『自警』平成 28 年 2 月号 29 頁（平成 28 年 4 月 13 日追加）
- ・小野正博「警察の真髓 PART2 警察政策の真髓」『季刊現代警察』第 148 号（平成 28 年 3 月 1 日刊）27～34 頁（平成 28 年 6 月 19 日追加）
- ・伊藤潤（1960～）「敗者列伝 番外・勝者編 そして誰もいなくなった 大久保利通」『産経新聞』平成 28 年 3 月 31 日 12 版第 6 面（川路利良の件にも言及。同年 5 月に『敗者列伝』として実業之日本社より刊行の予定とのこと）（平成 28 年 4 月 13 日追加 ⇒平成 28 年 5 月 20 日発売）
- ・小野正博（1952～）「警察の真髓 PART3 警察存在の真髓」『季刊現代警察』第 149 号（平成 28 年 6 月 1 日刊）50～57 頁 ⇒単行本『警察の真髓』（啓正社、令和元（2019）年 9 月 20 日刊）として刊行（平成 28 年 6 月 19 日追加、同 31 年 4 月 7 日、令和 6 年 4 月 28 日各一部修正）
- ・白鳥光康「ネットワーク 崇高な使命に殉じられた先輩方を偲んで ●企画課 横須賀市「官修墓地」における西南戦争戦病死者慰霊祭への参列」『自警』平成 28 年 8 月号 34 頁（平成 28 年 10 月 23 日追加）
- ・黒岩昭彦（1963～）「「密偵」か教育者か一謎多き野村綱の生涯―」『敬天愛人』第 34 号（（公財）西郷南洲顕彰会、平成 28 年 9 月 24 日刊）109～122 頁（平成 31 年 4 月 7 日追加）
- ・後藤正義（1925～1996.8.29）『西南戦争警視隊戦記』（復刻版、限定 250 部、山口県周南市マツノ書店、平成 28 年 11 月 25 日刊〈<http://www.matuno.com/>〉。販売用パンフレット 所 載 の 中 村 彰 彦 氏 の 推 薦 文 を 末 尾 に 附 載 〈<http://www.nakamuraakihiko.com/?p=1534>〉。原本：自己出版、昭和 62 年 10 月 31 日刊。）（平成 28 年 12 月 19 日追加、同 29 年 7 月 20 日一部補正）

平成 29（2017）年

- ・秋山博志「中原尚雄の官歴再考―薩摩閥と周辺群像の関りから―」『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第 45 号（平成 29 年 3 月刊）83～100 頁（平成 31 年 2 月 3 日追加）
〈<https://archives.bukkyo-u.ac.jp/rp-contents/DB/0045/DB00450L083.pdf#search=%27%E4%B8%AD%E5%8E%9F%E5%B0%9A%E9%9B%84+%E4%BB%8F%E6%95%99%E5%A4%A7%E5%AD%A6%27>〉
- （参考）・前掲伊牟田比呂多（? ～2017、83 歳）「西郷下野に伴い辞職した警察官、明治中・後期に警察トップへ復権の背景」『敬天愛人』第 31 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 25 年 9 月 24 日刊）159～188 頁
- ・安田貴彦（前警察大学校長）「殉職警察職員慰霊祭についての覚書」『警察学論集』第 70 巻第 8 号（平成 29 年 8 月 10 日刊）80～112 頁（平成 29 年 11 月 25 日追加）
- ・家近良樹（1950～）『西郷隆盛 人を相手にせず、天を相手にせよ（ミネルヴァ日本評伝選）』（ミネルバ書房、平成 29 年 8 月 10 日刊）（平成 29 年 11 月 25 日追加）
- ・伊東潤（1960～）『武士の碑』（いしづみ、PHP 文芸文庫、平成 29 年 9 月 22 日刊。親本：PHP、平成 27 年 7 月刊。村田新八（1836～1877）を主人公にした小説）（平成 29 年 11 月 25 日追加）

・神園紘「伊牟田茂夫先生を追悼文する」『敬天愛人』第 35 号（（公財）西郷南洲顕彰会、平成 29 年 9 月 24 日刊）219～220 頁（伊牟田茂夫 ⇒ 筆名：伊牟田比呂多：?～2017、83 歳）（平成 31 年 4 月 7 日追加）

・伊東潤（1960～）『西郷の首』（KADOKAWA、平成 29 年 9 月 29 日刊）⇒【書評】縄田一男『本の旅人』（同）平成 29 年 10 月号 20～21 頁、同『週刊新潮』同年 11 月 23 日号 114 頁（平成 29 年 11 月 25 日追加）

・林真理子（1954～）『西郷どん』（上製版：前編、後編。並製版：上、中、下）（KADOKAWA、平成 29 年 11 月 1 日刊）⇒平成 30 年 NHK 大河ドラマ『西郷どん』原作
<<https://www.nhk.or.jp/segodon/>>（平成 29 年 11 月 25 日追加）

・葉室麟（1951～2017.12.23）『大獄 西郷青嵐賦』（文藝春秋、平成 29 年 11 月刊）（平成 30 年 1 月 17 日追加）⇒【書評】末國善己（1968～）「ニューエンタメ書評 第 74 回」『ランティエ』平成 30 年 2 月号 120～123 頁（平成 30 年 1 月 17 日追加）

・佐藤賢一（1968～）『遺訓』（新潮社、平成 29 年 12 月 27 日刊）（平成 30 年 1 月 17 日追加）⇒【書評】末國善己（1968～）「ニューエンタメ書評 第 74 回」『ランティエ』平成 30 年 2 月号 120～123 頁（平成 30 年 1 月 17 日追加）

・家近良樹（1950～）『西郷隆盛 維新 150 年目の真実』（NHK 出版新書、NHK 出版、平成 29 年 11 月 10 日刊）（平成 30 年 7 月加藤晶氏示教。同年 8 月 9 日追加）

平成 30（2018）年

・内田一弘（鹿児島県横川警察署長）「川路大警視ルーツの地で治安を守る」上、下『日刊警察』平成 30 年 1 月 12 日号第 3 面、同 1 月 19 日号第 7 面（平成 30 年 1 月 17 日追加）

・鈴木康夫「明治維新と近代警察制度」『警察政策』第 20 巻（平成 30 年 3 月刊）263～298 頁（警察政策学会 HP <<http://www.asss.jp/>> で閲覧できる。）（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・警察政策学会管理運用研究部会『明治期の警察に関する諸考察』（警察政策学会資料第 101 号、平成 30 年 7 月刊）（鈴木康夫「講演 内務省警保寮誕生の経緯」、松尾庄一「明治警察の誕生と確立」及び同「「勲功録」に見る明治の警察活動の一端」を収載）（平成 30 年 8 月 9 日追加）

・小島勝治（1942～）『西郷隆盛、新潟 松浜滞陣の謎』（新潟市・考古堂書店、平成 30 年 7 月 1 日刊）（川路利永氏の御示教に拠る。）（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・警察大学校「警察大学校の 70 年とこれから」『警察学論集』第 71 巻第 8 号（特集・警察大学校創立 70 周年記念、平成 31 年 8 月 10 日刊）1～2 頁（この後に、「小此木八郎国家公安委員会委員長祝辞」を掲載（3～4 頁））（平成 30 年 8 月 9 日追加）

・太田誠（前警察大学校長）「警察大学校 70 周年に寄せて—警察幹部教養の歴史と若干の考察—」『警察学論集』第 71 巻第 8 号（特集・警察大学校創立 70 周年記念、平成 30 年 8 月 10 日刊）41～87 頁（下記『警察学論集』第 72 巻第 4 号所収稿は続稿）（平成 30 年 8 月 9 日追加）

・横山百合子（1956～）『江戸東京の明治維新』（岩波書店（岩波新書）、平成 30 年 8 月 21 日刊）（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

・篠田仙果（1837～1884）作・松本常彦校注『鹿児島戦争記 実録西南戦争』（岩波書店（岩波文庫）、平成 30 年 9 月 14 日刊）（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・「司馬遼太郎と明治 連載 30 薩摩王国の終焉⑤」『週刊朝日』平成 30（2018）年 11 月 2 日号 52～56 頁（同号分は川路大警視関係、大警視川路利良研鑽会名誉会長川路利永氏関係記事あり。）（平成 30 年 12 月 1 日追加）

【参考】（行事紹介 1）・明治 150 年記念式典（於憲政会館） 平成 30 年 10 月 23 日開催
警察政策学会では中野目善則会長が出席されし由。 産経ニュース

2018.10.23 08:30

〈<https://www.sankei.com/politics/news/181023/pl1810230004-n1.html>〉

明治 150 年記念式典 安倍首相が委員長、約 400 人を招待

政府は 23 日、明治改元から 150 年を記念する式典を東京・永田町の憲政記念館で開いた。安倍晋三首相が式典委員長を務め、大島理森衆院議長や伊達忠一参院議長、大谷直人最高裁長官に加え、与野党国会議員や地方団体、経済団体の代表者ら約 400 人を招いた。（平成 30 年 12 月 1 日追加）

【参考】（行事紹介 2）・平成 30（2018）年 10 月 31 日（水）～12 月 2 日（日）警察博物館でイベント「roots 警視庁の夜明け」が開催

・特別展「Roots 警視庁の夜明け」

〈http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about_mpd/welcome/welcome/〉

（例）毎日新聞〈警察博物館〉「日本警察の父」事績など展示 10/31（水）19:10 配信

〈<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20181031-00000073-mai-soci>〉

警視庁のルーツをたどる特別展が平成 30 年 10 月 31 日東京都中央区の警察博物館で開幕し、12 月 2 日までの期間、初代大警視（現在の警視総監）で「日本警察の父」と呼ばれる川路利良の事績等を展示した。開幕式には小会川路利永名誉会長も招かれ、来賓代表として挨拶をされた。（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・警察政策学会『20 年の歩み』（警察政策学会、平成 30 年 12 月刊。付録として CD 版添付。）（「資料-10「警察政策学会資料」の発行状況」（92～96 頁））（令和元年 5 月 20 日追加）

平成 31/令和元（2019）年

・警察政策学会管理運用研究部会『平成における警察法の変遷及び重大不祥事案に関する考察』（警察政策学会資料第 105 号、平成 31 年 4 月刊）（川路大警視関連：松尾庄一「**補論** 定例会の総括に代えて」（26～30 頁））（令和元年 5 月 20 日追加）

・太田誠（前警察大学校長）「警察講習所と後藤新平—100 年の歴史の創始者・警察大学校創立 70 周年補遺—」『警察学論集』第 72 巻第 4 号（平成 31 年 4 月 10 日刊）53～71 頁（上記『警察学論集』第 71 巻第 8 号所収稿の続稿）（平成 31 年 4 月 6 日追加）

（ウ）令和年代（令和元年～、2019.5.1～）

令和元（2020）年

・立花書房責任編集「平成年間掲載論文総目次」（平成元年 1 月（第 42 巻第 1 号）～31 年 4 月（第 72 巻第 4 号））『警察学論集』第 72 巻第 6 号（令和元年 6 月 10 日刊）145～192 頁（令和元年 6 月 9 日追加）

・小野正博（1952～）『警察の真髓』（啓正社、令和元（2019）年9月20日刊）（令和6年4月7日追加）

令和2（2020）年

令和3（2021）年

令和4（2022）年

・小風明「川路大警視の撃剣再興論」『警察政策』第24巻（警察政策学会、令和4（2022）年3月15日刊）（令和4（2022）年8月5日追加）

・日高節「安立綱之翁叢談（其1～6）」（初出：『自警』昭和10年1～4、6、7月号）⇒警察政策学会資料第122号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和4（2022）年5月8日刊。序文：廣瀬權部会長）に再録。（令和5（2023）年3月10日追加）

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

・笠井聰夫「二人の愛国者—川路大警視とガンベ・グロース」警察政策学会資料第122号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和4（2022）年5月8日刊）に再録。（令和5（2023）年11月19日追加）

令和5（2023）年

・今村翔吾（1984～）『イクサガミ 天』（講談社文庫、令和5（2023）年2月15日刊。初出：「小説現代」2022年1・2月合併号）（直木賞作家による、3巻完結・新シリーズ開幕!〈デスゲーム×明治時代〉）（令和5（2023）年11月19日追加）

〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000362128>〉

〈<http://kodanshabunko.com/ikusagami>〉

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%82%AF%E3%82%B5%E3%82%AC%E3%83%9F>〉

・今村翔吾『イクサガミ 地』（講談社文庫、令和5（2023）年5月16日刊。初出：「壱ノ章 仏生寺弥助」は「小説現代」2022年4月号掲載。その他は書き下ろし）（令和5（2023）年11月19日追加）

〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000366021>〉

・笠井聰夫「大警視と東京獅子—所謂南洲暗殺事件の真相—」警察政策学会資料第130号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和5（2023）年8月刊）（初出：『大警視だより』続刊第16号（通巻第45号、令和5（2023）年1月1日刊））（令和5（2023）年11月19日追加）

・笠井聰夫「大警視が見た近代警察」警察政策学会資料第130号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和5（2023）年8月刊）（初出：『大警視だより』続刊第17号（通巻第46号、令和5（2023）年7月1日刊））（令和5（2023）年11月19日追加）

・臼井良雄「横須賀の「官修墓地墓前祭」の運営について（（参考）令和5（2023）年度「官修墓地墓前祭」紹介）」警察政策学会資料第130号『近代警察史の諸問題—川路大警

視研究を中心に―（第四輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 5（2023）年 8 月刊）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

〈<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>〉

・川路大警視関係漫画『だんドーン』第 1 巻（講談社）発行の件（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

〈<https://morning.kodansha.co.jp/c/dandawn.html>〉（『モーニング』公式サイト）

〈<https://natalie.mu/comic/news/546114>〉

20231019 〈<https://comic-days.com/blog/entry/dandawn>〉

『だんドーン』第 1 巻発売直前！ 作者・泰三子（やすみこ）氏×監修者・下豊留佳奈氏「薩摩」と「川路利良」を愛してやまない 2 人の特別対談！

「[令和 5（2023）年] 10 月 23 日（月）に『だんドーン』待望の第 1 巻が発売されることを記念して、作者・泰三子氏と作品の監修を務める郷土史家・下豊留佳奈氏（鹿児島県出身）に寝ても醒めても考えてしまう「薩摩」と「川路利良」について、語ってもらいました！ 「薩摩の不思議な文化」、「『ハコヅメ』との繋がり」、「川路・源そっくり問題」、「川路に対する誤解」など、読めばもっと『だんドーン』と『ハコヅメ』が楽しめる内容が盛りだくさんです。皆様、ぜひご一読ください！」

・「「警察の父」川路大警視のマンガ発売 郷土史家が〔鹿児島県〕知事訪問」

[令和 5（2023）年] 11 月 15 日 17 時 59 分（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

〈<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kagoshima/20231115/5050025231.html>〉

・「警察史研究部会電翰参考資料一斉通信」なるものを開始することにし、令和 5（2023）年 12 月から実施。令和 7（2025）年 1 月 1 日現在で、「令和 7 年度第 3 号（通巻第 303 号、令和 7（2025）年 1 月 1 日発行）」まで発行中。（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

・小野次郎（1953～）「西南戦争と日本警察―異聞とこぼれ話―」『白珪』（令和 5（2023）年 12 月 31 日刊）第 1 号 121～128 頁（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

令和 6（2024）年

・笠井聰夫「警察手眼と牧民之書」『大警視だより』続刊第 18 号（令和 6（2024）年 1 月 1 日）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）⇒（『警察政策学会資料』第 138 号『近代警察史の諸問題―川路大警視研究を中心に―（第五輯）』（令和 6（2024）年 12 月刊）〈<http://www.asss.jp/>〉に再録。）（令和 7（2025）年 2 月 2 日追加）

・臼井良雄「令和 5 年度横須賀市「官修墓地墓前祭」報告」『大警視だより』続刊第 18 号（令和 6（2024）年 1 月 1 日）（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

（参考）「追浜官修墓地埋葬者関係資料―臼井良雄先生御報告の参考として―」『大警視だより』続刊第 18 号（令和 6（2024）年 1 月 1 日）（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

・警視庁創立 150 年関係記事抄（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

・警視庁創立 150 年サイト公開

〈<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/150th/index.html>〉

・『産経新聞』R06-1/14(日) 20:30「警視庁 150 年」配信（オンライン配信。『産経新聞』

R07-0101 掲載最終号 150/150 で完結。このほか、東京版、多摩版には随時「番外編」あり。）〈https://www.sankei.com/tag/series/affairs_109/〉参照。（令和 7（2025）年 1 月 4 日一部修正）

「警視庁 150 年 1/150 [連載] 初代大警視・川路利良の教え 時代変われども「心構え」は不変」

〈<https://news.yahoo.co.jp/articles/61e27184e24af76c0e1d94113a87456e7bc51d2f>〉

- ・天皇皇后両陛下が警視庁創立 150 年記念式典に出席「今後も社会情勢の変化に対応しつつ責務を果たすことが望まれる」 〈<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/941329>〉
- ・宮内庁 天皇陛下のおことば 〈<https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/127>〉
警視庁創立 150 年記念式典 令和 6 年 1 月 15 日（警視庁本部庁舎）
- ・Subject: 薩摩の川路利良像、「魂」と共に 彫刻家「一心に仕事の人」—葛藤の子孫、送るエール・警視庁 150 年 鹿児島市の彫刻家、中村晋也さん（1926～、97 歳、「大久保利通公」像制作者）が制作

〈<https://www.jiji.com/jc/article?k=2024012000396&g=soc>〉 01 月 21 日 06 時 58 分配信

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E6%9D%91%E6%99%8B%E4%B9%9F>〉

- ・鈴木康夫「大久保利通と明治警察制度」『警察政策』第 26 巻（警察政策学会、令和 6（2024）年 3 月 15 日刊）（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

- ・NHK 放映番組（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

〈<https://www.nhk.or.jp/kagoshima/program/index.html>〉

〈https://plus.nhk.jp/watch/st/460_g1_2024041236271〉

かゴスピ「推しは薩摩の“裏切り者” 漫画家・泰三子の創作論」

【鹿児島県のみ】令和 6（2024）年 4 月 12 日（金）午後 7 時 30 分～ 【再】4 月 13 日（土）午後 7 時 50 分

「初代大警視（現・警視総監）を務め、日本警察の父とも呼ばれる川路利良。幕末に活躍した薩摩藩士ながら、西南戦争では明治政府の警視隊を率いて西郷軍に対峙。故郷に刃を向けた人物として、鹿児島では長らく“裏切り者”と見なされてきた。

その川路を描き話題作となっているのが、元警察官の漫画家・泰三子さんの「だんドーン」だ。「ハコヅメ」連載中だった泰さんは、いまなぜ川路を描くのか、その思いに迫る。」

（参考）

〈https://twitter.com/KOBAN_JOSHI/status/1778477404723556735〉

〈 https://search.yahoo.co.jp/realtime/search?fr=rts_bzmod&p=%E6%B3%B0%E4%B8%89%E5%AD%90&ei=UTF-8&save=5〉

泰三子（やすみこ）：

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B3%B0%E4%B8%89%E5%AD%90>〉

- ・松岡一正「元警察大学校資料主幹・渡辺忠威先生を偲ぶ」『大警視だより』続刊第 19 号（通巻第 48 号、令和 6（2024）年 7 月 1 日刊）（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）⇒（『警察政策学会資料』第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第五輯）』（令和 6（2024）年 12 月刊）〈<http://www.asss.jp/>〉に再録。）（令和 7（2025）年

4月23日追加)

・笠井聰夫「大警視はフーシェに非ず」『大警視だより』続刊第19号(通巻第48号、令和6(2024)年7月1日刊)(令和6(2024)年4月28日追加)

・小風 明「官修墳墓について」『大警視だより』続刊第19号(通巻第48号、令和6(2024)年7月1日刊)(令和6(2024)年4月28日追加)⇒(『警察政策学会資料』第138号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(令和6(2024)年12月刊)〈<http://www.asss.jp/>〉に再録。)(令和7(2025)年4月23日追加)

・小風明「追浜官修墓地に眠る村松士族—資料紹介 渡辺好明「村松士族の西南戦争」—」『大警視だより』続刊第19号(通巻第48号、令和6(2024)年7月1日刊)(令和6(2024)年4月28日追加)

・遠矢浩規(1963～)『利通暗殺』(戎光祥出版、令和6(2024)年8月再刊(別書の如し))(親本は行人社、昭和61年6月25日刊)(令和7(2025)年4月23日追加)
〈<https://www.ebisukosyo.co.jp/item/739/>〉

・今村翔吾『イクサガミ 人』(講談社文庫、令和6(2024)年11月15日刊)(令和7(2024)年1月4日追加)
〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000374903>〉

・田中亜紀子「明治前期における警察官の「法継受」—警官練習所および巡査教習所を主たる対象として—」『阪大法学』第74巻第3・4号(瀧口剛教授・三阪佳弘教授・高橋明男教授退職記念号、令和6(2024)年11月刊)337～360頁(令和6年12月26日小野博司先生の御教示に拠る。厚く御礼申し上げます。)(令和7(2025)年1月4日追加)

〈<https://ndlsearch.ndl.go.jp/books/R000000004-I033901910>〉

・小野次郎(1953～)「鹿児島 川路大警視 お雇い外国人」拾遺集『白珪』(白珪社、令和6(2024)年11月刊)第2号85～90頁(令和7(2025)年4月23日追加)

令和7(2025)年

・廣瀬權「井黒弥太郎『追跡 黒田清隆夫人の死』を読む」『大警視だより』続刊第20号(通巻第50号、令和7(2025)年1月1日刊)⇒(『警察政策学会資料』第138号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(令和6(2024)年12月刊)〈<http://www.asss.jp/>〉に再録。)(令和7(2025)年4月23日追加)

・廣瀬權「井黒弥太郎『追跡—黒田清隆夫人の死』を読む(その2)(その3)」『大警視だより』続刊第21号(通巻第51号、令和7(2025)年7月1日刊)(令和7(2025)年4月23日追加)

・新井 勉(1948～)「西南戦争裏面史—故喜多義人教授を偲んで—」『大警視だより』続刊第21号(通巻第51号、令和7(2025)年7月1日刊)(令和7(2025)年4月23日追加)〈https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/law/law_87_2/each/04.pdf〉

・笠井聰夫「草創期日本警察のモデル」『大警視だより』続刊第21号(通巻第51号、令和7(2025)年7月1日刊)(令和7(2025)年4月23日追加)

(改頁 6) *****

2 関係文献の概要…………… (既出)

(1) 戦前 …………… (既出)

(2) 戦後 …………… (既出)

ア 単行書 …………… (既出)

イ その他 …………… (既出)

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7) …………… (既出)

(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30) …………… (既出)

(ウ) 令和年代 (令和元年～、2019.5.1～) …………… (既出)

ウ 小説類抽出 …………… *

ウ 小説類 (含漫画) 抽出 (平成 20 (2008) 年 5 月 14 日以降追加)

昭和 49 (1974) 年

・榎原一郎 (1919～2004) 『小説 警視庁』 (潮出版社、昭和 49 年 9 月刊。集英社文庫、平成 7 年 8 月 25 日刊)

昭和 50 (1975) 年

・山田風太郎 (1922～2001) 『警視庁草紙』 (文藝春秋、上下、昭和 50 年 3 月刊。河出文庫、上下、平成 6 年 3 月 4 日刊。各種文庫本あり。)

(参考) 渡辺京二 (1930～2022) 『幻影の明治 名もなき人びとの肖像』 (平凡社、平成 26 年 3 月刊行。第一章 山田風太郎の明治) ⇒平凡社ライブラリー 870 (平成 30 年 8 月 16 日刊) (平成 30 年 10 月 9 日追加)

・司馬遼太郎 (1923～1996) 『翔ぶが如く』 1～7 (文藝春秋、昭和 50、51 年刊。文庫本あり。)

〈 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%BF%94%E3%81%B6%E3%81%8C%E5%A6%82%E3%81%8F>〉

(参考) 『文藝春秋デラックス「翔ぶが如く」と西郷隆盛』 (文藝春秋、昭和 52 年 1 月刊) ⇒文藝春秋編『目でみる日本史「翔ぶが如く」と西郷隆盛』 (文藝春秋、文春文庫ビジュアル版、平成元年 11 月刊) ⇒文藝春秋編『西郷隆盛と「翔ぶが如く」』 (新装版: 文藝春秋・文春文庫、平成 29 年 11 月 10 日刊) (平成 21 年 3 月 31 日追加、令和元年 6 月 18 日一部補正)

昭和 53 (1978) 年

・横倉辰次 (1904～1983) 『明治のデカ部屋 第一区十三小区探偵物語』 (おりじん書房、昭和 53 年 8 月 30 日刊) (平成 28 年 10 月 23 日追加)

昭和 56 (1981) 年

・山田風太郎 (1922～2001) 『明治波濤歌』 (新潮社、上下、昭和 56 年刊。河出文庫、上下、平成 6 年 6 月 3 日刊。各種文庫本あり。)

昭和 62 (1987) 年

- ・峰隆一郎 (1931～2000) 「明治暗殺伝」 (祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 62 年 9 月刊) (平成 20 年 5 月 6 日追加)
- ・峰隆一郎 (1931～2000) 『明治・人斬り伝』 (祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 62 年 12 月刊) (平成 20 年 5 月 6 日追加)

昭和 63 (1988) 年

- ・峰隆一郎 (1931～2000) 『明治剣鬼伝』 (祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 63 年 5 月 1 日刊) (平成 20 年 5 月 6 日追加)
- ・峰隆一郎 (1931～2000) 『明治警鬼伝』 (祥伝社・ノン・ポシェット、昭和 63 年 9 月 1 日刊) (平成 20 年 5 月 6 日追加)

平成 2 (1990) 年

- ・山下洋輔 (1942～) 『ドバラダ門』 (新潮社、平成 2 年 8 月刊。新潮文庫、平成 5 年 9 月 25 日刊)
- (参考) 山下洋輔 (1942～) 『ドバラダ乱入帖』 (集英社、平成 5 年 10 月 25 日刊) (平成 25 年 5 月 7 日追加)

平成 3 (1991) 年

- ・中村彰彦 (1941～) 『鬼官兵衛烈風録』 (新人物往来社、平成 3 年 7 月刊。角川文庫、平成 7 年 6 月刊。佐川官兵衛 (1831～1977)) (平成 20 年 8 月 14 日追加)
- ・新宮正春 (1936～2004) 「西郷暗殺行」 『戦乱軍記 顚を獲る』 (徳間書店、平成 3 年 12 月刊。未見) ⇒同『西郷暗殺行』 (上記書の改題文庫化。徳間文庫、平成 7 年 7 月 15 日刊) に再録。) (平成 25 年 8 月 6 日追加)

平成 11 (1999) 年

- ・加来耕三 (1958～) 『大警視 川路利良』 (出版芸術社、平成 11 年刊。平成 16 年、令和 6 年に下記各改訂版あり。)

平成 12 (2000) 年

- ・峰隆一郎 (1931～2000) 『明治凶襲刀』 (祥伝社文庫、平成 12 年 2 月刊) (平成 20 年 5 月 6 日追加)
- ・舞岡淳 (1947～) 『明治九年の謀略 (長編時代小説) 』 (光文社、カッパ・ノベルス、平成 12 年 8 月 30 日刊) (平成 19 年 12 月 12 日追加)

平成 13 (2001) 年

- ・舞岡淳 (1947～) 『明治十一年の贗札 (長編時代小説) 』 (光文社、カッパ・ノベルス、平成 13 年 5 月刊) (平成 19 年 12 月 12 日追加)

平成 15 (2003) 年

- ・神川武利 (1932～2006) 『大警視・川路利良 日本警察を創った男』 (PHP 研究所、平成 15 年 2 月 10 日刊)
- (参考) 四宮正貴 (1947～2021) 「脱亜入欧」論理を克服するために 日本近代化をめぐる西郷隆盛・大久保利通の対決—神川武利氏著『大警視・川路利良』を読んで思う 『月刊日本』 第 7 巻第 5 号 (通号第 73 号、平成 15 年 5 月刊)

平成 16 (2004) 年

- ・加来耕三 (1958～) 『日本警察の父川路大警視 幕末・明治を駆け抜けた巨人』(講談社 + α 文庫、平成 16 年 2 月 20 日刊) (上記平成 11 年出版芸術社版の改訂版)

平成 25 (2013) 年

- ・畠中恵 (1959～) 『明治・妖モダン』(朝日新聞出版、平成 25 年 9 月刊。朝日文庫、平成 29 年 7 月刊)

平成 27 (2015) 年

- ・畠中恵 (1959～) 『明治・金色キタン』(朝日新聞出版、平成 27 年 11 月刊行。朝日文庫、平成 30 年 2 月刊) (平成 31 年 4 月 7 日追加)

平成 28 (2016) 年

- ・伊藤潤 (1960～) 『敗者列伝』(実業之日本社、平成 28 年 5 月 20 日発売。川路利良については大久保利通の項参照。) (平成 28 年 4 月 13 日追加、同年 6 月 19 日補正)

〈http://www.j-n.co.jp/books/?goods_code=978-4-408-53684-2〉

- ・伊東潤 (1960～) 『走狗』(中央公論新社、平成 28 年 12 月 25 日刊。同年 12 月 19 日発売) (巻末 (514、515 頁) 掲載「主要参考文献」、「その他の参考文献」参照。) (平成 28 年 12 月 24 日追加) ⇒中公文庫本 (2020/2/20 刊) あり。(令和 7 (2025) 年 1 月 4 日追加)

〈<http://jito54.blog13.fc2.com/>〉

〈https://www.amazon.co.jp/%E8%B5%B0%E7%8B%97-%E4%BC%8A%E6%9D%B1-%E6%BD%A4/dp/4120049248/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1482563804&sr=1-1〉

(書評)

- ・(書評) 前山光則 (1947～) 『西日本新聞』平成 29 (2017) 年 1 月 29 日 12 面 (平成 29 年 5 月 3 日追加)

- ・(書評) 縄田一男 (1958～) 『週刊新潮』平成 29 (2017) 年 3 月 2 日号 121 頁 (平成 29 年 3 月 17 日追加)

- ・(書評) 田口幹人 (書店員) 『小説新潮』平成 29 年 3 月号 297 頁「本の森 (平成 29 年 5 月 3 日追加、5 月 5 日一部修正)

- ・今野敏 (1955～) 『サーベル警視庁』(角川春樹事務所、平成 28 年 12 月 28 日刊) 〈<http://www.kadokawaharuki.co.jp/book/detail/detail.php?no=5476>〉 (平成 29 年 7 月 20 日追加)

平成 29 (2017) 年

- ・伊東潤 (1960～) 『武士の碑』(いしぶみ、PHP 文芸文庫、平成 29 年 9 月 22 日刊。親本: PHP、平成 27 年 7 月刊。村田新八 (1836～1877) を主人公にした小説) (平成 29 年 11 月 25 日追加)

- ・伊東潤 (1960～) 『西郷の首』(KADOKAWA、平成 29 年 9 月 29 日刊) (平成 29 年 11 月 25 日追加)

(書評)

- ・(書評) 縄田一男 (1958～) 『本の旅人』(同) 平成 29 年 10 月号 20～21 頁 (平成 29 年 11 月 25 日追加)

- ・(書評) 縄田一男 (1958～) 『週刊新潮』同年 11 月 23 日号 114 頁 (平成 29 年 11 月 25

日追加)

・林真理子(1954～)『西郷どん』(上製版: 前編、後編。並製版: 上、中、下)(KADOKAWA、平成 29 年 11 月 1 日刊) ⇒平成 30 年 NHK 大河ドラマ『西郷どん』原作(平成 29 年 11 月 25 日追加)

・葉室麟(1951～2017.12.23)『大獄 西郷青嵐賦』(文藝春秋、平成 29 年 11 月刊)(平成 30 年 1 月 17 日追加)

(書評) 末國善己(1968～)「ニューエンタメ書評 第 74 回」『ランティエ』平成 30 年 2 月号 120～123 頁(平成 30 年 1 月 17 日追加)

・佐藤賢一(1968～)『遺訓』(新潮社、平成 29 年 12 月 27 日刊)(平成 30 年 1 月 17 日追加)

(書評) 末國善己(1968～)「ニューエンタメ書評 第 74 回」『ランティエ』平成 30 年 2 月号 120～123 頁(平成 30 年 1 月 17 日追加)

令和 2 (2020) 年

・伊東潤(1960～)『走狗』(〈解説〉榎木孝明、中公文庫、中央公論新社、令和 2 (2020) 年 2 月 20 日刊。親本: 中央公論新社、平成 28 年 12 月 25 日刊)

〈<https://www.chuko.co.jp/special/souku/>〉(令和 7 (2025) 年 1 月 4 日追加)

令和 5 (2023) 年

・今村翔吾(1984～)『イクサガミ 天』(講談社文庫、令和 5 (2023) 年 2 月 15 日刊。初出: 「小説現代」2022 年 1・2 月合併号)(直木賞作家による、3 巻完結・新シリーズ開幕! 〈デスゲーム×明治時代〉)(令和 5 (2023) 年 11 月 19 日追加)

〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000362128>〉

・今村翔吾『イクサガミ 地』(講談社文庫、令和 5 (2023) 年 5 月 16 日刊。初出: 「壺ノ章 仏生寺弥助」は「小説現代」2022 年 4 月号掲載。その他は書き下ろし)(令和 5 (2023) 年 11 月 19 日追加)

〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000366021>〉

・川路大警視関係漫画『だんだーン』第 1 巻(講談社)発行の件(令和 5 (2023) 年 11 月 19 日追加)

〈<https://morning.kodansha.co.jp/c/dandawn.html>〉(『モーニング』公式サイト)

〈<https://natalie.mu/comic/news/546114>〉

20231019 〈<https://comic-days.com/blog/entry/dandawn>〉

『だんだーン』第 1 巻発売直前! 作者・泰三子(やすみこ)氏×監修者・下豊留佳奈氏「薩摩」と「川路利良」を愛してやまない 2 人の特別対談!

「[令和 5 (2023) 年] 10 月 23 日(月)に『だんだーン』待望の第 1 巻が発売されることを記念して、作者・泰三子氏と作品の監修を務める郷土史家・下豊留佳奈氏(鹿児島県出身)に寝ても醒めても考えてしまう「薩摩」と「川路利良」について、語ってもらいました! 「薩摩の不思議な文化」、「『ハコヅメ』との繋がり」、「川路・源そっくり問題」、「川路に対する誤解」など、読めばもっと『だんだーン』と『ハコヅメ』が楽しめる内容が盛りだくさんです。皆様、ぜひご一読ください!」

・「「警察の父」川路大警視のマンガ発売 郷土史家が「鹿児島県」知事訪問」

[令和 5 (2023) 年] 11 月 15 日 17 時 59 分 (令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

〈<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kagoshima/20231115/5050025231.html>〉

令和 6 (2024) 年

・加来耕三 (1958～) 『川路利良 日本警察をつくった明治の巨人』(中公新書ラクレ、中央公論新社、令和 6 (2024) 年 1 月 10 日刊) (加来氏の川路大警視本については、既に平成 11 年 出版芸術社版、平成 16 年 講談社+α 文庫版あり。) (令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

・今村翔吾『イクサガミ 人』(講談社文庫、令和 6 (2024) 年 11 月 15 日刊) (令和 7 (2024) 年 1 月 4 日追加)

〈<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000374903>〉

(改頁 7) *****

(該当目次)

- 4 『警察手眼』関係限定 …………… *
- (1) 戦前（明治元年～昭和 20 年、1868.9.08～1945.8.15） …………… *
- ア 単行書 …………… *
- イ その他 …………… *
- (2) 戦後（昭和 20 年～、1945.8.16～） …………… *
- ア 単行書 …………… *
- (ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7） …………… *
- (イ) 平成年代（平成元年～、1989.1.8～） …………… *
- (ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～） …………… *
- イ その他 …………… *
- (ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7） …………… *
- (イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～ 2019.4.30） …………… *
- (ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～） …………… *
- (3) 関係者別 …………… *

4 『警察手眼』関係限定

- (1) 戦前（明治元年～昭和 20 年、1868.9.08～1945.8.15）

ア 単行書（※印：国立国会図書館電子図書館・近代デジタルライブラリー
〈<http://kindai.ndl.go.jp/>〉に収録。⇒国立国会図書館デジタルコレクション
〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉）

明治 9（1876）年

・※川路利良（1843～1879）述、佐和正（1844～1918）校閲、植松直久（1846～1882）
編纂『警察手眼』（明治 9 年 9 月序）

明治 12（1879）年

・※川路利良述、吉村増雄（福岡県士族）注釈『警察手眼注釈』（畏三堂、明治 12 年 7 月
刊）

・※川路利良述、佐和正校閲、植松直久編纂『警察手眼』（警視局蔵版、明治 12 年 10 月
24 日版權届出）

（参考：警視庁警視總監官房『警察手眼』（大正 4 年 2 月 16 日六版印刷発行、印刷兼発売
者 田山宗堯）の奥付記載事項：明治 12 年 10 月 27 日初版、明治 32 年 11 月 12 日再版印
刷発行、明治 33 年 2 月 18 日三版印刷発行、明治 43 年 8 月 15 日四版印刷発行、明治 44
年 1 月 25 日五版印刷発行）（平成 19 年 8 月 2 日追加、露崎栄一氏の御教示による。）

明治 21 (1888) 年

- ・※安藤次郎編『警官備考』（明治 21 年 2 月刊）

大正 6 (1917) 年

・※故大警視 川路利良原著、磯矢隆吉編『警察論語』（一名＝警察手眼釈義）（東京・磯矢隆吉、大正 6 年 7 月 15 日刊）⇒同書再刊：（東京・桂月堂、昭和 4 年 1 月 25 日刊）⇒戦後復刻：川路利良原著、磯矢隆吉編纂『警察論語（一名 警察手眼）』（警察教養文庫、飛龍閣、昭和 31 年 11 月 26 日刊）（平成 19 年 8 月 2 日、同 28 年 4 月 12 日各補正。）

大正 13 (1924) 年

・『警察手眼』（大正 13 年増版には時の警視総監太田政弘〈1870～1951〉の「序」あり。原本未見。）⇒『警察手眼』（「警察手眼」復刻刊行会、昭和 48 年 5 月 25 日刊）は、当該大正 13 年 8 月刊のものを復刻。（平成 19 年 8 月 2 日補正、露崎栄一氏の御教示による。）

イ その他

明治 32 (1899) 年

・耕月楼主人「寄書 警察手眼ヲ読ム」『不眠不休警察眼』第 10 巻第 11 号（明治 32 年 12 月 10 日刊）

昭和 5 (1930) 年

・松井茂（1866～1945）「新警察手眼」『自警』昭和 5 年頃に連載（調査中）⇒『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）昭和 5 年頃に転載（例：「新警察手眼（7）」『警務彙報』第 296 号（昭和 5 年 12 月 15 日刊）（平成 20 年 3 月 14 日追加）

昭和 9 (1934) 年

・朝倉昇（朝鮮・平安北道財務部長）「昭和の警察手眼」『警務彙報』（財朝鮮警察協会刊）第 333 号（朝鮮警察協会刊、昭和 9 年 1 月 15 日刊）30～34 頁（平成 20 年 3 月 14 日追加）

昭和 14 (1939) 年

・大竹武七郎（1898～1980）「警察手眼を読みて」『警察講習所学友会々報』第 25 号（昭和 14 年 9 月 20 日刊）22、23 頁（平成 20 年 5 月 6 日追加）

〈<https://www.lib-iwata-shizuoka.jp/person/5164/>〉

(2) 戦後（昭和 20 年～、1945.8.16～）

ア 単行書

（ア）昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）

昭和 31 (1956) 年

・川路利良原著、磯矢隆吉編纂『警察論語（一名 警察手眼）』（警察教養文庫、飛龍閣、昭和 31 年 11 月 26 日刊）（上記大正 6 (1917) 年版の復刻）

昭和 45 (1970) 年

・荒木征逸 (1915～1971) 『全訳警察手眼』 (警察時報社、昭和 45 年 5 月 1 日刊。当初『警察時報』昭和 45 年 5 月号別冊付録の由。)(警察時報社 HP: <http://www.k-jihoh.com/pages/top.html>) : この部分平成 28 年 4 月 12 日追加)

昭和 48 (1973) 年

・『警察手眼』 (『警察手眼』復刻刊行会、昭和 48 年 5 月 25 日刊) (昭和 3 年以降は刊行されず、「警視庁創設百年を迎えるに当たり、この“警察官のバイブル”ともいわれる名著を復刻刊行」との由。大正 13 年 8 月刊のものを復刻。なお、本文下段に註釈を付す。)(平成 19 年 8 月 2 日追加、露崎栄一氏の御教示に拠る。)

(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.40)

平成元 (1989) 年

・笠野孝 (1930～) 『注解警察手眼』 (立花書房、平成元年 5 月 1 日刊)

(調査中)

・下記詳細不明、調査中 (平成 25 年 10 月 31 日追加)

<http://www.mars.dti.ne.jp/~h2r9m2c1/TEXT/ymokuroku.html>

岩手県南史談会「研究紀要」第 29 集に掲載された八巻一雄先生著作目録 (遠藤輝夫氏作成)、及び手元にある資料により作成。

[復刊紀要 1 集] (平成 4.5.1.)

紀要 21 集刊行に当たって (平成 4.5.4.)

平成三年度『研究紀要』第二十一集 (平成 4.7.25.)

警察手眼 (平成 4.5.1.)

初代警視総監川路利良の訓辞を集録・編纂。「手快眼明」から取る。

警察聖書とも呼ばれ、高知県出身の植松直久が編纂。

平成三年度『研究紀要』第二十一集 (平成 4.7.25.)」

・久保博司 (1941～) 『警察手眼 日本警察再生への処方箋』 (講談社、平成 12 年 11 月 6 日刊)

・露崎栄一 (1949～) 『警察手眼編纂者 植松直久略伝』 (自己出版、平成 15 年 12 月刊) (植松の小照あり。)

⇒下記「津室児のブログ」に「警察手眼編纂者 植松直久略伝」(平成 24 年 12 月 2 日)としてほとんどが掲載されている。(この部分のみ平成 25 年 10 月 31 日追加)

<http://tumurojin.blogspot.jp/2012/12/blog-post.html>

・久野猛 (ひさの、1937～) 『警察手眼』に親しむ』 (立花書房、平成 19 年 4 月 20 日刊) (平成 19 年 8 月 2 日追加)

(ウ) 令和年代 (令和元年～、2019.5.1～)

イ その他

(ア) 昭和戦後期 (昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7)

昭和 26 (1951) 年

・田中榮一 (1901～1980) 『霜夜に祈る』 (財自警会文化部、昭和 26 年 7 月 10 日刊)
293～311 頁に「警察手眼」を収載する。(平成 20 年 1 月 25 日追加)

昭和 34 (1959) 年

・警視庁史編さん委員会『警視庁史 明治編』(昭和 34 年 1 月 1 日刊)

昭和 57 (1982) 年

・渡辺忠威 (1926～1986) 「警察手眼考」『警察学論集』第 35 巻第 2 号 (昭和 57 年 2 月刊)

(参考) 本HP別稿「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄 (参考) 渡辺忠威氏警察史関係文献抄」参照。(平成24年9月26日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

昭和 58 (1983) 年

・渡辺忠威 (1926～1986) 『警察手眼』「解説」、「現代語訳」、「語句の説明」『古典大系 日本の指導理念』第 6 巻 (創業の初心 ③ 近代社会の事始め) (第一法規出版、昭和 58 年 10 月 5 日刊) 129～173 頁 (「解説」: 131～133 頁、原文の下に「現代語訳」あり: 134～166 頁、「語句の説明」: 167、168 頁、写真 169～173 頁) (平成 20 年 7 月 4 日追加)

昭和 59 (1984) 年

・肥後精一 (1915～2012) 『明治のプランナー 大警視川路利良』(鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊) (54～61 頁: 「4 警察手眼は生きている」。105～120 頁に明治 9 年 9 月緒言の『警察手眼』を再録。) (平成 31 年 2 月 3 日追加)

(イ) 平成年代 (平成元年～平成 31 年、1989.1.8～ 2019.4.30)

平成 2 (1990) 年

・由井正臣 (1933～2008)、大日方純夫 (1950～) 校注『官僚制・警察』(川路利良著「警察手眼」、日本近代思想大系. 3、岩波書店、平成 2 年 11 月刊) (平成 20 年 9 月 14 日追加)

平成 12 (2000) 年

・福永英男 (1936～2021) 「弱者の保母たれ—『警察手眼』に学ぼう—」『日刊警察』平成 12 年 12 月 12 日 (火) 第 3 面 (平成 28 年 12 月 19 日追加)

平成 15 (2003) 年

・久野猛 (ひさの、1937～) 「「警察手眼」(川路利良大警視語録)に親しむ (1) ～ (12・完)」『警察公論』第 60 巻第 9 号 (平成 15 年 9 月刊) ～第 61 巻第 8 号 (平成 16 年 8

月刊) ⇒久野猛『『警察手眼』に親しむ』(立花書房、平成 19 年 4 月 20 日刊)として刊行(平成 19 年 8 月 2 日補正)

平成 25 (2013) 年

- ・金山泰介(1957～)「公務員の倫理と警察の職務倫理」『警察学論集』第 66 巻第 3 号(平成 25 年 3 月 10 日刊) 44～60 頁(『警察手眼』関連: 59～60 頁)(平成 25 年 3 月 7 日追加)

(ウ) 令和年代(令和元年～、2019.5.1～)

令和 4 (2022) 年

- ・小風明「川路大警視の撃剣再興論」『警察政策』第 24 巻(警察政策学会、令和 4 (2022) 年 3 月 15 日刊)(令和 4 (2022) 年 8 月 5 日追加)

令和 6 (2024) 年

- ・笠井聰夫「警察手眼と牧民之書」『『大警視だより』続刊第 18 号(令和 6 (2024) 年 1 月 1 日刊)(令和 5 (2023) 年 11 月 19 日追加)⇒警察政策学会資料第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(令和 6 (2024) 年 12 月刊)に再録。(令和 7 (2025) 年 1 月?日追加)

(改頁 8) *****

(該当目次)

- 4 『警察手眼』関係限定 (既出)
- (1) 戦前 (明治元年～昭和 20 年、1868.9.08～1945.8.15) (既出)
- (2) 戦後 (昭和 20 年～、1945.8.16～) (既出)
- (3) 関係者別 *
- ア 佐和正 (校閲者) *
- イ 丁野遠影 (「緒言」の執筆者) *
- ウ 植松直久 (編纂者) *

(3) 関係者別

ア 佐和正 (1844～1918、校閲者)

(参考) 詳細は、本 HP 別稿「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」 (HP 初載: 平成 20 年 12 月 15 日作成) 参照。 (平成 20 年 12 月 28 日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉

(参考) 本HP別稿「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄 (参考) 渡辺忠威氏警察史関係文献抄」参照。 (平成24年9月27日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

明治 17 (1884) 年

・※佐和正『航西日乗』 (三冊、明治 17 年 5 月刊) (肥後精一 (1915～2012)『明治のプランナー 大警視 川路利良』 (鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊) 121～152 頁に上巻のみ縮小復刻。現在では、国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧できる。

〈<https://dl.ndl.go.jp/pid/785273/1/1>〉)。

〔参考〕: 成島柳北 (1837～1884)『航西日乗』 (『明治文化全集』第 7 巻所収、日本評論新社、昭和 30 年刊) (平成 20 年 12 月 28 日修正、追加)

昭和 7 (1932) 年

・佐和正「往時の追憶」中村徳五郎 (1873? ～1940)『川路大警視』 (日本警察新聞社、昭和 7 年 10 月 1 日刊) 336～338 頁

昭和 8 (1933) 年

・林甚左衛門 (警視庁記録係長)「佐和小警視を語る—明治十四年警視庁再置に隠れた功労者—」『自警』第 15 巻第 164 号 (昭和 8 年 4 月 10 日刊) 76 頁以下 (平成 22 年 5 月 1 日追加)

昭和 46 (1971) 年

・中原英典 (1915～1979)「佐和正「東野年譜」 (上) —明治警察史資料 (1) 」『警察

研究』第 42 巻第 1 号（昭和 46 年 1 月刊）

中原英典氏 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>

・中原英典「佐和正「東野年譜」（下）—明治警察史資料（1）」『警察研究』第 42 巻第 2 号（昭和 46 年 2 月刊）

・中原英典「東野詩草・抄」『自警』第 53 巻第 7、8 号（昭和 46 年 7、8 月刊）

・梅溪昇（1921～2016）『お雇外国人⑩—政治・法制』（鹿島研究所出版会、昭和 46 年 12 月 10 日刊）（第 3 章 警察制度の整備とグロース、118～123 頁）（平成 21 年 3 月 9 日追加）

昭和 48（1973）年

・中原英典「佐和正「春雁録」〔含「春雁録」「奥州巡歴報告（案）」複刻〕」『警察学論集』第 26 巻第 7 号（昭和 48 年 7 月刊）

・中原英典「佐和正「遊清日乗」〔含複刻〕—明治警察史資料（10）」『警察研究』第 44 巻第 8 号（昭和 48 年 8 月刊）

・中原英典「佐和正「法蘭西質問録」〔含複刻〕（上）—明治警察史資料（11）」『警察研究』第 44 巻第 9 号（昭和 48 年 9 月刊）

・中原英典「佐和正「法蘭西質問録」〔含複刻〕（下・完）—明治警察史資料（11）」『警察研究』第 44 巻第 10 号（昭和 48 年 10 月刊）

・中原英典「「佐和正・関係文書」目録—明治警察史資料（12）」『警察研究』第 44 巻第 11 号（昭和 48 年 11 月刊）

昭和 49（1979）年

・『警視庁百年の歩み』（警視庁創立 100 年記念行事運営委員会、昭和 49 年 1 月 15 日刊）47 頁に佐和正の小照あり。

昭和 52（1977）年

・井上毅伝記編纂委員会編『井上毅伝 史料篇 第六』（國學院大學図書館、昭和 52 年 3 月 5 日刊）（井上毅書簡補遺、井上毅発佐和正宛書簡 274～278 頁、井上毅：1844～1895）（平成 24 年 11 月 16 日追加）

平成 2（1990）年

・由井正臣（1933～2008）、大日方純夫（1950～）校注『官僚制・警察』（佐和正著「警視庁再置を乞うの議」、日本近代思想大系. 3、岩波書店、平成 2 年 11 月刊）（平成 20 年 9 月 14 日追加）

平成 19（2007）年

・河内屋信吉（1977～）『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』（自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊）48、49 頁（「侍たちの警視庁」、平成 22 年 7 月 8 日掲載か。）

<<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/51d257125d0245e97075532055d53d8e>>（平成 22 年 10 月 5 日追加）

平成 24（2012）年

・河内貞芳（1977～）『侍たちの警視庁 大警視川路利良の時代』（自己出版、平成 24 年 6 月 10 日刊。前著河内屋信吉『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』（自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊）の改訂版。）20 頁（平成 24 年 8 月 24 日追加）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/8020cee9a1a024b6a0943184714da1b7>〉

(調査中)

・井上毅伝記編纂委員会編『井上毅伝 史料篇 第四』(國學院大學図書館、昭和46年9月5日刊)(書簡関係、未見)(平成21年9月7日追加)

イ 丁野遠影(1831～1916、丹山、「緒言」の執筆者)

昭和8(1933)年

・林甚左衛門(警視庁記録係長)「権大警視丁野遠影」『自警』第15巻第168号(昭和8年8月10日刊)59～63頁(平成22年5月1日追加)

昭和40(1965)年

・『三重県警察史』第2巻(三重県警察本部警務部警務課、昭和40年11月3日刊)266頁(丁野の少警視時代の写真も掲載)(平成30年8月9日追加)

平成元(1989)年

・笠野孝(1930～)『注解警察手眼』(立花書房、平成元年5月1日刊)187頁以下

平成11(1999)年

・「丁野丹山」『高知県人名事典 新版』(高知新聞社、平成11年9月1日刊)495頁(小照あり。)

平成19(2007)年

・河内屋信吉(1977～)『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』(自己出版、平成19年1月7日刊)98、99頁(「侍たちの警視庁」、平成22年7月8日掲載か。)

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/51d257125d0245e97075532055d53d8e>〉(平成22年10月5日追加)

・HP「漢学感覚」中の①「内閣臨時修史局とその職員」(平成19年11月6日掲載)、②「丹山・丁野遠影」(平成20年1月10日掲載)、③「丹山・丁野遠影 その2」(平成20年1月11日掲載)(平成20年12月28日追加)

① 〈<http://ameblo.jp/k2600nen/entry-10053838250.html>〉

② 〈<http://ameblo.jp/k2600nen/entry-10064928467.html>〉

③ 〈<http://ameblo.jp/k2600nen/entry-10065119111.html>〉

平成24(2012)年

・河内貞芳(1977～)『侍たちの警視庁 大警視川路利良の時代』(自己出版、平成24年6月10日刊。前著河内屋信吉『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』(自己出版、平成19年1月7日刊)の改訂版。)121頁(平成24年8月24日追加)

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/8020cee9a1a024b6a0943184714da1b7>〉

ウ 植松直久（1846～1882、編纂者）

昭和 56（1981）年

- ・『千葉県警察史』第 1 巻（千葉県警察本部、昭和 56 年 3 月 31 日刊）103 頁以下
- ・露崎栄一（1949～）「植松直久伝」『旭光』（千葉県旭光会）昭和 56 年 5 月号 40 頁以下

平成 13（2001）年

- ・桜島次郎『川路利良に学ぶ 上巻』（「桜島次郎」は肥後精一氏（1915～2012）の筆名、桜島出版、平成 13 年 8 月 1 日刊）73～83 頁

平成 15（2003）年

- ・露崎栄一（1949～）『警察手眼編纂者 植松直久略伝』（自己出版、平成 15 年 12 月刊）（植松の小照あり。）

⇒下記「津室児のブログ」に「警察手眼編纂者 植松直久略伝」（平成 24 年 12 月 2 日）

としてほとんどが掲載されている。（この部分のみ平成 25 年 10 月 31 日追加）

〈<http://tumurojin.blogspot.jp/2012/12/blog-post.html>〉

平成 19（2007）年

- ・河内屋信吉（1977～）『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』（自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊）114、115 頁（「侍たちの警視庁」、平成 22 年 7 月 8 日掲載か。）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/51d257125d0245e97075532055d53d8e>〉（平成 22 年 10 月 5 日追加）

平成 22（2010）年

- ・露崎栄一（1949～）「我が警察人生」『旭光』平成 22 年 3 月号 13～19 頁（植松直久再発見の件についても回想されており貴重）（平成 22 年 5 月 1 日追加）

平成 24（2012）年

- ・河内貞芳（1977～）『侍たちの警視庁 大警視川路利良の時代』（自己出版、平成 24 年 6 月 10 日刊。前著河内屋信吉『侍たちの警視庁 1874-1979—創成期の人物と史跡をたどる—』（自己出版、平成 19 年 1 月 7 日刊）の改訂版）122 頁（平成 24 年 8 月？日追加）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/8020cee9a1a024b6a0943184714da1b7>〉

平成 28（2016）年

- ・露崎栄一（1949～）「警察手眼編纂者植松直久考」『大警視だより』続刊第 1 号（通巻第 30 号、平成 28（2016）年 3 月 31 日刊）（平成 28 年 4 月 13 日追加）⇒警察政策学会資料第 110 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）104～105 頁に再録（令和 6（2024）年 2 月 8 日追加）

(改頁 9) *****

(該当目次)

- 4 その他 (1 記念関係) *
- (1) 旧邸 (東京) *
- (2) 頌徳碑 (東京) *
- (3) 弥生慰霊堂 (東京) (抄) *
- (4) 銅像 (東京) (抄) *
- (5) 警視庁 (東京) *
- (6) 警視庁創立 150 年関係 (東京) *
- (7) 鹿児島での記念碑等 (抄) *
- 5 その他 (2 資料類) *
- (1) 『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』関係 *
- (2) 警察史研究会会誌『手眼』三冊内容概略 *
- (3) 雑誌『敬天愛人』 *
- (4) 川路利良漢詩集 *
- (5) 警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧 *
- (6) 調査中 *

4 その他 (1 記念関係)

(参考)

・松井幹郎『「大警視川路利良聖地巡礼」ガイドブック』(改訂版、自己出版、平成 21 年 10 月 13 日刊)(平成 21(2009)年 10 月 13 日は川路大警視没後 130 年に当たることから、これを記念し、この日に刊行された。)(平成 21 年 9 月 6 日追加)

・HP「幕末掃苔屋 公式ブログ」(再掲)(平成 25 年 8 月 6 日追加)

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya>〉

・安田定則宛川路利良書翰(関西学院大学図書館)(平成 25 年 11 月 15 日追加)

〈http://library.kwansei.ac.jp/e-lib/meijiseiji/pages/26980_TC-4_42.html〉

(1) 旧邸 (東京)

・現在の警視庁下谷警察署のあたりが、川路の私邸(元美濃大垣 10 万石戸田家下屋敷の半分、1 万 5 千坪)であった。今は、同署の敷地内に邸宅跡の石碑が建っている。詳細は、下谷警察署 HP 中の「川路大警視と下谷警察署」参照(平成 19 年 8 月 2 日、平成 20 年 12 月 28 日、平成 21 年 3 月 9 日閲覧)。

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/6/shitaya/index.htm>〉

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/6/shitaya/kawaji/kawaji.htm>〉

・『自警』平成 28 年 2 月号 29 頁所収川原井豊春氏稿「ネットワーク（連載記事） 大警視とのゆかりを誇りとして ●下谷署 川路大警視ゆかりの地、下谷」参照。（平成 28 年 4 月 13 日追加）

（2）頌徳碑（東京）

・墓地：青山霊園 1 種イ 4 号 1～4 側 5 番（平成 19 年 12 月 22 日追加）

〈<http://www.tokyo-park.or.jp/reien/park/index094.html>〉、

〈<http://seuru.pupu.jp/sisekitokyoaoyama2.html>〉参照。

・明治 15（1882）年頌徳碑が青山墓地内に建立される。

・本 HP 別稿「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）
一故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰一 一明治警察史の一齣一」（HP 初載：平成 21 年 9 月 26 日（土）初稿作成、平成 24 年 10 月 1 日（月）三訂稿作成）（平成 24 年 8 月 24 日追加、同 25 年 3 月 7 日一部補正）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉

（3）弥生慰霊堂（東京）（抄）

〈<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BC%A5%E7%94%9F%E6%85%B0%E9%9C%8A%E5%A0%82>〉参照。（本サイト：平成 20 年 9 月 14 日追加）

〈<http://homepage3.nifty.com/naitouhougyoku/frame/dokugen-n4.htm>〉参照。（本サイト：平成 25 年 4 月 12 日追加）

（4）銅像（東京）

・警視庁警察学校

〈<https://www.sankei.com/article/20240114-DDW7XJLU4RNLNGZMSQIKAHJAFQ/>〉

（5）警視庁（東京）（平成 21 年 3 月 9 日追加）

・警察参考室

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/i/welcome/honbu.htm>〉

・警察学校

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kouhoushi/no6/welcome/tour.htm>〉

・警察博物館

〈http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/about_mpd/welcome/welcome/museum_tour.html〉

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/i/welcome/hakubutsu.htm>〉

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kouhoushi/no3/welcome/welcome.htm>〉

〈<http://goriyou-guide.info/M6YzVOx4.html>〉

〈 http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about_mpd/welcome/welcome/museum_tour.html〉

・ 下谷警察署

〈<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/6/shitaya/kawaji/kawaji.htm>〉 ⇒

〈https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/shokai/ichiran/kankatsu/shitaya/index.html〉

(6) 警視庁創立 150 年関係 (東京) (令和 6 (2024) 年 2 月 8 日新設追加)

・ 警視庁創立 150 年サイトの開設

〈<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/150th/index.html>〉

・ 令和 6 (2024) 年 1 月 14 日『神奈川新聞』15 面「論説 特報」

「首都の治安を守る「桜田門」 警視庁明日創立 150 年」

・『産経新聞』R06-1/14(日) 20:30 配信

「警視庁 150 年 1/150 [連載] 初代大警視・川路利良の教え 時代変われども「心構え」は不変」

〈<https://news.yahoo.co.jp/articles/61e27184e24af76c0e1d94113a87456e7bc51d2f>〉

・ 天皇皇后両陛下が警視庁創立 150 年記念式典に出席「今後も社会情勢の変化に対応しつつ責務を果たすことが望まれる」

〈<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/941329>〉

・ 天皇陛下 地震の犠牲者を悼む 警視庁創設 150 年の式典で

2024 年 1 月 15 日 12 時 10 分

警視庁が創設されてから 150 年となる 15 日、天皇皇后両陛下も出席されて記念の式典が開かれ、天皇陛下はおことばのなかで能登半島地震の犠牲者を悼む気持ちなどを述べられました。

〈<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240115/k10014321211000.html>〉

・ 宮内庁 天皇陛下のおことば 警視庁創立 150 年記念式典 令和年 1 月 15 日 (警視庁本部庁舎)

〈<https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/127>〉

・ 1 月 22 日『令和 6 年自警特別号 応援歌 警視庁創立 150 年』(警視庁創立 150 年記念行事推進事務局、令和 6 (2024) 年 1 月 22 日刊) 発行 (通常号は毎月 15 日発行)

(7) 鹿児島での記念碑等 (抄)

・ 例えば、HP 〈<http://www.geocities.jp/bane2161/kawajitosiyosi.html>〉に、鹿児島市の川路利良像 (平成 11 (1999) 年 10 月建立) の写真あり。(平成 20 年 8 月 31 日追加)

・ 川路利良の銅像 〈http://blogs.yahoo.co.jp/kagoshimaboy_2009/1677650.html〉 (平成 25 年 10 月 7 日追加)

・ 時事ドットコム 令和 6 (2024) 年 1 月 27 日(土)

・Subject: 薩摩の川路利良像、「魂」と共に 彫刻家「一心に仕事の人」—葛藤の子孫、送るエール・警視庁 150 年 鹿児島市の彫刻家、中村晋也さん（1926～、97 歳、「大久保利通公」像制作者）が制作

〈<https://www.jiji.com/jc/article?k=2024012000396&g=soc>〉 01 月 21 日 06 時 58 分配信
(令和 6 (2024) 年 4 月 28 日追加)

・川路利良誕生地: (平成 24 年 8 月 24 日追加)

〈http://www.city.kagoshima.lg.jp/1010/kanko/28665/category/shiseki/area_ishiki/34852.html〉 (鹿児島市 HP)

・鈴木卓郎 (1924～1994) 「川路大警視像の除幕式に参列して」『同盟ニュース』通巻第 253 号 (第 22 巻、同盟通信社、平成 2 年刊) (鹿児島県立図書館所蔵記事)

(参考) 平成 2 (1990) 年川路大警視父祖の地霧島市横川町に川路利良像建立、除幕式には鹿児島県警本部長やフランキー堺氏 (縁故関係者、1929～1996) らが祝辞を述べている
〈http://www.kagoshima-cci.or.jp/?page_id=23302〉 ((参考) 分: 令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

・内田一弘 (当時鹿児島県横川警察署長) 「川路大警視ルーツの地で治安を守る」上、下『日刊警察』平成 30 年 1 月 12 日号第 3 面、同 1 月 19 日号第 3 面 (平成 30 年 1 月 17 日追加、同 31 年 2 月 3 日一部修正)

・〈<https://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/2c531401934ba196430e19918470853b>〉
(令和 6 (2024) 年 4 月 28 日追加)

(参考)

・武藤誠 (1922～2013) 「西郷と大久保の手を握らせよう」『みなみの手帖』第 13 号 (鹿児島市・みなみの手帖社 (鹿児島市下荒田 1 丁目 25 の 6、平成 15 年廃刊) 昭和 50 年 8 月 30 日刊) 23～25 頁 (西郷隆盛: 1828～1877、大久保利通: 1830～1878)

⇒警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第四輯)』(警察政策学会資料第 138 号、令和 6 (2024) 年 12 月刊) に下記を収録した。

第 3 編 武藤誠先生記念集……………9

(再録) 武藤誠先生「西郷と大久保の手を握らせよう」『みなみの手帖』第 13 号 (昭和 50 (1975) 年 8 月 30 日刊) (附載: 御令室武藤都喜子様御書翰) ……………9

(⇒以下: 令和 7 (2025) 年 1 月 4 日追加)

・鹿児島市に大久保利通銅像が没後 100 年を記念して昭和 54 (1979) 年 9 月 26 日中村晋也氏 (1926～) によって制作される。

〈<https://www.kagoshima-kankou.com/guide/10512>〉

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E6%9D%91%E6%99%8B%E4%B9%9F>〉

・朝日新聞デジタル記事「大久保利通の慰霊祭、鹿児島で初開催 「恩讐越えて」

ライター・知覧哲郎令和 3 (2021) 年 5 月 15 日 13 時 39 分

〈<https://www.asahi.com/articles/ASP5G6RQMP5CTLTB00N.html>〉

(令和 6 (2024) 年 2 月 8 日追加)

(改頁 10) *****

(該当目次)

- 4 その他 (1 記念関係) …… (既出)
- (1) 旧邸 (東京) …… (既出) (改頁 9 内)
- (2) 頌徳碑 (東京) …… (既出) (改頁 9 内)
- (3) 弥生慰霊堂 (東京) (抄) …… (既出) (改頁 9 内)
- (4) 銅像 (東京) (抄) …… (既出) (改頁 9 内)
- (5) 警視庁 (東京) …… (既出) (改頁 9 内)
- (6) 警視庁創立 150 年関係 (東京) …… (既出) (改頁 9 内)
- (7) 鹿児島での記念碑等 (抄) …… (既出) (改頁 9 内)
- 5 その他 (2 資料類)
- (1) 『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』関係 …… *
- (2) 警察史研究会会誌『手眼』三冊内容概略 …… *
- (3) 雑誌『敬天愛人』 …… *
- (4) 川路利良漢詩集 …… *
- (5) 警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧 …… *
- (6) 調査中 …… *

5 その他 (2 資料類)

- (1) 『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』関係

(平成 26 (2014) 年 7 月 9 日新設追加)

・平成 26 (2014) 年 1 月 21 日 (火) より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」(図書館送信) が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料 (第 1 号～第 520 号) も最寄りの公共図書館等 (国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。) で利用できるようになった。〈http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/〉

(追記) 上記については、現在は下記で修正のこと。(令和 4 (2022) 年 8 月 5 日追加)

・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉

・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス (個人送信) (令和 4 (2022) 年 5 月 19 日開始)

〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉

・武藤誠氏 (1922～2013) は夙に『警察協会雑誌』総目次の作成を企図され、その実現に努められたが、御逝去後の平成 25 (2012) 年 12 月に下記の著作が公刊された。武藤氏の尽瘁方につき同書収載の警察政策学会警察史研究部会長加藤晶氏序文参照。

・警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成

25 年 12 月刊)。なお、別に公益財団法人警察協会 HP <http://www.keisatukyoukai.or.jp/> に HP 用「目次集」がアップされている。⇒

<http://www.keisatukyoukai.or.jp/index.php?id=145>

(参考) <http://asss.jp/katudou/publication/siryou/7.html> (平成 26 年 11 月 16 日追加)

・本『警察協会雑誌目次集＝警察政策あり。百年の論述＝』を踏まえた研究として、現時点では例えば次の著作がある。

⇒・平成 26 年 6 月 警察政策学会管理運用研究部会 (松尾庄一氏執筆)『警察協会雑誌にみる警察の歴史』(警察政策学会資料第 77 号、平成 26 (2014) 年 1 月〈マ〉)刊。同年 5 月「まえがき」あり。)

⇒・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 1 回 開化警察」『季刊現代警察』第 142 号 (平成 26 年 7 月 10 日刊) 78～85 頁 (連載開始) (平成 26 年 7 月 16 日追加)

⇒・廣瀬権「警察協会雑誌の謎」解明に向けた一步『警察学論集』第 67 巻第 8 号 (平成 26 年 8 月 10 日刊) 97～114 頁 (「警察協会雑誌の二つの謎」〈第 521 号は存在したのか否か、何故昭和 23 年 6 月の第 529 号「新警察法施行記念特集号」をもって突然終了したのか〉を解く旅」(平成 26 年 3 月 20 日初稿)を成稿、公表したもの。)(平成 26 年 8 月 31 日追加)

⇒・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 2 回 民衆警察」『季刊現代警察』第 143 号 (平成 26 年 10 月 10 日刊) 74～81 頁 (平成 26 年 11 月 16 日追加)

・警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会、平成 26 年 11 月 7 日刊)刊行される。(平成 26 年 10 月 16 日追加)

(参考) <http://asss.jp/katudou/publication/siryou/7.html> (平成 26 年 11 月 16 日追加)

⇒・松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 3 回 国防警察」『季刊現代警察』第 144 号 (平成 27 年 2 月 12 日刊) 64～71 頁 (平成 27 年 2 月 22 日追加)

⇒松尾庄一「実務から見た警察の歴史 第 4 回 民主警察」『季刊現代警察』第 145 号 (平成 27 年 5 月 20 日刊) 64～71 頁 (平成 27 年 6 月 6 日追加)

(2) 警察史研究会会誌『手眼』全三冊内容概略

(平成 26 年 7 月 21 日 T 先生所蔵本より作成) (平成 26 年 7 月 26 日新設追加)

＊『手眼』第一号 (編集・発行 警察史研究会 (代表 坂間裕)、平成 3 (1991) 年 10 月刊)

・はじめに

・昭和 60 (1985) 年 9 月慶応義塾大学名誉教授手塚豊先生 (1911～1990.4.14) を顧問として警察史研究会発足 (～平成 12 (2000) 年度で廃止 ⇒平成 13 (2001) 年度より警察政策学会警察史研究部会 (再開部会) に移行)

・昭和 61 (1986) 年 12 月警察史研究会「生みの親」の警察大学校資料主幹渡辺忠威先生 (1926～1986) 逝去

渡辺忠威: <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>

・平成 2 (1990) 年 4 月 14 日手塚豊先生逝去

〔目 次〕

・手塚豊（1911～1990.4.14）「西南戦争前後の鹿児島県第四課長（警察）と、〈ママ〉鹿児島警視出張所長」1～24 頁（「あとがき」によれば遺稿とのことであるが、下記の再録か。）

（参考）手塚豊「西南戦争前後の鹿児島県第四課長（警察）と鹿児島警視出張所長―鹿児島県警察本部編『警察風土記』への疑問」手塚豊編著『近代日本史の新研究 VI』（北樹出版、昭和 62 年 12 月？日刊）

・草山巖（1925～？、元兵庫県警察本部総務部参事）「【史料紹介】私の日本見聞録・一八八八～一八九二―神戸外国人居留地行事局長兼警察署長夫人イーダ・トローチックの手記―」25～64 頁（神戸市史紀要『神戸の歴史』第 18 号〈昭和 62 年 9 月〉所収）

・後藤正義（1925～1996.8.29、元警視庁刑事部第二機動捜査隊長）「明治新政府に勤仕した町奉行所与力同心について」65～76 頁

・永井誠吉「松代藩戊辰戦争記」77～89 頁

・山本将敬「西南戦争と四人の殉職者」91～102 頁

・武藤誠（1922～2013）「西南戦争勃発の事実関係―ドラマ“翔ぶが如く”に寄せて―」103～109 頁

・「あとがき」中に「「手眼」第一号の発行にあたり（改行） ○書名「手眼」につきましたは、ご承知のとおり、「・・・手快眼明・・・」・『警察手眼』から引用し、題字のご揮毫は当研究会発足以来ご指導をいただき会員でもあります警察大学校第一九代校長武藤誠先生にお願いしました。」とある。

・奥付 平成 3 年 10 月発行 非売品 編集・発行 警察史研究会 代表 坂間裕

＊『手眼』第二号（編集・発行 警察史研究会（代表 坂間裕）、平成 4（1992）年 10 月刊）

〔目 次〕

・手塚豊（1911～1990.4.14）「「執行セズ」という死刑判決―明治十五年十一月一日・大審院判決を巡る一考察―」1～20 頁（末尾に「第二回警察史研究会〈昭和 61 年 10 月 4 日〉配布資料」とある。）

・後藤正義（1925～1996.8.29、元警視庁刑事部第二機動捜査隊長）「辻番について」21～62 頁（末尾に「第七回警察史研究会配布資料」とある。）

・草山巖（1925～？、元兵庫県警察本部総務部参事）「兵庫県令内海忠勝の監獄肅正と警察―明治十八、九年を中心に―」63～94 頁

・大橋洋（元和歌山県警察本部情報管理課長）「西南戦争時の和歌山県における壮兵徴募」95～118 頁（末尾に「第二回警察史研究会〈昭和 61 年 10 月 4 日〉配布資料」とある。）

・あとがき（「執筆者ご紹介」あり。）

＊『手眼』第三号（警察史研究会、平成 6（1993）年 11 月刊（奥付なし）。最終号）

〔目 次〕

- ・後藤正義（1925～1996.8.29、元警視庁刑事部第二機動捜査隊長）「江戸の目明しについて―藤岡屋日記を中心に―」1～35 頁
- ・草山巖（1925～？、兵庫県警察史編集顧問、元兵庫県警察本部総務部参事）「明治一二年・兵庫県の協議費交番所創設事情について―条約改正交渉問題との関連を中心に―」37～68 頁
- ・警察史研究会開催状況（年 1 回開催。第 1 回 昭和 60 年 9 月 27 日～第 10 回 平成 6 年 11 月 18 日）
- ・あとがき 「手眼」第三号の発行に寄せて
- ・奥付なし

（3）雑誌『敬天愛人』

- ・（公財）西郷南洲顕彰会
〈<http://www.saigou.jp/>〉
- ・雑誌『敬天愛人』（西郷南洲研究誌）
〈<http://iss.ndl.go.jp/books/R1000000002-I0000000042003-00>〉
（参考：警察関係諸稿）
- ・平井政明（1903～？）「勝田孫弥先生小伝」『敬天愛人』第 8 号（財）西郷南洲顕彰会、平成 2（1890）年 9 月 24 日刊）208～210 頁（勝田孫弥：1867～1941）（平成 30 年 4 月 7 日追加）
〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8B%9D%E7%94%B0%E5%AD%AB%E5%BC%A5>〉
- ・橋口俊二「日本警察の誕生と西郷隆盛」『敬天愛人』第 18 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 12 年 9 月 24 日刊）23～51 頁（平成 26 年 7 月 25 日追加）
- ・友野春久（1952～）「谷口登太伝」『敬天愛人』第 25 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 19 年 9 月 24 日刊）70～89 頁（下記『敬天愛人』第 26 号の続稿あり。）（平成 31 年 4 月 7 日追加）
- ・伊牟田比呂多（？～2017、83 歳）「長州派閣僚を警察掌握に向かわせた藤田組疑獄事件と薩軍関係者の復権」『敬天愛人』第 26 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 20 年 9 月 24 日刊）57～95 頁（平成 31 年 4 月 7 日追加）
- ・友野春久（1952～）「谷口登太年譜」『敬天愛人』第 26 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 20 年 9 月 24 日刊）173～186 頁（上記『敬天愛人』第 25 号論稿の続き。「中原尚雄年譜」もあり。）（平成 31 年 4 月 7 日追加）
- ・「鹿兒島裁判所裁判官の上表密書 政府の西郷暗殺「陰謀の証」 首謀者は法に照らし処すべし」『敬天愛人』第 30 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 24 年 9 月 24 日刊）181～200 頁（平成 31 年 4 月 7 日追加）
- ・伊牟田比呂多（？～2017、83 歳）「西郷下野に伴い辞職した警察官、明治中・後期に警

察トップへ復権の背景』『敬天愛人』第 31 号（（財）西郷南洲顕彰会、平成 25 年 9 月 24 日刊）159～188 頁（平成 30 年 12 月 1 日追加）

・黒岩昭彦（1963～）「「密偵」か教育者か―謎多き野村綱の生涯―」『敬天愛人』第 34 号（（公財）西郷南洲顕彰会、平成 28 年 9 月 24 日刊）109～122 頁（伊牟田茂夫 ⇒ 筆名 伊牟田比呂多: ? ～2017、83 歳）（平成 31 年 4 月 7 日追加）

・神園紘「伊牟田茂夫先生を追悼文する」『敬天愛人』第 35 号（（公財）西郷南洲顕彰会、平成 29 年 9 月 24 日刊）219～220 頁（伊牟田茂夫 ⇒ 筆名 伊牟田比呂多: ? ～2017、83 歳）（平成 31 年 4 月 7 日追加）

（4）川路利良漢詩集（平成 31 年 4 月 7 日新設）

・明治 14（1881）年

・※重野成齋（安齋、1827～1910）・鱸松塘（元邦、1823～1898）批閱、川路利良著『龍泉遺稿』（漢詩集、明治 14 年刊、龍泉は川路の号）

〈http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/html/bunko11/bunko11_a1211/index.html〉

〈<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/894637>〉

昭和 55（1980）年

・『龍泉遺稿』（川路利良漢詩集、肥後精一（1915～2012.11.6、96 歳）復刻、昭和 55 年 4 月刊）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/f6031915ba38dedab0093eb091098cd6>〉

⇒肥後精一『明治のプランナー 大警視川路利良』（鹿児島・南郷出版、昭和 59 年 1 月 10 日刊）158～170 頁に縮小の上再録。

平成 6（1994）年

・肥後精一（1915～2012）・西岡市祐（1933～?）編『現代語訳付 龍泉遺稿 甦る大警視 川路利良の人物像』（東京法令出版、平成 6 年 5 月 2 日刊）

〈<http://blog.goo.ne.jp/bakumatsusotaiya/e/f6031915ba38dedab0093eb091098cd6>〉

平成 28（2016）年

⇒松尾善弘（1940～）監修、鹿児島県漢詩学習会編訳『大警視川路利良漢詩集』（斯文堂、平成 28 年 11 月刊）

〈<https://www.22art.net/daikeishi/>〉

(5) 警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧（令和 4（2022）年 8 月 5 日新設追加）

ア 警察政策学会学会資料

- ・第 31 号『警察という言葉の成立事情』（警察史研究部会編、警察政策学会、平成 16（2004）年 3 月刊）（笠野孝氏執筆）

〈 <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC031%E5%8F%B7.pdf>〉（URL: 令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

- ・第 51 号『「警察巡閲規則」「注解」』（警察史研究部会編、警察政策学会、平成 20（2008）年 7 月刊）（戸高公德氏執筆）

〈 <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC051%E5%8F%B7.pdf>〉（URL: 令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

- ・第 60 号『普魯西王国警察大尉ウイルヘルム・ヘーシ九州、東北各縣巡回視察復命書～付 全国警部長会議における演説～』（警察史研究部会編、警察政策学会、平成 22（2010）年 6 月刊）（戸高公德氏執筆）

〈 <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC060%E5%8F%B7.pdf>〉（URL: 令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

- ・第 86 号『横浜外国人居留地における近代警察の創設—治安の維持と不平等条約—（Maintenance of Order & Unequal Treaties）』（警察史研究部会編、警察政策学会、平成 28（2016）年 3 月刊）（鈴木康夫氏執筆）

〈<http://asss.jp/report/86/86-00.pdf>〉、〈<http://asss.jp/report/86/86-01.pdf>〉

〈<http://asss.jp/report/86/86-02.pdf>〉

- ・第 107 号『明治の国家と警察制度の形成』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和元（2019）年 8 月刊）（鈴木康夫氏執筆）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99107.pdf>〉

- ・第 110 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）（序文: 廣瀬權部会長）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf>〉

- ・第 114、115 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）（上下冊）武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集』

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf>〉（第 114 号）

〈 <http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99115.pdf>〉（第 115 号）

・第 121 号『明治の内政・治安政策と武士の終焉』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4（2022）年 7 月刊）（鈴木康夫氏執筆）

〈 <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC121%E5%8F%B7.pdf>〉（URL: 令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

・第 122 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4（2022）年 5 月 8 日刊）（序文: 廣瀬權部会長）（令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

〈 <http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

・第 130 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 5（2023）年 8 月刊）（序文: 廣瀬權部会長）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

〈 <http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>〉

・第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第五輯）』（警察史研究部会編、警察政策学会、令和 6（2024）年 12 月刊）（序文: 新谷珠恵部会長）（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

〈 <http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

イ 警察政策学会学会資料・別刷

・『警察協会雑誌目次集—警察政策百年の論述—』（警察政策学会資料・別刷。警察政策学会・（公財）警察協会、平成 25（2013）年 12 月刊）

〈 <https://www.keisatukyokai.or.jp/pages/20/>〉（URL: 令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

・警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』（警察政策学会資料・別刷。警察政策学会、平成 26（2014）年 11 月 7 日刊）

・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年 10 月 1 日刊。序文: 廣瀬權部会長）

ウ 警察政策学会機関誌『警察政策』所載論説

・廣瀬權氏「「暴力団」という呼称について（大正末期～昭和戦前期）」『警察政策』第 19 卷（警察政策学会、平成 29（2017）年 3 月 15 日刊）

・鈴木康夫氏「明治維新と近代警察制度」『警察政策』第 20 卷（警察政策学会、平成 30（2018）年 3 月 15 日刊）

〈 <http://asss.jp/gakkaisi/%E6%98%8E%E6%B2%BB%E7%B6%AD%E6%96%B0%E3%>

[81%A8%E8%BF%91%E4%BB%A3%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%88%B6%E5%B
A%A6\(%E9%88%B4%E6%9C%A8%E5%BA%B7%E5%A4%AB%E8%91%97\).pdf](#)

- ・小風明氏「川路大警視の撃剣再興論」『警察政策』第24巻（警察政策学会、令和4（2022）年3月15日刊）
- ・鈴木康夫氏「大久保利通と明治警察制度」『警察政策』第26巻（警察政策学会、令和6（2024）年3月15日刊）

エ 大警視川路利良研鑽会刊行物

- ・『大警視だより』続刊（（復刊）第1号（平成28（2016）年3月31日刊）～第19号（令和6（2024）年7月1日刊））（継続発行中）（令和6（2024）年4月28日一部補正）
- ・『【CD版】加藤晶会長追悼記念 大警視川路利良関係資料集〔『大警視川路利良聖地巡礼」ガイドブック』、『大警視だより』、『大警視だより』続刊及び『大警視川路利良関係文献集成〕』』（大警視川路利良研鑽会、令和元（2019）年9月1日刊）

（6）調査中

(改頁 11) *****

(該当目次)

(附録 1)『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介 …………… *

(1) 旧『大警視だより』(『大警視だより』。鹿児島・「大警視川路利良」研究会刊 ⇒
大警視川路利良研鑽会刊) …………… *

(2) 新『大警視だより』(『大警視だより』続刊)。横浜・大警視川路利良研鑽会刊) …
…………… * (改頁 12) 内参照

(附録 1)『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介

(1) 旧『大警視だより』(『大警視だより』。鹿児島・「大警視川路利良」研究会刊 ⇒
大警視川路利良研鑽会刊) (平成 24 (2012) 年 8 月 24 日新設追加)

平成 23 (2011) 年

・No.1 (創刊号。「大警視川路利良」研究会、平成 23 (2011) 年 6 月 13 日刊。名誉会長:
川路利永氏 (としひさ)、事務局: 鹿児島市・松井幹郎氏) (平成 25 年 3 月 18 日一部補
正)

・No.2 (「大警視川路利良」研究会、平成 23 (2011) 年 8 月 13 日刊)

・No.3 (大警視川路利良研鑽会 (名称変更)、平成 23 (2011) 年 10 月 13 日刊)

・No.4 (大警視川路利良研鑽会、平成 23 (2011) 年 12 月 13 日刊)

平成 24 (2012) 年

・No.5 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 2 月 13 日刊)

・No.6 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 4 月 13 日刊)

・No.7 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 6 月 13 日刊)

・No.8 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 8 月 13 日刊。他に、同年 8 月 4 日資
料「中原尚雄少警部宅訪問」あり。)

・No.9 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 10 月 13 日刊。「生麦事件特集 (同事
件発生 150 年)」(平成 24 年 9 月 27 日追加)

・No.10 (大警視川路利良研鑽会、平成 24 (2012) 年 12 月 13 日刊。「10 月 13 日川路大警
視展墓記」等) (平成 24 年 11 月 16 日追加)

平成 25 (2013) 年

・No.11 (大警視川路利良研鑽会、平成 25 (2013) 年 2 月 13 日刊。「薩英戦争特集」等)
(平成 25 年 2 月 1 日追加)

・No.12 (大警視川路利良研鑽会、平成 25 (2013) 年 4 月 13 日刊。「明治天皇北陸御巡幸」
等) (平成 25 年 3 月 18 日追加)

・No.13（大警視川路利良研鑽会、平成 25（2013）年 6 月 13 日刊。高橋 均先生の紹介あり。）（平成 25 年 8 月 6 日追加、同年 8 月 8 日一部補正）

・No.14（大警視川路利良研鑽会、平成 25（2013）年 8 月 13 日刊。別添附録にウィキペディア『明治天皇紀』、『歩兵第 29 連隊』（会津若松連隊）、『歩兵第 16 連隊（新発田連隊）』あり。）（平成 25 年 8 月 6 日追加、同年 8 月 8 日一部補正）

・No.15（大警視川路利良研鑽会、平成 25（2013）年 10 月 13 日刊。川路利永名誉会長「越後だより―新潟随想―」連載開始。同年 10 月 13 日川路大警視展墓案内記事あり。）（平成 25 年 10 月 7 日追加）

（参考）平成 25 年 10 月 13 日（日）、同 14 日展墓及び関係行事あり。（平成 25 年 10 月 14 日追加）

・No.16（大警視川路利良研鑽会、平成 25（2013）年 12 月 13 日刊）

平成 26（2014）年

・No.17（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 2 月 13 日刊）

・No.18（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 4 月 13 日刊）

・No.19（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 6 月 13 日刊）（以上平成 26 年 5 月 31 日追加）

・No.20（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 8 月 13 日刊。平成 26 年 5 月 17～29 日の川路大警視研究のための欧州視察紀行の特集あり。⇒「川路 追っかけ ヨーロッパの旅 ―マルセイユ、パリ、おまけに ロンドン― 報告、大警視川路利良生誕 180 年・「大警視川路利良研鑽会結成」3 周年記念」久野猛（ひさの、1937～）、有沢達也両氏稿あり。）（平成 26 年 7 月 9 日追加）

・No.21（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 10 月 13 日刊。平成 26 年 10 月 13 日（月、体育の日）開催予定の「大警視川路利良生誕一八〇年及び大警視川路利良研鑽会発足三周年記念『墓参、記念講演等、祝賀会及び懇親会』」記事等あり。記念講演：久野 猛「大警視川路利良の魅力」、報告：有沢達也「かわじ追っかけヨーロッパの旅」（平成 26 年 8 月 31 日追加）

⇒（参考）平成 26（2014）年 10 月 13 日（月）展墓及び「大警視川路利良生誕一八〇年・大警視川路利良研鑽会結成三周年記念」祝賀行事（東京）あり。（平成 26 年 10 月 15 日追加）

・No.22（大警視川路利良研鑽会、平成 26（2014）年 12 月 13 日刊。平成 26 年 10 月 13 日（月、体育の日）開催の「大警視川路利良生誕一八〇年及び大警視川路利良研鑽会発足三周年記念祝賀行事『墓参、記念講演等、祝賀会及び懇親会』」記事等あり。「参考資料」として祝賀会式次、祝賀会における川路利永名誉会長挨拶「A」、同「B」等掲載。肥後精一氏三回忌記事掲載。）（平成 26 年 11 月 15 日追加）

・DVD『川路利良生誕一八〇年 研鑽会発足三周年記念』（大警視川路利良研鑽会、平成 26 年 12 月 13 日刊）（平成 26 年 12 月 21 日追加）

平成 27（2015）年

・No.23（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 2 月 13 日刊。川路利永名誉会長「越後だより―新潟随想―」連載最終回（その 8「越後だよりのエピローグにかえて」）、上記

平成 26 年 10 月 13 日（月、体育の日）開催の「大警視川路利良生誕一八〇年及び大警視川路利良研鑽会発足三周年記念祝賀行事」関連記事あり。）（平成 26 年 12 月 21 日追加）

・臨時特別号（川路知子様哀悼号、通し番号はなし。）（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 3 月 28 日刊。川路利永名誉会長御母堂川路知子様平成 27 年 3 月 3 日御長逝、享年 97）（本臨時特別号は実際はNo.24 発行後に刊行。平成 27 年 4 月 2 日追加）

・No.24（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 4 月 13 日刊。「大警視川路利良生誕 180 年 大警視川路利良研鑽会発足 3 周年記念祝賀行事等 DVD 国立国会図書館へ寄贈」、有沢達也「ガンス・グロース（監北特羅士）[1820～1881]の墓碑の研究」等記事掲載）（平成 27 年 2 月 22 日追加）

・No.25（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 6 月 13 日刊。横山實先生関係新刊本『共存学』〈1～3、弘文堂刊〉紹介等記事掲載）（平成 27 年 6 月 6 日追加）

・No.26（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 8 月 13 日刊。「武藤誠先生 三回忌 近し 追悼号」、平成 27 年 5 月 27 日福岡県武藤誠先生展墓関係等武藤先生記念特集記事掲載）（平成 27 年 7 月 12 日追加）

・No.27（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 10 月 13 日刊。大警視没後 136 年を記念して大警視を偲ぶ諸稿を掲載）（平成 27 年 8 月 25 日追加）

・大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（発行者：川路利永氏、編集者：鹿児島市・松井幹郎氏、平成 27 年 10 月 13 日刊）刊行（平成 27 年 10 月 8 日追加）

・No.28（大警視川路利良研鑽会、平成 27（2015）年 12 月 13 日刊。大警視没後 136 年記念の墓参会、昼食会の記事及び上記合本大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（発行者：川路利永氏、編集者：鹿児島市・松井幹郎氏、平成 27 年 10 月 13 日刊）刊行記事を掲載。『大警視だより』は編集者松井幹郎氏の御事情から本号でもって休刊とのこと。）（平成 28 年 1 月 2 日追加）

・No.29（大警視川路利良研鑽会、平成 28 年 2 月 13 日刊。前号第 28 号で最終号とのことであったが、新たに第 29 号を刊行して、「大警視川路利良研鑽会 鹿児島事務局の閉鎖と御挨拶」を掲載し、これが松井幹郎氏編輯発行に係る『大警視だより』の最終号となる。（平成 28 年 4 月 13 日追加）

・（参考 1）平成 27（2015）年 8 月現在『大警視だより』合本を御作成中とお聞きする。（平成 27 年 8 月 25 日追加）

・（参考 2）大警視川路利良研鑽会『大警視だより 第 1 集 大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（発行者：川路利永氏、編集者：鹿児島市・松井幹郎氏、平成 27 年 10 月 13 日刊）刊行（国立国会図書館〈<http://www.ndl.go.jp/>〉等に寄贈とのこと。なお、同書に未収録のNo.28 及びNo.29 は『大警視だより』続刊第 3 号（平成 29 年 1 月 1 日刊）に再録。⇒その後警察政策学会資料第 122 号 106～108 頁に再々録。）（平成 27 年 10 月 8 日追加、同 12 月 31 日一部補正、平成 28 年 12 月 19 日、令和 5（2023）年 11 月 19 日各一部補正）

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉（第 122 号）

(改頁 12) *****

(該当目次)

(附録 1)『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介 …………… *

(1) 旧『大警視だより』(『大警視だより』。鹿児島・「大警視川路利良」研究会刊 ⇒
大警視川路利良研鑽会刊) …………… (既出) (改頁 11 内参照。)

(2) 新『大警視だより』(『大警視だより』続刊)。横浜・大警視川路利良研鑽会刊) …
…………… *

(2) 新『大警視だより』(『大警視だより』続刊)。横浜・大警視川路利良研鑽会刊)
(平成 28 (2016) 年 4 月 13 日新設追加。逐次増補中。)

*『大警視だより』続刊第 1 号(通巻第 30 号)発行(平成 28 (2016) 年 4 月 13 日追加)
上記松井幹郎氏編輯発行の『大警視だより』を継承するものとして、平成 28 (2016)
年 3 月警察政策学会警察史研究部会長(当時)加藤晶氏(その後平成 28 年 6 月 18 日加
藤氏は大警視川路利良研鑽会会長に就任。)等により『大警視だより』続刊第 1 号(通巻
第 30 号、平成 28 (2016) 年 3 月 31 日刊)が発行された。同号(令和 7 (2025) 年 1 月
1 日現在では第 20 号が最新号。同号より通巻換算を変更し同号は第 50 号とした。)以下
は、下記のような内容である。

なお、本誌は国立国会図書館〈<http://www.ndl.go.jp/>〉及び鹿児島県立図書館
〈<https://www.library.pref.kagoshima.jp/>〉に登録されている。

*『大警視だより』続刊第 1 号(通巻第 30 号、平成 28 (2016) 年 3 月 31 日刊)

『大警視だより』続刊第 1 号(通巻第 30 号、平成 28 (2016) 年 3 月 31 日刊)が刊行
された。当該号は下記のような内容である。

【目 次】

・「大警視だより」続刊第 1 号に寄せて

大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……1

・「警察政策学会警察史研究部会」併せて「大警視川路利良研鑽会」の充実・発展を祈念し
ます 大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 ……2

・「大警視だより」の続刊について 警察政策学会警察史研究部会長 加藤晶 4

・「大警視川路利良研鑽会」の再スタートに当たって

警察政策学会警察史研究部会員 廣瀬権 …………… 5

・松井先生と「大警視川路君墓表」 東京外国語大学名誉教授 高橋均 … 5

・警察手眼編纂者植松直久考 警察政策学会警察史研究部会員 露崎栄一 …6	
【『大警視だより』続刊発行の経緯及びお願い等】（事務局） ……7	

【資料紹介 1】（有沢達也氏提供資料） ……3	
-------------------------	--

【資料紹介 2】（原田弘氏提供資料） ……3	
------------------------	--

＊『大警視だより』続刊第 2 号（通巻第 31 号、平成 28（2016）年 8 月 1 日刊）（平成 28 年 8 月 1 日追加）

『大警視だより』続刊第 2 号（通巻第 31 号、平成 28（2016）年 8 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

【目 次】

【特別寄稿】

・川路利良と禁門の変 慶應義塾大学文学部非常勤講師 重田麻紀……………2	
--------------------------------------	--

・父 利信 川路利永 息子 TOSKY そしてこれから 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……3	
・川路大警視の偉さ 警察政策学会警察史研究部会長 福永英男 ……4	
・“大警視だより”の続刊などについて 大警視川路利良研鑽会会長 加藤 晶 ……5	

【追浜官修墓地特集】……………7

・川路大警視の涙 旧高田藩和親会員 榊原好恭……………7	
・明治維新の残滓～大いなる忘れもの「官修墓」・川路大警視が率いる西南の役～ 大警視川路利良研鑽会会員 齋藤眞康……………8	
・追浜官修墓地について考える 大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権……………10	

・『フルベッキ群像写真』と川路利良－M 氏への返信－ 大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 12	
・139 年前の 4 月 14 日、熊本県益城町木山で 大警視川路利良研鑽会会員 久野猛……………14	
・川路大警視の面影を見る 大警視川路利良研鑽会会員 原田弘……………15	
・川路大警視の研究の論点 大警視川路利良研鑽会会員 鈴木康夫……………16	
・にっぽん！歴史鑑定『日本の警察はどのように生まれた？』を視聴して 大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 18	

【資料紹介 No.1～3】……………6	
---------------------	--

【御訃報】	11
【川路大警視関係文献抄〔連載〕1】	11
【事務局通信】	20

＊『大警視だより』続刊第3号（通巻第32号、平成29（2017）年1月1日刊）（平成28年10月23日追加、同年12月19日一部補正）

『大警視だより』続刊第3号（通巻第32号、平成29（2017）年1月1日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

【目 次】

【特別寄稿】

・川路利良と万国対峙

国士館大学文学部教授、明治維新史学会会長 勝田政治 …2

・コーヒーが冷めないうちに 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 …3

・坂野潤治先生の口演記録『西郷隆盛に見る対抗エリートの質』を読んで大警視川路利良研鑽に憶う 大警視川路利良研鑽会会長 加藤 晶 ……5

・錦絵に描かれた大警視とその画師余聞

旧高田藩和親会会員・大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……6

・苦難を乗り越えて一懲戒免職処分と対面した人々ー

大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……9

・川路大警視のアンドロイド（人間型ロボット）を作ろう！

大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……14

・官修墓地の状況を『自警』を紹介

大警視川路利良研鑽会会員 齋藤眞康 ……16

・『横浜外国人居留地における近代警察の創設 治安の維持と不平等条約（Maintenance of Order & Unequal Treaties）』（『警察政策学会資料』第86号）に学ぶ 大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 …16

・川路大警視と消防制度 大警視川路利良研鑽会会員 原田弘 ……18

・大警視川路利良の呼び名について 大警視川路利良研鑽会会員 露崎栄一 ……19

・大警視川路利良墓の展墓行事について

大警視川路利良研鑽会会員 露崎栄一 ……21

【再掲資料】（下記いずれも原本はカラー版であるがここではモノクロ版に変更した。）

・1 松井幹郎氏編集発行『大警視だより』第28号（平成27（2015）年12月13日刊） ……22（『大警視だより第1集大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』（平成27年12月13日刊）未収録）

・2 松井幹郎氏編集発行『大警視だより』最終第29号（平成28（2016）年2月13日刊）

…24 (『大警視だより第 1 集大警視川路利良研鑽会報No.1～No.27』(平成 27 年 12 月 13 日刊) 未収録)

・3 白鳥光康氏「ネットワーク 崇高な使命に殉じられた先輩方を偲んで ●企画課 横須賀市「官修墓地」における西南戦争戦病死者慰霊祭への参列」『自警』平成 28 年 8 月号 34 頁 ……25

【大警視川路利良関係文献抄 連載 2】 ……………8

【資料紹介 1】 ……………15 【資料紹介 2】 ……………21

〔前号紹介(抄)〕 ……………15 【前号(続刊第 2 号)誤植訂正】 ……21

【事務局通信】 ……………26

＊『大警視だより』続刊第 4 号(通巻第 33 号、平成 29 (2017) 年 7 月 1 日発行)(平成 29 年 8 月 1 日追加)

『大警視だより』続刊第 4 号(通巻第 33 号、平成 29 (2017) 年 7 月 1 日刊) が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【特別寄稿】

・「三間正弘は軽薄なる男子にあらず」—明治警察史の一齣—

國學院大學名誉教授 小林宏 ……………2

・青山霊園にて 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……………4

・反乱鎮定・悪疫跋扈(コレラ)

旧高田藩和親会員・大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……………7

・横須賀市官修墓地墓前祭

旧高田藩和親会員・大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……………8

・「声なきに聞き 形無きに見る」の出典、「声なきに聞き 形無きに見る」拾遺

元神奈川県警察本部長 福永英男 ……………9

・川路大警視の真の姿を追って—伊東 潤氏『走狗』読後感—

大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶 ……………14

・『川路利良履歴資料』等に見る川路利良の姿

大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 ……………17

・東西二人の創設者 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………19

・「大久保利通暗殺事件(紀尾井坂事件)」後にとられた諸対策

大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……………20

・「使い走り、走狗」がなんだ!

大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……………24

- ・近代警察制度研究と掃苔 大警視川路利良研鑽会会員 鈴木康夫……………26
- ・坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問い合わせを追って—
大警視川路利良研鑽会会員 吉原丈司……………28

- 【資料紹介】 ……13 【訃報】 ……6
- 【大警視川路利良関係文献抄 連載 3】 27
- 【前号紹介（抄） 1、2、3】 1、19、30 【前号誤植訂正】 ……30
- 【事務局通信】 ……30

＊『大警視だより』続刊第 5 号（通巻第 34 号、平成 30（2018）年 1 月 1 日発行）（平成 29 年 11 月 25 日追加）

『大警視だより』続刊第 5 号（通巻第 34 号、平成 30（2018）年 1 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

- 【特別寄稿】・西南の役殉職警察官の功績を偲んで
大分県大分中央警察署長 警視正 原田賢二 ……2
- 【特別寄稿】・久松定弘と湯目補隆の研究回顧 文学評論家 石川實…4

- ・西郷隆盛となわた料理 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……6
- ・心うたれる優れた作品—川路大警視漢詩集『現代語訳付き 龍泉遺稿』序—
元警察大学校長 武藤誠 ……8
- ・御用船団が築いた三菱財閥の基礎
旧高田藩和親会員・大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……10
- ・横須賀の奇縁—曾祖父命日、官修墓標ニ相違ナシ—
旧高田藩和親会員・大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……12
- ・西郷隆盛と大久保利通との比較—川路大警視との関連で—
大警視川路利良研鑽会名誉会員 原田弘 ……12
- ・川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（上）
大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶 ……14
- ・「前警視廳典獄山下房親氏談」を付度する—「川路の鞆丸（キノゴロ）」追究の旅—
大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎……………17
- ・ピール 9 則の現代的意義について—19 世紀英国及び川路大警視の警察制度改革を巡って—
大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………22
- ・懲戒処分・恩赦・懲戒免除制度に関する考察
大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……25
- ・朝井まかて『銀の猫』を読んで 大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 36

- ・中原英典氏の処女論考その他―「雲井龍雄と誤られた東北観」『月刊東北』所載及び未公表手稿二題― 大警視川路利良研鑽会会員 吉原丈司 ……38
- ・【資料紹介 1】新刊、行事等紹介 ……16
- ・【資料紹介 2】鹿児島県主催：明治維新 150 周年記念シンポジウムの開催について ……38
- ・【『大警視だより』続刊既刊号紹介】 ……21
- ・【前号紹介抄】（続刊第 4 号） ……37
- ・【大警視川路利良関係文献抄 連載 4】 ……3
- ・【大警視川路利良関係文献抄 連載 5】 ……39
- ・【事務局通信】 ……40

＊『大警視だより』続刊第 6 号（通巻第 35 号、平成 30（2018）年 7 月 1 日発行）（平成 30 年 1 月 17 日追加、同年 6 月 10 日修正）

『大警視だより』続刊第 6 号（通巻第 35 号、平成 30（2018）年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

- 【特別寄稿】・司馬凌海 信託研究家 永田俊一 ……2
- 【特別寄稿】・「明治 150 年」への雑感 慶應義塾福澤研究センター 重田麻紀… 6
- ・随 想 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……7
- ・内務卿と大警視の代理も勤めた郵便の父―前島密（ひそか）余聞―
旧高田藩和親会会員、大警視川路利良研鑽会名誉会員 榊原好恭 ……9
- ・生麦事件と川路利良 大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 12
- ・川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（下） 大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶 14
- ・川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（上・下）補足
大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶…17
- ・我が国における懲戒免除制度の変遷大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 19
- ・葉室麟文学の頂上を目指して 大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……29
- ・【大警視川路利良関係文献抄】
【連載 6】 ……9、【連載 7】 ……18、【連載 8】 ……32
- 【大警視川路利良関係資料】（新刊、行事等紹介） ……31
- ・【事務局通信】（編集後記） ……34
- 【『大警視だより』続刊既刊号紹介】 ……1

＊『大警視だより』続刊第 7 号（通巻第 36 号、平成最終号、平成 31（2019）年 1 月 1 日発行）（平成 30 年 12 月 1 日追加）

『大警視だより』続刊第7号（通巻第36号、平成最終号、平成31（2019）年1月1日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【特別寄稿】・近世益田家の領地・山口県萩市須佐-を訪ねて

慶應義塾福澤研究センター 重田麻紀 ……2

・我が恋人たち 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……4

・大警視川路利良没後140年慰霊祭挨拶文 大警視川路利良来孫 川路利樹 7

・川路大警視の伝統に生きる警視庁（追補）

大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶 ……9

・エッセー 川路利良のためらい

大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 ……11

・NHKスペシャル「シリーズ07 未解決事件—警察庁長官狙撃事件」を見て

大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……13

・葉室麟文学の頂上を目指して（2） 大警視川路利良研鑽会副会長 廣瀬権 ……17

・川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文、現代語訳） —
故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表 編修副長官従五位重野安繹撰—

大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎、同会会員 吉原丈司 ……19

・明治警察史関連最近文献一斑 ……30

・【『大警視だより』続刊既刊号紹 ……1

・【大警視川路利良関係文献抄連載 9～14】 ……6、8、10、16、27、31

・【関連行事紹介 1、2】 ……3、31

・【紹介】警察史研究会概略 ……12

・【事務局通信】 ……32

＊『大警視だより』続刊第8号（加藤晶会長追悼号、通巻第37号、令和元（2019）年7月1日刊）（令和元年6月18日追加）

『大警視だより』続刊第8号（通巻第37号、加藤晶会長追悼号、令和元（2019）年7月1日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【加藤晶会長追悼集】

・加藤晶会長御遺影 ……2

加藤晶会長追悼の辞

・加藤晶先生を偲ぶ 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……2

・弔 辞 国土館大学文学部教授 勝田政治 ……3

・加藤晶会長の御逝去を悼む 慶應義塾福澤研究センター 重田麻紀 ……3

・加藤晶大警視川路利良研鑽会会長を悼んで

大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎	…4
・加藤晶先生 ありがとうございました	
大警視川路利良研鑽会副会長、警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬權	…6
・加藤晶会長略年譜	…9
・加藤晶会長主要著作目録	…9
・【紹介】加藤晶会長と『大警視だより』続刊	…12
・【遺稿】名誉会員榊原好恭氏の御逝去を悼みて (榊原氏: 1933～2019.1.22)	
大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶	…13
・【遺稿】最近の川路大警視研究について—鈴木康夫氏の御高論に接して—	
大警視川路利良研鑽会会長 加藤晶	…15

【特別寄稿】

・伊藤博文宛川路利良書簡について	
京都産業大学法学部教授、社会安全・警察学研究所員 須賀博志	…17

- ・「すぐ死ぬんだから」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 …21
- ・川路正之進を治療した医師ウィリアム・ウィリス
大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 …24
- ・横須賀市所在の「官修墓地墓前祭」と警察史研究部会の関わりについて
警察政策学会警察史研究部会員 白井良雄……28
- ・平成の「仁義」作家・葉室麟
大警視川路利良研鑽会副会長、警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬權 33
- ・【大警視川路利良関係文献抄連載 15～20】 …5,8,12,14,16,23
- ・【事務局通信】 ………36

＊『大警視だより』続刊第9号(加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第38号、令和2(2020)年1月1日刊)(令和4(2022)年8月5日追加)

『大警視だより』続刊第9号(加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第38号、令和2(2020)年1月1日刊)が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】・同調圧力	大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永	……………2
・令和元年『川路大警視慰霊祭』(於鹿児島市皆与志町。謝辞: 川路利樹氏)について		……4
・原点回帰	警察政策学会警察史研究部会長、大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬權	……7
・故榊原謙齋氏の「書状」と『榊原謙齋 書状集(元越後高田藩士 新撰旅団小隊長の西南戦旅150日)』の寄贈先について		

警察政策学会警察史研究部会員・大警視川路利良研鑽会員 臼井良雄……………	13
【加藤晶会長追悼集Ⅱ】……………	14
1 故加藤晶先生追悼部会(令和元年 9 月 28 日)概要……………	14
2 追悼辞……………	15
・故加藤晶先生追悼挨拶	
警察政策学会警察史研究部会長、大警視川路利良研鑽会長 廣瀬權……………	15
・加藤晶先生ありがとうございました。	
大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永……………	17
・加藤会長御令室様御挨拶 加藤悠起子……………	19
・加藤会長続刊所収論稿一覧……………	19
・加藤晶会長の御逝去を悼みて一御礼と感謝—	
大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎……………	20
・故加藤晶会長を偲ぶ	
警察政策学会警察史研究部会員・大警視川路利良研鑽会員 小杉修二……………	22
・加藤 晶先生の追悼部会に参列して	
警察政策学会警察史研究部会員・大警視川路利良研鑽会員 齋藤眞康……………	27
・故警察史研究部会加藤 晶部会長の思い出	
警察政策学会警察史研究部会員・大警視川路利良研鑽会員 臼井良雄……………	28
3 追悼記念著作紹介	
＊『【CD 版】加藤晶会長追悼記念 大警視川路利良関係資料集〔『「大警視川路利良聖地巡礼」ガイドブック』、『大警視だより』、『大警視だより』続刊及び『大警視川路利良関係文献集成』〕』……………	29
＊『近代警察史関係文献目録抄 一川路大警視検討を中心に—』……………	32
【紹介】警視庁下谷警察署竣工の件……………	6
【大警視川路利良関係文献抄 連載 21～24】……………6、12、18、21 【事務局通信】……………	36

＊『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2（2020）年 7 月 1 日刊）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2（2020）年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】・継之助、歳三、そして。 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 ……	2
【特別寄稿】・三権分立の意匠 福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文 ……	5
・「顔が見える命」と「統計上の命」 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬權 ……	7
・随想『忘れ得ぬ人々』—川路魂に生きる人々—	
大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎 ……	10
・往時のコレラ禍による官修墓地のことを通して今の新型コロナウイルス問題を思う	

	大警視川路利良研鑽会会員 臼井良雄	13
・福沢諭吉と取締之法	大警視川路利良研鑽会会員 露崎栄一	14
・『川路利良西南事件に対する大義名分論』とその精神		
	大警視川路利良研鑽会会員 鈴木康夫	15
・邏卒総長桑原譲について	大警視川路利良研鑽会会員 鈴木康夫	16
【加藤晶会長追悼集Ⅲ】		18
・警察政策学会資料第 110 号『近代警察史の諸問題 ―川路大警視研究を中心の一』(令和 2 (2020) 年 5 月 8 日発行) 紹介(序文及び凡例)		18
・【大警視川路利良関係文献抄 連載 25～30】		4、6、9、12、17、21
・【事務局通信】		22

【加藤晶会長追悼既刊著作紹介】

- ・川路利永・松井幹郎・廣瀬権等編『【CD 版】加藤晶会長追悼記念 大警視川路利良関係資料集〔『大警視川路利良聖地巡礼』ガイドブック〕、『大警視だより』、『大警視だより』続刊及び『大警視川路利良関係文献集成』〕(大警視川路利良研鑽会、令和元(2019)年 9 月 1 日刊)⇒『大警視だより』続刊第 9 号 29 頁参照。
- ・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄―川路大警視検討を中心の一』(警察政策学会資料・別刷。警察政策学会、令和元(2019)年 10 月 1 日刊)⇒『大警視だより』続刊第 9 号 32 頁参照。
- ・警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題―川路大警視研究を中心の一』(警察政策学会資料第 110 号。警察政策学会、令和 2 (2020) 年 5 月 8 日刊)⇒本誌 18 頁参照。
- ・『大警視だより』続刊第 8 号(加藤晶会長追悼号Ⅰ、通巻第 37 号、令和元(2019)年 7 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 9 号(加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、令和 2(2020)年 1 月 1 日刊)

＊『大警視だより』続刊第 11 号(加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第 40 号、令和 3 (2021) 年 1 月 1 日刊)(令和 4 (2022) 年 8 月 5 日追加)

『大警視だより』続刊第 11 号(加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第 40 号、令和 3 (2021) 年 1 月 1 日刊)が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】・「日本の血脈」	大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永	2
・随筆「徳不孤必有隣」の糸物語		
	大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎	5
・コロナ禍と「大義名分」	大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬権	8
【特別寄稿】・もう一つの『坂の上の雲』―南部・伊達両藩の 6 人の青年たち―		

一般財団法人新渡戸基金理事長 藤井茂	11
【特別寄稿】・川路大警視の撃剣再興論 元九州管区警察局長 小風明	15
【特別寄稿】・明治監獄制度史研究と警察関係史料—新出の『警察監獄学校設立始末』について— 舞鶴工業高等専門学校人文科学部門教授 兒玉圭司	17
【特別寄稿】・「福島学派」の遠雷——井上紫電における憲法哲学の胎動 福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文	19
【加藤晶会長追悼集Ⅳ】	
【特別寄稿】・新発田藩偶感—加藤晶前会長を偲んで— 國學院大學名誉教授 小林宏	22
・加藤会長の思い出 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫	26
・大警視の慧眼 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫	27
・【加藤晶会長著作目録補遺】	25
・【紹介】加藤晶会長執筆序文抄	28
・越前歴史紀行—信濃から飛騨、美濃を抜けて 大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一	29
・【紹介】武藤誠先生「川路利良大警視の真実」の再刊	16
・【御訃報 1】島善高教授の御逝去	7
・【御訃報 2】坂野潤治教授の御逝去	7
・【大警視川路利良関係文献抄 連載 30～31】	14、18
・〔事務局通信〕	30

【既刊『大警視だより』続刊加藤晶会長追悼号紹介】	
・『大警視だより』続刊第 8 号（加藤晶会長追悼号Ⅰ、通巻第 37 号、大警視川路利良研鑽会刊、令和元年 7 月 1 日刊）	
・『大警視だより』続刊第 9 号（加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、大警視川路利良研鑽会刊、令和 2 年 1 月 1 日刊。「故加藤晶先生追悼部会（令和元年 9 月 28 日）概要」収録）	
・『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、通巻第 39 号、復刊第 10 号記念号、大警視川路利良研鑽会刊、令和 2 年 7 月 1 日刊）	

＊『大警視だより』第 12 号（福永英男前部会長追悼号、通巻第 41 号、令和 3（2021）年 7 月 1 日刊）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

『大警視だより』第 12 号（福永英男前部会長追悼号、通巻第 41 号、令和 3（2021）年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「てとろどときしん」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永	2
この際、川路利良大警視をもう一度勉強する 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬權	5

【福永英男前警察史研究部会長追悼集】

福永英男前警察史研究部会長略年譜・著作目録（抄）……………15

福永英男前警察史研究部会長「川路大警視と漢詩」……………18

（参考）戸高公德氏のヘーシ大尉研究……………17

【特別寄稿】「行政警察」と「司法警察」：イタリア・ローマの視点から

京都大学法学系教授 佐々木健……………21

【特別寄稿】「最初の否定論者」藤村守美について 三浦裕史……………24

【特別寄稿】「読みやすさ」と「地域史」とのはざまで—『須佐に住んだ武士

—永代家老益田家と家臣たち—』の執筆を終えて—

慶應義塾大学文学部古文書室研究員・萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員 重田麻紀
……………26

【特別寄稿】新潟大学退職に当たって—中国・台湾研究の思い出—

台湾・佛光大学佛教研究センター客員研究員 柴田幹夫……………28

【特別寄稿】暗い時代の人々—博棟華と朱紹文のこと

福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文……………31

私の警察学校体験—川路魂研鑽の日々—

大警視川路利良研鑽会鹿児島事務局代表 松井幹郎……………35

いわゆる外勤警察所感 警察政策学会警察史研究部会員 小杉修二……………40

謙信道—川中島に向かう越後上杉軍のルート

大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一……………43

【資料紹介】鷲巢敦哉及び植木鬼仏両氏の個人写真について

—警察講習所第13期卒業アルバムから—……………46

【御訃報】大島光宏先生の御逝去を悼みて……………48

村田光義先生の御逝去を悼みて……………48

秀村選三先生の御逝去を悼みて……………49

若松丈太郎先生の御逝去を悼みて……………50

【紹介】中田薫博士（1877～1967）単行書目録……………23

【紹介】警察政策学会資料第114号、同第115号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究
を中心に—（第2輯、上下冊）』の発行について……………47

【紹介】令和3年度追浜官修墓地墓前祭中止の件……………4

【連載資料】【大警視川路利良関係文献抄 連載32】……………51

【事務局通信】……………52

*『大警視だより』続刊第13号（松井幹郎先生追悼号、通巻第42号、令和3（2021）年
10月13日刊）（令和4（2022）年8月5日追加）

『大警視だより』続刊第13号（松井幹郎先生追悼号、通巻第42号、令和3（2021）年
10月13日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【追悼文】

松井幹郎先生を偲ぶ	大警視川路利良研鑽会会長 川路 利永	2
松井幹郎先生、ありがとうございました		
	警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬権	4
松井先生の悲報に接して	東京外国語大学名誉教授 高橋均	5
松井幹郎様のこと	武藤都喜子（武藤誠先生御令室様）	6
松井幹郎先生の御逝去をお悼みして	加藤 悠起子（加藤晶元会長御令室様）	8
松井幹郎先生を悼む	大警視川路利良研鑽会会員 笠井聡夫	9
加藤晶先生追悼会での献杯—松井幹郎先生追悼—		
	警察政策学会警察史研究部会事務局長 佐藤裕夫	9

【遺稿 1】川路大警視研究端緒について—『大警視だより 第 I 集』「編集後記」（再録）—	10
【遺稿 2】DVD『川路利良生誕一八〇年 研鑽会発足三周年記念』 （大警視川路利良研鑽会、平成 26 年 12 月 13 日刊）送付状	12
【遺稿 3】『大警視川路利良関係資料集』発行に寄せて—加藤晶会長を偲びつつ—	13
【資料紹介】最近発行警察史研究部会関連警察政策学会資料抄（含「別刷」）	15
【資料再録】（『大警視だより 第 I 集』（平成 27 年 10 月 13 日刊）未収録号）	16
『大警視だより』No.28（全 2 頁）	16
『大警視だより』No.29（最終号。全 1 頁）	18
【御遺族様から】父、松井幹郎について	鈴木裕美子 19
【略年譜・著作目録】松井幹郎先生略年譜・著作目録（初稿）	22
【松井幹郎先生追悼号発行経緯】松井幹郎先生の御逝去を悼みて	26
【事務局通信】	28

【既刊号紹介（抄）】（第 1 号～第 10 号は『CD 版大警視川路利良関係資料集』に収録。）	
『大警視だより』続刊第 8 号（加藤晶会長追悼号Ⅰ、令和元（2019）年 7 月 1 日刊）	
『大警視だより』続刊第 9 号（加藤晶会長追悼号Ⅱ、令和 2（2020）年 1 月 1 日刊）	
『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2（2020）年 7 月 1 日刊）	
『大警視だより』続刊第 11 号（加藤晶会長追悼号Ⅳ、令和 3（2021）年 1 月 1 日刊）	
『大警視だより』続刊第 12 号（福永英男前部会長追悼号Ⅰ、令和 3（2021）年 7 月 1 日刊）	

『大警視だより』続刊第 14 号（福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第 43 号、令和 4（2022）年 1 月 1 日刊）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

『大警視だより』続刊第 14 号（福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第 43 号、令和 4（2022）年 1 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「ドライブ・マイ・カー」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永……………2	
（紹介）川路利永名誉会長『大警視だより』続刊御寄稿一覧 ……………4	
「書き残す使命がある」—警察史研究部会の今後によせて—	
警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬権 ……………5	
松井幹郎先生の御逝去と追悼号の発行について（紹介：本誌前号（第13号））……………6	
【福永英男前警察史研究部会長追悼集Ⅱ】（前々号（第12号）より続く。）	
福永英男君を偲んで 元警察庁刑事局長 中門弘 ……………7	
福永英男前警察政策学会警察史研究部会長を偲んで	
大警視川路利良研鑽会会員 笠井聡夫 ……………9	
福永英男先輩の「ひとこと」	
警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬権……………10	
福永英男元静岡県警察本部長の思い出 元静岡県警察本部刑事部長 渡辺芳郎……………12	
（資料）福永英男前部会長単行書目録 ……………13	
【特別寄稿】刑罰としての亡命：ローマからの視点	
京都大学法学系教授 佐々木健……………14	
【特別寄稿】垣見隆禎教授の（中間団体としての自治体）論——廃藩置県150年に思う	
福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文……………18	
【特別寄稿】押し付け憲法論雑感——憲法の「出生の秘密」をめぐって 阪本尚文……………20	
【特別寄稿】強力な混成機動部隊の経験—預金保険機構大阪業務部時代の思い出—	
学校法人二松学舎常任理事 西畑一哉……………22	
【武藤誠先生記念集】武藤都喜子様御書翰二通 ……………26	
『武藤誠先生略年譜・著作目録』序文（再録） 元警察史研究部会長 加藤晶……………28	

「オウム真理教・犯罪者集団」との戦いと今日の課題（1）	
警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬権……………31	
高橋功氏「ネパール滞在記」について（紹介）	
警察政策学会警察史研究部会事務局長 佐藤裕夫……………40	
鶏肉のごちそう狩り—ネパール滞在記（1）— ボランティア日本語支援教師 高橋功 41	
飯縄信仰と戦国武将たち——ランニングで巡る歴史旅日記 研鑽会会員 松宇正一 45	
【部会員追悼】元警察史研究部会員横山英男氏の御業績を偲びて ……………51	
【追悼】石田雄教授、東山健吾（鄧健吾）先生、高橋由利子先生、色川大吉教授 ……………52	
影法師『大警視だより』些論①「〇〇好き」 ……………25 ②「前向きに」 ……………44	
【新刊紹介】 ……………53 【事務局通信】 ……………54	

*『大警視だより』続刊第15号（松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第44号、令和4年7月1日刊）（令和4（2022）年8月5日追加）

『大警視だより』続刊第 15 号（松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第 44 号、令和 4 年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「あっちとこっち」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永……………2	
我が家の断捨離 大警視川路利良研鑽会会長・警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬権 4	
【松井幹郎先生追悼集Ⅱ】（追悼集Ⅰ（本誌第 13 号所載）続集、下記「追悼号紹介」参照。）	
「最後の約束」 鹿児島県知覧小学校桜組教え子 有吉和……………6	
松井幹郎先生との関係 再会前の約束—追想文—（再会後の記録：平成 7（1995）年 8 月 19 日～令和元（2019）年 12 月 3 日まで） 知覧小学校桜組教え子 松清吉則……………7	
恩師松井幹郎先生との記録—松井先生追想— 知覧小学校桜組教え子 坂之上公仕 10	
【原田弘先生追悼集】	
原田弘先生の御逝去を悼みて 大警視川路利良研鑽会事務局編……………11	
【特別寄稿】訴訟の二段階：民刑事の相似 京都大学法学系教授 佐々木健……………13	
【特別寄稿】罵詈雑言か讒言か—書面でする誹謗と馬鹿	
武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授 高田久実……………16	
【特別寄稿】象徴・コロナ・SNS 福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文……………19	
【特別寄稿】【雑感】コロナ禍と大学教育	
慶應義塾大学文学部古文書室研究員・萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員 重田麻紀 22	
【追悼】上山安敏先生の御長逝を悼みて ……………25	
二人の愛国者—川路大警視とガンベ・グロース 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰 26	
国立国会図書館デジタルコレクション「建議」	
警察政策学会警察史研究部会員 小風明……………28	
井上三治氏『警察関係図書目録』について——小風明部会員のお教えを受けて——…………29	
源頼朝と善光寺—ランニングで巡る歴史旅日記 4	
大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一……………31	
【紹介】既刊警察史研究部会関係警察政策学会資料……………15	
【近刊紹介】警察政策学会資料『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集』（第三輯）……………24	
影法師『大警視だより』些論	
③「嫌なことをやれと言われて」……………5	
④「ウソとホント」……………18	
⑤「適度なスペース」……………30	
【事務局通信】……………34	

* 『大警視だより』続刊第 16 号（通巻第 45 号、令和 5（2022）年 1 月 1 日刊）（令和 5（2023）年 3 月 10 日追加）

『大警視だより』続刊第 16 号（令和 5 年 1 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「昭和 97 年」	大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永……………2
大警視と東京獅子—所謂南洲暗殺事件の真相—	
	大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聡夫……………5
横須賀の「官修墓地墓前祭」の運営について	大警視川路利良研鑽会会員 臼井 良雄 ……9
【特別寄稿】瀧川政次郎博士の喜壽の「謝辞」と米壽の「挨拶」	
	國學院大學名誉教授 小林 宏……………11
（参考 1）瀧川政次郎博士略年譜・著作目録関係資料抄	……………15
（参考 2）小林宏先生御執筆瀧川政次郎博士関係著作抄	……………16
（参考 3）『古代文化』第 44 巻第 11 号（◇瀧川政次郎博士を偲んで）	
（平成 4（1992）年 11 月 20 日刊）掲載稿一覧	……………17
【特別寄稿】親を「不孝する」ということ—中世における不孝の罪責と親子関係断絶—	
	國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀 正博……………19
【閑考 1】見えるとは本当に見えているのか	庄司末光……………21
【特別寄稿】都市と警察：ポリスのポリス	京都大学法学系教授 佐々木 健……………22
【特別寄稿】満鉄図書の旅、満鉄図書への旅	福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文……………25
駒ヶ岳と義仲と北条氏の末裔——ランニングで巡る歴史旅日記 5	
	大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一……………30
【川路大警視関係記事紹介】……………4	【川路大警視関係新刊紹介】……………4
【高橋由利子先生追悼集紹介】……………8	【高橋均先生御新刊紹介】……………8
『大警視だより』些論	⑥デジタルトランスフォーメーション……………18
⑦草……………24	⑧気の重いこと……………29
	【事務局通信】……………34

＊『大警視だより』続刊第 17 号（通巻第 46 号、令和 5（2023）年 7 月 1 日刊）（令和 5（2023）年 11 月 19 日追加）

『大警視だより』続刊第 17 号（令和 5 年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「バタフライエフェクト」	大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永……………2
2022（令和 4）年とは—「悟性的な笑い」と「利他の心」	
警察政策学会警察史研究部会長	大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 権……………5
大警視が見た近代警察	大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聡夫……………8
神川武利氏著作年譜抄—『近代警察史関係文献目録抄』補遺の一として—	……………10
【特別寄稿】武士道こそ敬天愛人—西郷隆盛を愛してやまなかった新渡戸稲造—	

一般財団法人新渡戸基金理事長 藤井 茂……12
【特別寄稿】企画展開催のよろこび—「動物たちの江戸時代」(2023年3月14日～28日)

慶應義塾大学文学部古文書室研究員 重田 麻紀…15
【特別寄稿】市場警察：ローマの公正取引 京都大学法学系教授 佐々木 健……18

【特別寄稿】行政争訟制度史研究の課題—埼玉県における訴願裁決事例の紹介をかねて—
神戸大学大学院法学研究科教授 小野 博司……21

【特別寄稿】1939・8・23——フランス革命史研究のはじまり
福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文 ……23

【特別寄稿】星董派と戦後歴史学のあいだ——西洋経済史家、岡田與好の出立
福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文 ……26

【閑考2】このごろ思うこと 公認会計士庄司会計事務所 公認会計士 庄司 末光……29
【紹介】高橋均先生『六朝論語注釈史の研究』—六朝の人たちは論語をどう読んだのか

『日中文化交流』((一財)日本中国文化交流協会、令和5(2023)年1月1日刊) …30
奥只見湖の銀山跡と尾瀬——ランニングで巡る歴史旅日記6

大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一 ……32
【会員受賞紹介】阪本尚文先生第5回インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞を御受賞
………4

影法師 『大警視だより』些論

⑧ 開ける視界……4 ⑨ デジタルトランスフォーメーション(DX) ……7

⑩ 蛙化現象……17

【資料新刊紹介】 ……7 【旧刊・新刊紹介】 ……14

【御計報】 ……7 【事務局通信】 ……36

【『大警視だより』続刊 追悼号紹介】

・加藤晶会長追悼号Ⅰ：第8号(令和元(2019)年7月1日刊)、Ⅱ：第9号(令和2(2020)年1月1日刊)、Ⅲ：第10号(令和2(2020)年7月1日刊)、Ⅳ：第11号(令和3(2021)年1月1日刊)

・福永英男前部会長追悼号Ⅰ：第12号(令和3(2021)年7月1日刊)、Ⅱ：第14号(令和4(2022)年1月1日刊)

・松井幹郎先生追悼号Ⅰ：第13号(臨時発行、令和3(2021)年10月13日刊)、Ⅱ：第15号(令和4年7月1日刊)

・原田弘先生追悼号：第15号(同)

[(お詫び・前号目次遺漏追加)「【閑考1】見えるとは本当に見えているのか 庄司末光…
…21」⇒本稿では補正済]

*『大警視だより』続刊第18号(通巻第47号、令和6(2024)年1月1日刊)(令和5(2023)年11月19日追加)

『大警視だより』続刊第18号（令和6年1月1日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「岩倉のピストル」

大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永……………	2
最近の治安に思う	
大警視川路利良研鑽会会長・警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬 権……………	5
警察手眼と牧民之書 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………	8
元警察政策学会警察史研究部会員中山好雄氏の御逝去を悼みて ……………	10
元警察政策学会警察史研究部会員齋藤眞康氏の御長逝を悼む ……………	10
令和5年度横須賀市「官修墓地墓前祭」報告	
大警視川路利良研鑽会会員・警察政策学会警察史研究部会員 臼井良雄……………	11
追浜官修墓地埋葬者関係資料—臼井良雄先生御報告の参考として— ……………	13
【特別寄稿】『広島県史』に見る「行政警察規則」の評価について	
元広島県広島南警察署長 松岡一正 ……………	15
【特別寄稿】刑法史・警察法史研究の思い出 作家 新井 勉 ……………	17
【特別寄稿】幕末の能吏・もう一人の川路氏	
國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀正博 ……………	19
【特別寄稿】財産持戻し：ローマ相続法と特別受益者	
京都大学法学系教授 佐々木 健 ……………	24
【特別寄稿】五十而知天命—「外地法制誌」と中村渉—	
神戸大学大学院法学研究科教授 小野博司 ……………	27
【特別寄稿】大塚久雄草稿類整理・余滴	
福島大学行政政策学類准教授（警察政策学会警察史研究部会員） 阪本尚文……………	29
【特別寄稿】教員養成課程における教材としての『拉致問題』と大学生への期待	
愛知みずほ大学人間科学部准教授（警察政策学会警察史研究部会員） 梅本大介……………	31
【閑考3】3つの四半世紀と小さな大事な記憶	
庄司会計事務所 公認会計士 庄司末光 ……………	34
ある日の久保正幡先生—北康宏教授御新著『中田薫』に接して— 会員 吉原丈司 ……………	35
日本百名山駒ヶ岳4座踏破と長岡藩家老河井継之助——ランニングで巡る歴史旅日記 ……………	7
大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一 ……………	37
【紹介】川路大警視関係漫画発行の件……………	4
【新刊紹介】……………	7
【訃報】……………	23
【事務局通信】……………	40
『大警視だより』些論…⑪ 手を掛けないで目を掛ける……………	22
⑫ 三元豚と国語辞典……………	23
⑬ そうめん（素麺）……………	23
⑭ 落語「毎日走る男」……………	39

＊『大警視だより』続刊第 19 号（廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第 48 号、令和 6（2024）年 7 月 1 日（月）刊）（令和 6（2024）年 4 月 28 日追加）

『大警視だより』続刊第 19 号（令和 6 年 7 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号

〔目 次〕

【巻頭言】「大警視が愛した甘いもの」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永 …3

〔廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念特集〕

「Hello,Goodbye」 大警視川路利良研鑽会会長 川路利永……………6

退任の辞 前警察政策学会警察史研究部会長・前大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 権 8
最近気づいたことー「インプット重視」

前警察政策学会警察史研究部会長・前大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 権…………10
「研鑽」のこと

前警察政策学会警察史研究部会長・前大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 権…………12
廣瀬権氏著作目録……………16

【特別寄稿】講演に際しての雑感ー廣瀬権会長の御退任を惜しみてー
慶應義塾大学文学部古文書室 重田麻紀…21

【謹告】警察政策学会警察史研究部会長及び大警視川路利良研鑽会前会長の交代…………5

就任御挨拶

警察政策学会警察史研究部会長・前大警視川路利良研鑽会会長 新谷珠恵…………23
実り多き「警察史研究」に想う 警察政策学会警察史研究部会長

警察政策学会警察史研究部会長・前大警視川路利良研鑽会会長 新谷珠恵…………27

元警察大学校資料主幹・渡辺忠威先生を偲ぶ

元広島県広島南警察署長 松岡一正…………30

大警視はフーシェに非ず 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫…………32

官修墳墓について 警察政策学会警察史研究部会員 小風 明…………34

追浜官修墓地に眠る村松士族ー資料紹介 渡辺好明「村松士族の西南戦争」ー
警察政策学会警察史研究部会員 小風 明…………39

神奈川県巡査チェー・ブレメルマンについて

警察政策学会警察史研究部会員 小野田博光…44

【特別寄稿】第三屆“沈家本与中国法律文化”国際學術研討会によせて

國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀正博…47

【特別寄稿】宣誓：それは君のものではない 京都大学法学系教授 佐々木 健…………50

【特別寄稿】『関西学界展望』の著者は誰ぞ 大阪大学大学院高等司法研究科教授 小野博司……	53
【特別寄稿】1939 年度『大塚久雄先生講義プリント』をめぐって 警察政策学会警察史研究部会員 福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文…	55
【紹介】高橋均先生「老舍『茶館』の訳注を書いたころ」……………	59
【閑考 4】今ある「世界史」について—ミネルバの杜の残日録— 庄司会計事務所 公認会計士 庄司末光……	62
三峯神社の龍神と白狼——ランニングで巡る歴史旅日記 8 大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一……	66

【謝辞】小杉修二部顧問格部会員・会員の御退会に寄せて……………	29
【紹介】本年度「川路大警視研鑽」企画（予定）……………	9
【紹介】松井幹郎先生と大警視川路利良研鑽会創設まで……………	2
【紹介】警視庁創立 150 年関係記事抄……………	43
【紹介】警察政策学会警察史研究部会作成警察政策学会資料一覧……………	26
【史料紹介】大津事件関係新出警察資料新聞記事……………31【新刊等紹介抄】……………	59
『大警視だより』些論…⑮ 過剰な歯止めに適切な歯止めを……………	38
『大警視だより』些論…⑯ 遠くに踏み出す一步……………	54
【事務局通信】……………	68

＊『大警視だより』続刊第 20 号（復刊第 20 号、創刊第 50（49+1）号記念号、通巻第 50 号（通号変更（「臨時特別号」を加算））、令和 7（2025）年 1 月 1 日（水）刊）（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

『大警視だより』続刊第 20 号（令和 7 年 1 月 1 日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「恋人も濡れる街角」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永……	3
お花畑でつかまえないで 警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 新谷珠恵……	7

【川路名誉会長様御講演会特集】

【川路名誉会長様御紹介】……………	10
警視庁創立 150 年によせて—川路大警視あれこれ（御講演要旨）……………	11
閉会挨拶—川路名誉会長様、川路家の益々の御発展を祈念して— 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………	14
川路名誉会長様『大警視だより』続刊御寄稿一覧……………	15

大警視川路利良研鑽会、『大警視だより』及び『大警視だより』続刊のこと……17

【川路大警視特集】

【特別寄稿】田原坂：警察と近代と紙幣と

京都大学法学系教授 佐々木 健……19

井黒弥太郎『追跡 黒田清隆夫人の死』を読む

警察政策学会警察史研究部会・大警視川路利良研鑽会顧問 廣瀬 権……21

元警察大学校資料主幹・渡辺忠威先生を偲ぶ(2)―青山霊園警視庁墓地の探訪始め―

元広島県広島南警察署長 松岡一正……29

東京府取締組採用の元警視庁警部の経歴書などの発見

警察政策学会警察史研究部会員 鈴木康夫……31

【浦郷官修墓地特集】

令和6年度横須賀市「浦郷官修墓地墓前祭」と警視総監から横須賀・深浦町内会へ

感謝状贈呈 警察政策学会警察史研究部会員 臼井良雄……35

「浦郷官修墓地」墓前祭に参加して

警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 新谷珠恵……36

【特別寄稿】(紹介)郷土史研究グループ「歴(れく)遊会かねさは」

(一財)台湾協会理事 歴遊会かねさはメンバー 水町史郎……38

【特別寄稿】検非違使別当の伝える見苦しき唐櫃

國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀正博……39

【特別寄稿】明治期官僚品川弥二郎の横顔

慶應義塾大学文学部古文書室／萩市立須佐歴史民俗資料館 重田麻紀……42

【特別寄稿】佐々木惣一、幻の処女作 大阪大学附属図書館所蔵の『理論応用成法問答講義』を手がかりにして

大阪大学大学院高等司法研究科教授 小野博司……45

【特別寄稿】山までの街にて―小林昇福島期日記を読む

福島大学行政政策学類准教授 警察政策学会警察史研究部会員 阪本尚文

元日本銀行考査役・整理回収機構執行役 新保芳栄……48

【特別寄稿】日中戦争期における応召警察官―関連史料の紹介―

早稲田大学文学学術院助手 野間龍一……52

【閑考5】実在の認識が誤謬の淵におちいらないように

庄司会計事務所 公認会計士 庄司末光……54

高千穂峰と坂本龍馬―ランニングで巡る歴史旅日記9

大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一……55

影法師『大警視だより』些論⑰～⑳

⑰当意即妙……6 ⑱アメリカン……14 ⑲シンカー……28、

⑳岩倉具視と北里柴三郎……37 ㉑二礼二拍手一礼……51

【部会関連紹介】「警察史研究部会電翰参考資料一斉通信」等作成の件……18

【新刊紹介】	18	【御計報】	18	【事務局通信】	58
--------	----	-------	----	---------	----

＊『大警視だより』続刊第21号（通巻第51号、令和7（2025）年7月1日（火）刊）、
令和7（2025）年1月1日（水）刊）（令和7（2025）年4月23日追加）

『大警視だより』続刊第21号（令和7年7月1日刊）が刊行された。当該号は下記のような内容である。

〔目 次〕

【巻頭言】「4杯目のお茶」	大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路利永	2
「みやこ」の誇り高くも尊い懺悔に思う		
大警視川路利良研鑽会会長・警察政策学会警察史研究部会長	新谷珠恵	6
ナラティブを纏う芸術の持つ力		
大警視川路利良研鑽会会長・警察政策学会警察史研究部会長	新谷珠恵	13

【特別寄稿】西南戦争裏面史—故喜多義人教授を偲んで—		
	元日本大学教授・作家 新井 勉	20
草創期日本警察のモデル 大警視川路利良研鑽会会員・元皇宮警察本部長	笠井聰夫	21
井黒弥太郎『追跡—黒田清隆夫人の死』を読む（その2）（その3）		
	大警視川路利良研鑽会・警察政策学会警察史研究部会顧問	
	元大阪府警察本部長 廣瀬 權	23

【特別寄稿】内務省管轄下における監獄の「看守」（1）		
	神戸大学大学院法学研究科教授 兒玉圭司	32

【特別寄稿】『村岡典嗣先生講義プリント』寸考		
	國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀正博	35
【特別寄稿】樅の木	京都大学法学系教授 佐々木 健	38
【特別寄稿】満洲有斐閣について	大阪大学大学院高等司法研究科教授 小野博司	41
【特別寄稿】『近代社会成立史論』の成立—高橋幸八郎と日本評論社の編集者たち		
	警察政策学会警察史研究部会員・福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文	44
知性を生かす（ショウペンハウエルを読んで）		
	大警視川路利良研鑽会会員・元中部管区警察局長 恵良道信	47

【関考6】経済の波と時代の波を乗り越えて		
	庄司会計事務所 公認会計士 庄司末光	50
高尾山と飯縄権現—ランニングで巡る歴史旅日記 10		
	大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一	52
影法師『大警視だより』些論②	12	③
	19	④
	49	【事務局通信】
		56

【参考 1】川路名誉会長・新谷会長最近著作目録…5	【参考 2】廣瀬顧問最近著作目録…31
【参考 3】学会資料第 138 号発行の件…31	【参考 4】…31
【参考 5】…34	【新刊紹介】…46

【参考】『大警視だより』続刊発行「追悼号」、「記念号」紹介

(令和 6 (2024) 年 4 月 28 日追加、同 7 (2025) 年 1 月 4 日一部修正)

① 「追悼号」

- ・『大警視だより』続刊第 8 号 (加藤晶会長追悼号、通巻第 37 号、令和元 (2019) 年 7 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 9 号 (加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、令和 2 (2020) 年 1 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 10 号 (加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2 (2020) 年 7 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 11 号 (加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第 40 号、令和 3 (2021) 年 1 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』第 12 号 (福永英男前部会長追悼号Ⅰ、通巻第 41 号、令和 3 (2021) 年 7 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 13 号 (松井幹郎先生追悼号Ⅰ、通巻第 42 号、令和 3 (2021) 年 10 月 13 日刊 (臨時発行))
- ・『大警視だより』続刊第 14 号 (福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第 43 号、令和 4 (2022) 年 1 月 1 日刊)
- ・『大警視だより』続刊第 15 号 (松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第 44 号、令和 4 (2022) 年 7 月 1 日刊)

② 「記念号」

- ・『大警視だより』続刊第 19 号 (廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第 48 号、令和 6 (2024) 年 7 月 1 日 (月) 刊)
- ・『大警視だより』続刊第 20 号 (復刊第 20 号、創刊第 50 号記念号、通巻第 50 号 (通号変更 (「臨時特別号」を加算)、令和 7 (2025) 年 1 月 1 日刊) (令和 7 (2025) 年 1 月 4 日追加)

(改頁 13) *****

(附録 2) (関係分重複掲載) 警察政策学会警察史研究部会作成関係資料

(1) 「警察政策学会資料」 …………… *

(2) 「警察政策学会学会資料・別刷」 …………… *

(附録 3) (関係分重複掲載) 大警視川路利良研鑽会刊行物…………… *

(附録 2) (関係分重複掲載) 警察政策学会警察史研究部会作成関係資料

〈<http://www.asss.jp/>〉

(1) 「警察政策学会資料」

- ・第 110 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』(警察史研究部会編、警察政策学会、令和 2 (2020) 年 5 月 8 日刊)(序文: 廣瀬權部会長)

〈<http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf>〉

- ・第 114、115 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第二輯) 武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集』(上下冊、警察史研究部会編、警察政策学会、令和 2 (2020) 年 5 月 8 日刊)(序文: 廣瀬權部会長)

〈<http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf>〉(上冊)

〈<http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99115.pdf>〉(下冊)

- ・第 122 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第三輯) 福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』(警察史研究部会編、警察政策学会、令和 4 (2022) 年 5 月 8 日刊)(序文: 廣瀬權部会長)

〈<http://asss.securesite.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

- ・第 130 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第四輯)』(警察史研究部会編、警察政策学会、令和 5 (2023) 年 8 月刊)(序文: 廣瀬權部会長)

〈<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>〉

- ・第 138 号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(警察史研究部会編、警察政策学会、令和 6 (2024) 年 12 月刊)(序文: 新谷珠恵部会長)(令和 7 (2025) 年 1 月 4 日追加)

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

(2)「警察政策学会学会資料・別刷」

- ・警察政策学会警察史研究部会編『武藤誠先生略年譜・著作目録』（警察政策学会資料・別刷。警察政策学会、平成 26（2014）年 11 月 7 日刊。序文：加藤晶部会長）
- ・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令和元（2019）年 10 月 1 日刊。序文：廣瀬權部会長）

(附録 3) (関係分重複掲載) 大警視川路利良研鑽会刊行物

- ・『大警視だより』続刊（(復刊) 第 1 号（平成 28（2016）年 3 月 31 日刊）～第 19 号（令和 6（2024）年 7 月 1 日刊）、第 22 号：近刊予定）（前掲（附録 1）参照。）
- ・『【CD 版】加藤晶会長追悼記念 大警視川路利良関係資料集〔『大警視川路利良聖地巡礼」ガイドブック』、『大警視だより』、『大警視だより』続刊及び『大警視川路利良関係文献集成』』（大警視川路利良研鑽会、令和元（2019）年 9 月 1 日刊）

(改頁 14) *****

(附録 4) 警察政策学会警察史研究部会作成「警察政策学会資料」抄—『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』関係—

(令和 6 (2024) 年 2 月 8 日新設追加)

〔目 次〕

- 1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』(警察政策学会資料第 110 号、令和 2 (2020) 年 5 月 8 日刊。「第一輯」に相当。) 目次一覧…
…………… *
- 2 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第二輯) —武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【上冊】』(警察政策学会資料第 114 号、令和 3 (2021) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧…………… *
- 3 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第二輯) —武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【下冊】』(警察政策学会資料第 115 号、令和 3 (2021) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧…………… *
- 4 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第三輯) —福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』(警察政策学会資料第 122 号、令和 4 (2022) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧…………… *
- 5 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第四輯) 』(警察政策学会資料第 130 号、令和 5 (2023) 年 8 月刊) 目次一覧…………… *
- 6 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に— (第五輯) 』(警察政策学会資料第 138 号、令和 6 (2024) 年 12 月刊) 目次一覧…………… *
- 7 『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会資料・別冊。警察政策学会、平成 26 (2014) 年 11 月 7 日刊) 目次一覧…………… *
- 8 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷、令和元 (2019) 年 10 月 1 日刊) 目次一覧…………… *

1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警察政策学会資料第110号、令和2（2020）年5月8日刊。「第一輯」に相当。）目次一覧

（同学会 HP 〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。）

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf>〉

〔目 次〕

序文 『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』

警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權……………1・

第1編 川路大警視研究

第1 特別寄稿その他

心うたれる優れた作品—川路大警視漢詩集『現代語訳付き 龍泉遺稿』序—……………武藤 誠……………1

特別寄稿 川路利良と万国対峙 ……………勝田政治……………3

伊藤博文宛川路利良書簡について ……………須賀博志 ……5

特別寄稿 川路利良と禁門の変 ……………重田麻紀 ……9

第2 川路大警視家の歴史及び同大警視の功績

記念寄稿 大警視川路利良家の家系図について…………川路利永・松井幹郎…………11

父 利信 川路利永 息子 TOSKY そしてこれから ……………川路利永…………15

大警視川路利良没後 140 回慰霊祭挨拶文…………川路利樹…………17

令和元年『川路大警視慰霊祭』（於鹿児島市皆与志町。

謝辞：川路利樹氏）について ……………18

川路大警視の偉さ ……………福永英男 ……21

「声なきに聞き 形無きに見る」の出典、「声なきに聞き 形無きに見る」拾遺……………福永英男 ……22

東西二人の創設者 ……………笠井聰夫…………27

19 世紀英国及び川路大警視の警察制度改革を巡って…………笠井聰夫…………28

第3 『大警視だより』及び『大警視だより』続刊関係

序文 変動する世情に立つ警察—大警視川路利良の魅力と偉大さ—加藤 晶 ……31

「大警視だより」続刊第1号に寄せて…………川路利永…………34

「警察政策学会警察史研究部会」併せて「大警視川路利良研鑽会」の充実・発展を祈念します……………松井幹郎………… 35

「大警視だより」の続刊について……………加藤 晶…………36

「大警視だより」の続刊などについて……………加藤 晶…………37

「大警視川路利良研鑽会」の再スタートに当たって……………廣瀬 權…………38

『大警視だより』続刊の深化を願う…………川路利永…………39

（参考1）『大警視だより』続刊第9号表題……………41

（参考2）『大警視だより』続刊既刊号一覧……………41

第4 川路大警視関係著作をめぐって

坂野潤治先生の口演記録『西郷隆盛に見る対抗エリートの質』を読んで大警視川路利

良研鑽に憶う……………	加藤 晶……………	42
川路大警視の真の姿を追って—伊東潤氏『走狗』読後感—……………	加藤 晶……………	43
第 5 大久保利通暗殺事件（紀尾井坂事件）をめぐって		
大久保利通暗殺事件（紀尾井坂事件）後にとられた諸対策……………	廣瀬 権……………	47
NHK スペシャル「シリーズ 07 未解決事件—警察庁長官 狙撃事件」を見て……………	廣瀬 権……………	51
第 6 川路大警視墓表関係		
特別寄稿 松井先生と「大警視川路君墓表」……………	高橋 均……………	56
川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文、現代語訳） —故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表 編修副長官従五位重野安繹撰—……………	松井幹郎・吉原丈司……………	57
第 7 川路大警視の個々の研究		
川路大警視の研究の論点……………	鈴木康夫……………	70
近代警察制度研究と掃苔……………	鈴木康夫……………	71
につぼん！歴史鑑定『日本の警察はどのように生まれた？』を視聴して……………	松井幹郎……………	74
『川路利良履歴資料』等に見る川路利良の姿……………	松井幹郎……………	76
生麦事件と川路利良……………	松井幹郎……………	78
『フルベッキ群像写真』と川路利良—M 氏への返信—……………	松井幹郎……………	81
「前警視廳典獄山下房親氏談」を付度する —「川路の鞆丸」 ^{キンコロ} 追究の旅—……………	松井幹郎……………	83
川路正之進を治療した医師ウィリアム・ウィリス……………	松井幹郎……………	88
エッセー 川路利良のためらい……………	松井幹郎……………	93
川路大警視の面影を見る……………	原田 弘……………	95
西郷隆盛と大久保利通との比較—川路大警視との関連で—……………	原田 弘……………	96
川路大警視と消防制度……………	原田 弘……………	98
大警視川路利良の呼び名について……………	露崎栄一……………	99
大警視川路利良墓の展墓行事について……………	露崎栄一……………	101
警察手眼編纂者植松直久考……………	露崎栄一……………	101
錦絵に描かれた川路大警視とその画師余聞……………	榊原好恭……………	103
附 録……………		106
（警察史資料 1）川路大警視関係文献目録集抄……………		106
（警察史資料 2）川路大警視漢詩関係著作抄……………		106
（警察史資料 3）肥後精一氏著作目録抄……………		107
（警察史資料 4）『大警視だより』続刊第 9 号内容紹介……………		107
第 2 編 西南戦争及び横須賀市追浜官修墓地研究		
第 1 西南戦争のことなど		
特別寄稿 「三間正弘は軽薄なる男子にあらず」—明治警察史の一齣— ……………	小林 宏……………	109
特別寄稿 西南の役殉職警察官の功績を偲んで……………	原田賢二……………	112
139 年前の 4 月 14 日、熊本県益城町木山で……………	久野 猛……………	114
内務卿と大警視の代理も勤めた郵便の父—前島密 ^{ひそか} 余聞—……………	榊原好恭……………	116

御用船団が築いた三菱財閥の基礎……………	榊原好恭…………	118
川路大警視の涙……………	榊原好恭…………	120
第2 横須賀市追浜官修墓地のことなど		
反乱鎮定・悪疫跋扈（コレラ）……………	榊原好恭…………	122
横須賀の奇縁—曾祖父命日、官修墓標ニ相違ナシ—……………	榊原好恭…………	124
横須賀市官修墓地墓前祭……………	榊原好恭…………	124
追浜官修墓地について考える……………	廣瀬 權…………	125
明治維新の残滓～大いなる忘れもの「官修墓」・川路大警視が率いる西南の役……………	齋藤眞康…………	127
官修墓地の状況を『自警』に紹介……………	齋藤眞康…………	129
名誉会員榊原好恭氏の御逝去を悼みて（遺稿）……………	加藤 晶…………	130
横須賀市所在の「官修墓地墓前祭」と警察史研究部会の関わりについて……………	臼井良雄…………	132
故榊原謙齋氏の「書状」と『榊原謙齋 書状集（元越後高田藩士新撰旅団小隊長の西南戦旅 150 日）』の寄贈先について……………	臼井良雄…………	137
（紹介 1）榊原好恭氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧……………		139
第3 編 個別警察史研究		
第1 川路利永氏・重田麻紀先生・石川實先生その他拾遺		
1 川路利永氏拾遺……………		140
コーヒーが冷めないうちに……………		140
青山霊園にて……………		142
西郷隆盛となわた料理……………		145
随想……………		148
我が恋人たち……………		150
「すぐ死ぬんだから」……………		153
同調圧力……………		155
（紹介 2）川路利永氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧……………		158
2 重田麻紀先生拾遺……………		159
特別寄稿 「明治 150 年」への雑感……………		159
（紹介 3）重田麻紀先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧……………		160
特別寄稿 近世益田家の領地—山口県萩市須佐を訪ねて—……………		161
3 石川實先生拾遺……………		163
特別寄稿 久松定弘と湯目補隆の研究回顧……………		163
4 その他拾遺……………		166
『関東大震災と警察』に関するメモ……………	中山好雄…………	166
『横浜外国人居留地における近代警察の創設 治安の維持と平等条約 (Maintenance of Order & Unequal Treaties)』(『警察政策学会資料』第 86 号) に学ぶ……………	松井幹郎…………	170
（紹介 4）松井幹郎先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧……………		172
坂元純瀬、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問い合わせを追って—……………	吉原丈司…………	173
中原英典氏の処女論考その他—「雲井龍雄と誤られた東北観」『月刊東北』所載及び未……………		

公表手稿二題一	吉原丈司	176
松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄	吉原丈司	177
附 録		180
（警察史資料 5）後藤松吉郎とは誰ぞ—昭和 5（1930）年 5 月 30 日「警察談話会」集合写真から—		180
（警察史資料 6）手塚豊博士と警察史研究会		180
（警察史資料 7）海外駐在内務事務官関係文献抄		181
第 2 加藤晶氏拾遺		
読書偶感		182
警察協会雑誌目次集の発行について		184
序文 [『武藤誠先生略年譜・著作目録』]		186
巻頭言 [『横浜外国人居留地における近代警察の創設』]		189
最近の川路大警視研究について—鈴木康夫氏の御高論に接して—（遺稿）		190
[連載：川路利良大警視の伝統に生きる警視庁]		193
川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（上）		193
川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（下）		195
川路利良大警視の伝統に生きる警視庁（上・下）補足		198
川路大警視の伝統に生きる警視庁（追補）		200
参 考		
1 加藤晶氏略年譜		202
2 加藤晶氏主要著作目録		202
3 加藤晶氏追悼集記念集		205
第 3 加藤晶氏追悼文拾遺		
1 加藤晶氏追悼集（1）		209
加藤晶先生を偲ぶ	川路利永	209
弔 辞	勝田政治	210
加藤晶会長の御逝去を悼む	重田麻紀	210
加藤晶大警視川路利良研鑽会会長を悼んで	松井幹郎	211
加藤晶先生 ありがとうございました	廣瀬 権	212
2 加藤晶氏追悼集（2）		214
（1）故加藤晶先生追悼会（令和元（2019）年 9 月 28 日開催）概要		214
（2）追悼辞		215
故加藤晶先生追悼挨拶	廣瀬 権	215
加藤晶先生ありがとうございました。	川路利永	217
加藤会長御令室様御挨拶	加藤悠起子	218
加藤晶会長の御逝去を悼みて—御礼と感謝—	松井幹郎	219
故加藤晶会長を偲ぶ—2019 年 9 月 28 日（土）故人追悼の儀に当たり、故人様の思い出を語る。—	小杉修二	221
加藤晶先生の追悼部会に参列して	齋藤眞康	227
故警察史研究部会加藤晶部会長の思い出	臼井良雄	227
第 4 廣瀬権氏拾遺		

警察協会雑誌目次集の発行に際して	229
「警察協会雑誌の謎」解明に向けた一歩	233
「暴力団」という呼称について（大正末期～昭和戦前期）	246
史実から懲戒免除制度を考える	259
加藤晶会長追慕と資料集刊行について	274
『近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』発刊に当たって	275
折々に思うこと—浅草生まれのひま人から教えられたことなど—	277
「使い走り、走狗」がなんだ！	277
朝井まかて『銀の猫』を読んで	279
葉室麟文学の頂上を目指して（1）	281
葉室麟文学の頂上を目指して（2）	282
平成の「仁義」作家・葉室麟	285
原点回帰	288
（紹介 5）廣瀬権氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧	294
跋—警察史研究部会の過去を振り返りて—	295
（簡便索引）	302~306
〔（紹介）、（警察史資料）抽出〕	
（紹介 1）榊原好恭氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧	139
（紹介 2）川路利永氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧	158
（紹介 3）重田麻紀先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧	160
（紹介 4）松井幹郎先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧	172
（紹介 5）廣瀬権氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧	294
（警察史資料 1）川路大警視関係文献目録集抄	106
（警察史資料 2）川路大警視漢詩関係著作抄	106
（警察史資料 3）肥後精一氏著作目録抄	107
（警察史資料 4）『大警視だより』続刊第 9 号内容紹介	107
（警察史資料 5）後藤松吉郎とは誰ぞ—昭和 5（1930）年 5 月 30 日「警察談話会」集合写真から—	180
（警察史資料 6）手塚豊博士と警察史研究会	180
（警察史資料 7）海外駐在内務事務官関係文献抄	181

2 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【上冊】』（警察政策学会資料第 114 号、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）目次一覧

（同学会 HP 〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。）

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf>〉

〔目 次〕

【上 冊】

序 文 警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬 権 -1-

特 集 戊辰戦争をめぐる奥羽越列藩とその後裔達

特別寄稿 新発田藩偶感—加藤晶前会長を偲んで— …… 小林 宏 1

特別寄稿 郷土史研究とは何か …… 小林 宏 5

もう一つの戊辰北越戦争 …… 原案 川路利永 補筆 佐藤雅志 7

特別寄稿 もう一つの『坂の上の雲』—南部・伊達両藩の 6 人の青年たち—

…………… 藤井 茂 9

第 1 篇 川路大警視研究

川路利良大警視の真実—（附）武藤誠先生略年譜及び川路大警視研究関係著作目録抄— ……

…………… 武藤 誠 13

加藤晶元部会長略年譜・著作目録（改訂稿）—加藤晶元部会長の御業績を偲びて— ……

…………… 警察政策学会警察史研究部会編 33

川路大警視と漢詩 …… 福永 英男 42

『越後だより』三題 …… 川路 利永 45

『越後だより』（良寛） …… 川路 利永 46

『越後だより』（河井継之助） …… 川路 利永 49

『越後だより』（山本五十六） …… 川路 利永 54

継之助、歳三、そして。 …… 川路 利永 58

「日本の血脈」 …… 川路 利永 61

（紹介）川路利永氏『大警視だより』続刊御寄稿一覧 …… 64

私の警察学校体験—川路魂研鑽の日々— …… 松井 幹郎 65

随想『忘れ得ぬ人々』—川路魂に生きる人々— …… 松井 幹郎 69

随筆「徳不孤必有隣」の糸物語 …… 松井 幹郎 72

（紹介）松井幹郎先生と警察政策学会警察史研究部会とのこと …… 75

大警視の慧眼—加藤会長を偲びて— …… 笠井 聰夫 76

川路大警視の撃剣再興論 …… 小風 明 79

福沢諭吉と取締之法 …… 露崎 栄一 89

〔前輯掲載稿再録〕肥後精一氏著作目録抄（再録） …… 90

『川路利良西南事件マ マ に対する大義名分論』とその精神 …… 鈴木 康夫 91

邏卒総長桑原譲について	鈴木 康夫 93
国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して— 吉原 丈司 94	
『警視総監物語』、『警察物語』の著者杉村幹とは誰ぞ（資料）—明治年代の警視総監のパーソナルヒストリー検討の絡みで—	吉原 丈司 101
川路大警視述『警察手眼』戦前期関係文献抄	警察政策学会警察史研究部会編 108
第2篇 中原英典先生遺稿抄	
中原英典先生遺稿二題—「昭和20年6月静岡空襲の前後」及び「昭和20年8月蘇聯参戦前後」—	警察政策学会警察史研究部会編 109
1 昭和20年6月静岡空襲の前後	111
2 昭和20年8月蘇聯参戦前後	127
（参考）中原英典先生著書・編書・訳書目録抄	136
第3篇 廣瀬権氏拾遺続輯	
暴力団問題の原点を三考する	廣瀬 権 137
「顔が見える命」と「統計上の命」	廣瀬 権 184
コロナ禍と「大義名分」	廣瀬 権 187
（紹介）廣瀬権氏『大警視だより』続刊寄稿中前輯収録稿一覧	190
第4篇 警察教養史研究	
ハイデガー「存在と時間」から学ぶ（警察官として）	恵良 道信 191
特別寄稿 明治監獄制度史研究と警察関係史料—新出の『警察監獄学校設立始末』について—	兒玉 圭司 197
韓国語専科上級課程開設初期の回顧—天理大学委託教育から警察自前の専門課程へ—	川野邊 寛 199
戦前・戦後期警察雑誌抄	警察政策学会警察史研究部会編 208
第5篇 警察人士研究	
ヘーン大尉関係文献抄（改訂稿）—戸高公德氏の御業績を偲びて—	警察政策学会警察史研究部会編 209
福永英男前部長略年譜・著作目録（初稿）—福永英男前部長の御業績を偲びて—	警察政策学会警察史研究部会編 218
加賀町警察署長碓山警視の特徴ある活動と事績—外国交際の成功、皇室の警察への信頼獲得、国益の保全、警察実務の刷新改革—	小野田博光 227
「内務省警保局の主」芽城鈴木千次氏とは誰ぞ	警察政策学会警察史研究部会編 254
鷲巢敦哉及び植木鬼仏両氏の個人写真について—『警察講習所第十三期卒業記念』アルバムから—	警察政策学会警察史研究部会編 25

3 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【下冊】』（警察政策学会資料第115号、令和3（2021）年5月8日刊）目次一覧

（同学会 HP 〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。）

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99115.pdf>〉

〔目 次〕

【下 冊】

第6篇 日本警察国際化の歩みと活動の軌跡

我が国警察の国際化の歩みと青年警察官が見た47年前の米国の警察活動……………
…………… 佐藤 裕夫 257

カンボジア PKO（UNTAC）派遣日本文民警察隊アンピル班

一反政府軍支配地域に派遣された文民警察の活動実態とポルポト派による襲撃死傷事件
の真相—…………… 川野邊 寛 301

第7篇 外国警察制度研究

英米における治安維持活動への軍の関与について …………… 黒木 慶英 381

第8篇 法学、法制史及び歴史地理その他

特別寄稿 「行政警察」と「司法警察」：イタリア・ローマの視点から …………… 佐々木 健 441

特別寄稿 「最初の否定論者」藤村守美について…………… 三浦 裕史 444

特別寄稿 三権分立の意匠…………… 阪本 尚文 446

（紹介）阪本尚文先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧…………… 447

特別寄稿 「福島学派」の遠雷

——井上紫電における憲法哲学の胎動…………… 阪本 尚文 448

特別寄稿 学部の争い——西村稔先生の教養思想をめぐる覚え書拾遺…………… 阪本 尚文 451

久保正幡先生述「中田薫先生の思い出と法制史学会の回顧」メモ（要旨・未定稿）……………
…………… 455

特別寄稿 〈学びつつ老いる〉—久保正幡先生の思い出— …… 松村勝二郎 476

中田薫博士関係資料抄—久保正幡先生御講演の参考として—

日本の戦争呼称に関する考察—大東亜戦争を中心に—…………… 山本 政雄 489

特別寄稿 「読みやすさ」と「地域史」とのはざまで—『須佐に住んだ武士—永代家老益田
家と家臣たち—』の執筆を終えて—…………… 重田 麻紀 505

戦時下京都に於ける河上肇博士の日常生活の一齣（資料）

—塚本幸七氏及び太田義一氏との交際について—…………… 吉原 丈司 507

越前歴史紀行—信濃から飛騨、美濃を抜けて…………… 松宇 正一 517

第9篇 鎮魂・顕彰

往時のコレラ禍による官修墓地のことを通して今の新型コロナ

ウイルス問題を思う	臼井 良雄 523
〔官修墓地関連参考文献〕	524
警察協会と東日本大震災警察協力殉難者・殉職警察職員遺族救援基金	佐藤 裕夫 525
御訃報 1 島善高教授の御逝去を悼みて	545
御訃報 2 坂野潤治教授の御逝去を悼みて	545
御訃報 3 大島光宏先生の御逝去を悼みて	546
御訃報 4 村田光義先生の御逝去を悼みて	546
御訃報 5 秀村選三先生の御逝去を悼みて	547
御訃報 6 若松丈太郎先生の御逝去を悼みて 一井土経重（霊山）関係御高教を謝して―	548
附 録	
1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題―川路大警視研究を中心に―』（警 察政策学会資料第 110 号、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）目次一覧.....	549
2 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代 警察史関係文献目録抄―川路大警視検討を中心に―』（警察政策学会資料・別刷、令和元 （2019）年 10 月 1 日刊）目次一覧	554
3 『大警視だより』続刊目次一覧（続・第 9～12 号分）	555
跋.....	559
簡便索引	560

4 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第三輯）—福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』（警察政策学会資料第122号、令和4（2022）年5月8日刊）目次一覧

（同学会HP〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。）

〈<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC122%E5%8F%B7.pdf>〉

〔目 次〕

序 文 警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬 権 -1-

第 1 篇 川路大警視研究

「てとろどときしん」……………大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永 1

「ドライブ・マイ・カー」……………大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永 4

「あっちとこっち」……………大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永 7

（紹介）川路利永名誉会長『大警視だより』続刊御寄稿一覧…………… 9

この際、川路利良大警視をもう一度勉強する

……………警察政策学会警察史研究部会長 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 権 11

いわゆる「外勤警察」所感

……………警察政策学会警察史研究部会員 小杉 修二 21

【特別寄稿】（資料紹介）小野田元熙『本署改正ノ要目』

……………舞鶴工業高等専門学校人文科学部門教授 兒玉 圭司 25

二人の愛国者—川路大警視とガンベ・グロース

……………大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聡夫 31

（警察史資料1）ヘーン警察大尉慰霊祭（昭和15（1940）年）…………… 33

国立国会図書館デジタルコレクション「建議」

……………警察政策学会警察史研究部会員 小風 明 34

【自著紹介】川路大警視の撃剣再興論（警察政策第24巻）について

……………警察政策学会警察史研究部会員 小風 明 35

井上三治氏『警察関係図書目録』について—小風明部会員のお教えを受けて—

……………警察政策学会警察史研究部会編 36

明治の衛生警察と疫病……………警察政策学会警察史研究部会員 鈴木 康夫 38

【紹介】令和3年度追浜官修墓地墓前祭中止の件…………… 40

【資料再録】日高節「安立綱之翁叢談」（其1～6）『自警』昭和10（1935）年1～4、6、7月号…………… 41

第 2 篇 武藤誠先生・加藤晶元警察史研究部会長記念集

武藤都喜子様御書翰二通…………… 57

『武藤誠先生略年譜・著作目録』序文（再録）

……………警察政策学会警察史研究部会長〔当時〕 加藤 晶 60

第3篇 廣瀬權氏拾遺続々輯

「私のオウム戦記」からの提言

……………警察政策学会警察史研究部会長 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權 63

「書き残す使命がある」—警察史研究部会の今後によせて—

……………警察政策学会警察史研究部会長 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權 71

我が家の断捨離

……………警察政策学会警察史研究部会長 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權 73

(紹介) 廣瀬權氏『大警視だより』続刊寄稿中前輯(第二輯)及び本輯(第三輯)収録稿
一覧…………… 75

第4篇 福永英男前警察史研究部会長追悼集

福永英男君を偲んで……………元警察庁刑事局長 中門 弘…………… 78

福永英男前警察政策学会警察史研究部会長を偲んで

……………大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聰夫……………81

福永英男先輩の「ひとこと」

…警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權……………82

福永英男元静岡県警察本部長の思い出

……………元静岡県警察本部刑事部長 渡辺 芳郎……………84

(資料) 福永英男前部会長単行書目録…………… 86

第5篇 原田弘氏追悼集

原田弘先生の御逝去を悼みて……………警察政策学会警察史研究部会事務局編……………87

(警察史資料 2-1) 警察史研究の先人—田村豊氏著作年譜—①…………… 90

第6篇 松井幹郎氏追悼集

第1 【松井幹郎先生追悼集Ⅰ】(『大警視だより』続刊第13号所収分再録)……………91

松井幹郎先生を偲ぶ……………大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永……………92

松井幹郎先生、ありがとうございました

…警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權……………94

松井先生の悲報に接して……………東京外国語大学名誉教授 高橋 均…………… 95

松井幹郎様のこと……………武藤都喜子(武藤誠先生御令室様) 96

松井幹郎先生の御逝去をお悼みして……………加藤悠起子(加藤晶元部会長御令室様) 98

松井幹郎先生を悼む……………大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聰夫……………99

加藤晶先生追悼会での献杯—松井幹郎先生追悼—

……………警察政策学会警察史研究部会事務局 佐藤 裕夫……………99

【遺稿 1】川路大警視研究端緒について—『大警視だより 第Ⅰ集』「編集後記」(再録)
—…………… 100

【遺稿 2】DVD『川路利良生誕一八〇年 研鑽会発足三周年記念』(大警視川路利良研鑽会、
平成26年12月13日刊) 送付状…………… 102

【遺稿 3】『大警視川路利良関係資料集』発行に寄せて—加藤晶会会長を偲びつつ—……………
…………… 103

【資料紹介】最近発行警察史研究部会関連「警察政策学会資料」抄(含「別刷」)……………

.....	105
【資料再録】(『大警視だより 第Ⅰ集』未収録号)	
『大警視だより』No.28 (全2頁)	106
『大警視だより』No.29 (最終号。全1頁)	108
【御遺族様より】父、松井幹郎について.....	鈴木裕美子 109
【略年譜・著作目録】松井幹郎先生略年譜・著作目録(初稿)	112
【松井幹郎先生追悼号発行経緯】松井幹郎先生の御逝去を悼みて	116
【事務局通信】	118
第2 【松井幹郎先生追悼集Ⅱ】(『大警視だより』続刊第15号所収分再録	119
「最後の約束」.....	鹿児島県知覧小学校桜組教え子 有吉 和 119
松井幹郎先生との関係 再会前の約束—追想文—(再会後の記録:平成7(1995)年8月 19日~令和元(2019)年12月3日まで)	
.....	知覧小学校桜組教え子 松清 吉則 120
恩師松井幹郎先生との記録—松井先生追想—	知覧小学校桜組教え子 坂之上 公仕 123
【事務局通信】(抄)	124
第7篇 犯罪学研究その他	
心理学の実務への応用(犯罪抑止対策等)	
.....	元中部管区警察局長 恵良 道信 125
【特別寄稿】強力な混成機動部隊の経験—預金保険機構大阪業務部時代の思い出—.....	
.....	学校法人二松学舎常任理事 西畑 一哉 132
(警察史資料 2-2)警察史研究の先人—田村豊氏著作年譜—②.....	136
第8篇 旧外地警察史検討	
「台湾警察歌」始末—澤村胡夷に寄せて—(資料)—日本統治下台湾警察史の一齣—.....	
.....	警察政策学会警察史研究部会員 吉原 丈司 137
第9篇 外国事情研究	
ネパール滞在記一斑.....	警察政策学会警察史研究部会員、元ボランティア日本語支 援教師(在ネパール) 高橋 功 145
高橋功氏「ネパール滞在記」について(紹介)	
.....	警察政策学会警察史研究部会事務局長 佐藤 裕夫 145
【特別寄稿】中国・台湾研究の思い出と台湾での教育を目の当たりにして.....	
.....	台湾・高雄大学兼任教授、佛光大学佛教研究センター客員研究員 柴田 幹夫 174
第10篇 法学、法制史研究その他	
【特別寄稿】刑罰としての亡命:ローマからの視点	
.....	京都大学法学系教授 佐々木 健 179
【特別寄稿】訴訟の二段階:民刑事の相似	
.....	京都大学法学系教授 佐々木 健 183
(紹介)佐々木健先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧	186

【追悼】柴田光蔵先生の御逝去を悼みて	186
【特別寄稿】罵詈雑言か一書面でする誹謗と馬鹿	
……………武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部准教授 高田 久実	187
【特別寄稿】中国司法制度と古代律学（覚書）	
……………國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀 正博	190
【特別寄稿】満洲国軍制の法的構造	195
【特別寄稿】暗い時代の人々—博榊華と朱紹文のこと	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	198
【特別寄稿】垣見隆禎教授の〈中間団体としての自治体〉論—廃藩置県 150 年に思う…	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	203
（紹介）阪本尚文先生『大警視だより』続刊御寄稿一覧	205
【特別寄稿】押し付け憲法論雑感—憲法の「出生の秘密」	
をめぐって……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	206
【特別寄稿】象徴・コロナ・SNS	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	208
【特別寄稿】額縁と絵のあいだ—上山安敏先生と西村稔先生	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	211
【特別寄稿】紹介 原田哲史著『19 世紀前半のドイツ経済思想—ドイツ古典派、ロマン主義、フリードリヒ・リスト』	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	214
【特別寄稿】紹介 令和 4 年度福島大学 foR-A プロジェクト	
「戦後日本社会科学エゴ・ドキュメント・アーカイブの構築と活用」	
……………福島大学行政政策学類准教授 阪本 尚文	216
【特別寄稿】【雑感】コロナ禍と大学教育	
……………慶應義塾大学文学部古文書室研究員・萩市須佐歴史民俗資料館特別学芸員 重田 麻紀	218
第 11 篇 歴史地理その他	
謙信道—一川中島に向かう越後上杉軍のルート—ランニングで巡る歴史旅日記 2	
……………大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一	221
飯縄信仰と戦国武将たち—ランニングで巡る歴史旅日記 3	
……………大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一	225
源頼朝と善光寺—ランニングで巡る歴史旅日記 4	
……………大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一	232
（影法師）	
『大警視だより』些論①「〇〇好き」	236
『大警視だより』些論②「前向きに」	236
『大警視だより』些論③「嫌なことをやれと言われて」	237
『大警視だより』些論④「ウソとホント」	237
『大警視だより』些論⑤「適度なスペース」	238
第 12 篇 鎮魂・顕彰	

【追悼】元警察史研究部会員横山英男氏の御業績を偲びて	239
【追悼】石田雄教授、東山健吾（鄧健吾）先生、高橋由利子先生、色川大吉教授の御逝去 …	240
【追悼】上山安敏先生の御長逝を悼みて	243
（参考 1）上山安敏先生略年譜（1）、（2）	244、246
（参考 2）上山安敏先生単行書目録	248
（参考 3）上山安敏先生追悼文追加紹介	252
（参考 4）法制史関係最近刊紹介	252
（追悼文）	
上山安敏先生を偲ぶ	國學院大學名誉教授 小林 宏245
上山安敏先生の御指導	作家、元日本大学法学部教授 新井 勉247
論文の戒め：田中周友先生と上山安敏先生—上山安敏先生追悼—	
.....	京都大学法学系教授 佐々木 健249
【附録】警察史研究部会等作成資料抄	
1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』（警 察政策学会資料第 110 号、令和 2（2020）年 5 月 8 日刊）目次一覧	253
2 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第 二輯【上・下冊】）』（警察政策学会資料第 114 号、第 115 号、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）目次一覧	258
3 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代 警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷、令和元 （2019）年 10 月 1 日刊）目次一覧	261
4 『大警視だより』続刊目次一覧（続々・第 13～15 号分）	262
5 その他	266
（参考）警察史研究会及び同会誌『手眼』（全 3 号）の概要	266
【コラム】（第 11 篇 歴史地理その他（補遺））	
曾我兄弟の仇討雑感—日本三大仇討の一つ—	大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一 268
跋	269
【簡便索引】	272

5 警察政策学会資料第130号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第四輯)』
(警察政策学会資料第130号、警察史研究部会編、令和5(2023)年8月刊)

(同学会HP〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。)

〈<http://203.138.30.128/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC130%E5%8F%B7.pdf>〉

〔目 次〕

序文 警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬 權	(1)
〔凡 例〕	(5)
目 次	(7)
「昭和97年」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永	1
「バタフライエフェクト」 大警視川路利良研鑽会名誉会長 川路 利永	4
2022(令和4)年とは—「悟性的な笑い」と「利他の心」	
警察政策学会警察史研究部会長 大警視川路利良研鑽会会長 廣瀬 權	7
大警視と東京(アズマ)獅子—所謂南洲暗殺事件の真相—	
大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫	10
大警視が見た近代警察 大警視川路利良研鑽会会員 笠井 聰夫	14
元警察政策学会警察史研究部会員中山好雄氏の御逝去を悼みて	17
横須賀の「官修墓地墓前祭」の運営について((参考)令和5(2023)年度	
「官修墓地墓前祭」紹介) 警察政策学会警察史研究部会員 臼井 良雄	18
神川武利氏著作年譜抄—『近代警察史関係文献目録抄』補遺の一として—	21
【特別寄稿】瀧川政次郎博士の喜壽の「謝辞」と米壽の「挨拶」	
國學院大學名誉教授 小林 宏	24
(参考1)瀧川政次郎博士略年譜・著作目録関係資料抄	28
【特別寄稿】親を「不孝する」ということ—中世における不孝の罪責と親子関係断絶—	
國學院大學栃木高等学校教諭 瀬賀 正博	30
【特別寄稿】企画展開催のよろこび—「動物たちの江戸時代」(2023年3月14日~28日)	
慶應義塾大学文学部古文書室研究員 重田 麻紀	33
【特別寄稿】高橋均先生(東京外国語大学名誉教授)「『六朝論語注釈史の研究』—六朝の人たちは論語をどう読んだのか」	36
【特別寄稿】都市と警察:ポリスのポリス 京都大学法学系教授 佐々木 健	38
【特別寄稿】市場警察:ローマの公正取引 京都大学法学系教授 佐々木 健	41
【追悼】柴田光蔵先生の御逝去を悼みて	44
【特別寄稿】行政争訟制度史研究の課題—埼玉県における訴願裁決事例の紹介をかねて—	
神戸大学大学院法学研究科教授 小野 博司	46
【特別寄稿】満鉄図書の旅、満鉄図書への旅	
警察政策学会警察史研究部会員(福島大学行政政策学類准教授) 阪本 尚文	48

駒ヶ岳と義仲と北条氏の末裔——ランニングで巡る歴史旅日記 5	
大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一	53
日本百名山駒ヶ岳 4 座踏破と長岡藩家老河井継之助——ランニングで巡る歴史旅日記 7	
大警視川路利良研鑽会会員 松宇 正一	57
【川路大警視関係記事紹介】	6
【川路大警視関係新刊紹介】	9
【新刊紹介】	23
【訃報】	45
【『大警視だより』些論】（影法師）⑥～⑬ （⑥：17, ⑦：23, ⑧：23, ⑨：61, ⑩：16, ⑪：16, ⑫：59, ⑬：64）	
【附録】警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧	60
（紹介）本輯所載「【『大警視だより』些論】（影法師）」の件	61
跋.....	62
〔簡便索引〕（執筆者索引）	63

6 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第五輯）』（警察政策学会資料第 138 号、令和 6（2024）年 12 月刊）（令和 7（2025）年 1 月 4 日追加）

（同学会 HP 〈<http://www.asss.jp/>〉にアップ済。）

〈 <http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99%E7%AC%AC138C.pdf>〉

〔目 次〕

序文＋〈情報の海に漂う「価値」～ピカソかピカチュウか～

警察政策学会警察史研究部会長 新谷珠恵……………（1）

〔凡 例〕……………（7）

第 1 編 廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念集 1

【謹告】警察政策学会警察史研究部会長及び大警視川路利良研鑽会前会長の交代……………1

「Hello,Goodbye」 大警視川路利良研鑽会会長 川路利永……………1

【特別寄稿】講演に際しての雑感—廣瀬権会長の御退任を惜しみて—

慶應義塾大学文学部古文書室 重田麻紀……………2

第 2 編 新谷珠恵警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長就任記念集 5
就任御挨拶

警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長 新谷珠恵……………5

第 3 編 武藤誠先生記念集……………9

（再録）武藤誠先生「西郷と大久保の手を握らせよう」『みなみの手帖』第 13 号（昭和 50

（1975）年 8 月 30 日刊）（附載：御令室武藤都喜子様御書翰）……………9

第 4 編 川路名誉会長様御講演会特集……………12

【川路名誉会長様御紹介】……………12

警視庁創立 150 年によせて—川路大警視あれこれ（御講演要旨）……………13

閉会挨拶—川路名誉会長様、川路家の益々の御発展を祈念して—

大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………16

松井幹郎先生、加藤晶会長と大警視川路利良研鑽会、『大警視だより』

及び『大警視だより』続刊のこと……………16

【紹介】本令和 6（2024）年度「川路大警視研鑽」企画一覧……………8

川路大警視の展墓について 警察政策学会警察史研究部会員 小野田博光……………18

第 5 編 川路大警視検討集……………19

【特別寄稿】田原坂：警察と近代と紙幣と

京都大学法学系教授 佐々木 健……………	19
警察手眼と牧民之書 大警視川路利良研鑽会会員 笠井聰夫……………	21
井黒弥太郎『追跡 黒田清隆夫人の死』を読む 警察政策学会警察史研究部会・大警視川路利良研鑽会顧問 廣瀬 權……………	23

第 6 編 「浦郷官修墓地」関係集……………	31
官修墳墓について 警察政策学会警察史研究部 小風 明 ……	31
令和 6 年度横須賀市「浦郷官修墓地墓前祭」と警視総監から 横須賀・深浦町内会へ感謝状贈呈 警察政策学会警察史研究部会員 臼井良雄…	35

第 7 編 法制史・警察史研究その他……………	36
【特別寄稿】五十而知天命—「外地法制誌」と中村渉— 大阪大学大学院高等司法研究科教授 小野博司……………	36
【特別寄稿】1939 年度『大塚久雄先生講義プリント』をめぐって 警察政策学会警察史研究部会員 福島大学行政政策学類准教授 阪本尚文……………	38
ある日の久保正幡先生—北康宏教授御新著『中田薫』に接して— 警察政策学会警察史研究部会員 吉原 丈司……………	40
元警察大学校資料主幹・渡辺忠威先生を偲ぶ 元広島県広島南警察署長 松岡一正……………	42
元警察政策学会警察史研究部会員齋藤眞康氏の御長逝を悼む ……	4
【謝辞】小杉修二部顧問格部会員・会員の御退会に寄せて ……	47
神奈川県警察雇チェー・ブレメルマンについて 警察政策学会警察史研究部会員 小野田博光 ……	44
高千穂峰と坂本龍馬——ランニングで巡る歴史旅日記 9 大警視川路利良研鑽会会員 松宇正一……………	48
【附録】警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧（抄） ……（7） （参考）川路利永名誉会長、新谷珠恵部会長及び廣瀬權顧問最近著作目録（抄） ……	51
【史料紹介】……………30 【新刊紹介】（抄）……………（8） 跋……………51 [簡便索引]（執筆者等索引）……………52	

7『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会資料・別冊。警察政策学会、平成 26(2014)年 11 月 7 日刊) 目次一覧

(『武藤誠先生略年譜・著作目録』は、後に警察政策学会資料第 110 号(令和 2(2020)年 5 月 8 日刊) 190～192 頁に一部抄録。後者は警察政策学会 HP にもアップされている〈<http://www.asss.jp/>〉。⇒

〈<http://www.asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99110.pdf>〉)

〔目 次〕

武藤 誠先生御遺影

序 文 警察政策学会警察史研究部会長 加藤 晶 ……………(1)

〔例 言〕 ……………1

〔目 次〕 ……………2

I 略年譜 ……………5

II 著作目録 ……………11

1 著書 ……………11

2 編書 ……………13

3 警察全般、警察史関係論説その他 ……………13

4 (再掲)「武藤 誠著作目録」(平成 17(2005)年 6 月 18 日(土)開催警察政策学会平成 17 年度第 1 回警察史研究部会配布の自編著作目録を改訂したもの。掲載順序、見出し番号を変更した。一部補正、追加あり。) ……………28

(参考)「武藤 誠著作目録」(平成 17(2005)年 6 月 18 日(土)開催警察政策学会平成 17 年度第 1 回警察史研究部会配布の自編著作目録)(最新掲載は平成 17 年 5 月分。見出し番号、頁数は同目録のもの) ……………29

(1) 警察学論集(警察大学校編集、立花書房) ……………30

(2) 警察公論(立花書房) ……………31

① 論説 ……………31

② 住民に慕われた人たち—市民応接のポイント— 31

③ 警察官のけん銃使用 ……………32

④ 我が国警察の特色・成立の経緯より ……………33

⑤ 警察とマスメディア ……………34

⑥ 補佐役達の群像 ……………34

⑦ 短編 ……………36

(3) 季刊現代警察(啓正社) ……………36

① 論説 ……………36

② 管理 ……………43

(4) 月刊警察 [⇒月刊警察 Valiannt] (東京法令出版) …	46
① 巻頭随筆 (初出時「巻頭随想」) …	46
② マスコミ・エンマ帖 (連載コラム) …	49
③ 世界の治安 …	60
④ 管理 …	69
⑤ 事件記録 (刑事指導官覚え書) …	72
⑥ 小説 …	74
⑦ 近代警察の源流 明治の夢 …	76
⑧ 近代警察の源流 動乱のなかの警察官たち (追加) …	78
⑨ その他 (追加) …	80
(5) 捜査研究 (東京法令出版) (追加) …	80
(6) 週刊 世界と日本 (内外ニュース) …	81
(7) 一般 …	98
① 警察関連 …	98
② その他 …	101
III 著作以外 …	106
1 講演 …	106
2 シンポジウム・座談会 …	106
3 挨拶 …	106
4 インタビュー …	107
5 石碑建立 …	107
6 警察政策学会警察史研究部会設置 (平成 13 年) 以前の「警察 史研究会」(昭和 60 (1985) 年 9 月~平成 12 (2000) 年) 及 び同会誌『手眼』 …	107
(1) はじめに …	107
(2) 「警察史研究会」の概要 …	108
(3) 会誌『手眼』の概要 …	109
7 『警察協会雑誌目次集=警察政策百年の論述=』 …	111
8 幕末期柳川藩史及び綿貫吉直研究 …	112
9 武藤 誠先生追悼記事抄 …	112
跋 …	113
(お願い) …	114
〔人名索引〕 …	115

8 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷、令和元（2019）年10月1日刊）目次一覧

〔目 次〕

『近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』発刊に当たって 警察政策学会警察史研究部会長 廣瀬 権 ……	(1)
〔凡 例〕 ……	(4)
第1編 大警視川路利良関係文献抄 ……	1
第2編 警察関係者警察史著作目録 ……	67
第1 高橋雄豺博士著作目録 ……	67
第2 田村豊氏著作目録 ……	118
第3 有光金兵衛氏著作目録 ……	129
第4 種村一男氏著作目録 ……	138
第5 中原英典氏著作目録 ……	145
第6 武藤誠氏著作目録 ……	165
第7 渡辺忠威氏著作目録 ……	205
第8 加藤晶氏著作目録 ……	215
第9 鳴海國博氏著作目録 ……	220
第3編 その他 ……	224
第1 ヘーン大尉関係文献抄 ……	224
第2 明治中葉警官練習所訳官及び筆記者関係文献抄 一続 ヘーン大尉関係文献抄— ……	233
第3 明治35（1902）年台北刊行の『警察監獄学雑誌』検討一斑 一続々 ヘーン大尉関係文献抄— ……	239
第4 『警察協会雑誌』発行表 ……	245
第5 内務省関係者自伝・回想録・追悼録類抄 ……	259
第6 大森鍾一『直興遺篋抄』覚書 ……	269
〔簡便索引〕 ……	280
跋 ……	281
（別添）特別調査研究補助申請書（抄） ……	282

コラム1 頑鉄後藤狂夫とは誰ぞ ……	144
コラム2 雑誌『警察春秋』とは何ぞ ……	223
コラム3 頑鉄生（後藤狂夫）「警察界に不可忘田山宗堯氏」余話 ……	238

（追記1）

・「福永英男前部会長略年譜・著作目録（初稿）—福永英男前部会長の御業績を偲びて—」

警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第二輯）—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【上冊】』（警察政策学会資料第 114 号、令和 3（2021）年 5 月 8 日刊）は、上記「第 2 編 警察関係者警察史著作目録」の続編の意味を有する。

（追記 2）

・「神川武利氏著作年譜抄—『近代警察史関係文献目録抄』補遺の一として—」警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—（第四輯）』（警察政策学会資料第 130 号、令和 5（2023）年 8 月刊）は、上記「第 2 編 警察関係者警察史著作目録」の続編の意味を有する。

（追記 3）

・作成中（松井茂博士、土屋正三氏その他）

【参考】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 5 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「「明治警察史コーナー」所載項目一覧」（令和 4（2022）年 8 月 5 日（金）追加）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichiran003.pdf>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安禪撰— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshohi.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「高橋雄豺博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

（了）

(改頁 16) *****

【目次再掲】

大警視川路利良関係文献抄—『警察手眼』検討を中心として—
—（附録）『大警視だより』及び『大警視だより』続刊等紹介—

（改訂稿・第五十八次補正稿）

（令和 7（2025）年 4 月 23 日（水）現在）

〔目 次〕

（掲載経緯）	7
（改訂年月日一覧）	8
（改訂経緯）	10

(改頁 1) ***** 15

1 はじめに（省略）	15
（仮序）	15
【関連事項】	15
【関連事項補正】	16
【参考事項】	17
（1）「幕末掃苔屋 公式ブログ」	17
（2）本 HP 別稿一覧	17
（3）大警視川路利良研究関係記事抄	18

(改頁 2) ***** 23

2 関係文献等の概要	23
（1）戦前	23
ア 単行書	23
（ア）明治年代（明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29）	23
（イ）大正年代（大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24）	25
（ウ）昭和戦前期（昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15）	25

(改頁 3) ***** 27

イ その他	27
-------	----

(ア) 明治年代（明治元年～明治 45 年、1868.9.08～1912.7.29）	27
(イ) 大正年代（大正元年～大正 15 年、1912.7.30～1926.12.24）	28
(ウ) 昭和戦前期（昭和元年～昭和 20 年、1926.12.25～1945.8.15）	28

(改頁 4) ***** 30

(2) 戦後	30
ア 単行書	30
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	30
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	34
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	39

(改頁 5) ***** 42

イ その他	42
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	42
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	46
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	54

(改頁 6) ***** 59

ウ 小説類（含漫画）抽出	59
--------------	----

(改頁 7) ***** 64

3 『警察手眼』関係限定	64
(1) 戦前（明治元年～昭和 20 年、1868.9.08～1945.8.15）	64
ア 単行書	64
イ その他	65
(2) 戦後（昭和 20 年～、1945.8.16～）	65
ア 単行書	65
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	65
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	66
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	67
イ その他	67
(ア) 昭和戦後期（昭和 20 年～昭和 64 年、1945.8.16～1989.1.7）	67
(イ) 平成年代（平成元年～平成 31 年、1989.1.8～2019.4.30）	67
(ウ) 令和年代（令和元年～、2019.5.1～）	68

(改頁 8) ***** 69

- (3) 関係者別69
 - ア 佐和正（校閲者）69
 - イ 丁野遠影（「緒言」の執筆者）71
 - ウ 植松直久（編纂者）72

(改頁 9) ***** 72

- 4 その他（1 記念関係）73
 - (1) 旧邸（東京）73
 - (2) 頌徳碑（東京）74
 - (3) 弥生慰霊堂（東京）（抄）74
 - (4) 銅像（東京）（抄）74
 - (5) 警視庁（東京）74
 - (6) 警視庁創立 150 年関係（東京）75
 - (7) 鹿児島での記念碑等（抄）75

(改頁 10) ***** 77

- 5 その他（2 資料類）77
 - (1) 『警察協会雑誌目次集＝警察政策百年の論述＝』関係77
 - (2) 警察史研究会会誌『手眼』全三冊内容概略78
 - (3) 雑誌『敬天愛人』80
 - (4) 川路利良漢詩集81
 - (5) 警察政策学会警察史研究部会等作成資料一覧82
 - (6) 調査中84

(改頁 11) ***** 85

- (附録 1) 『大警視だより』及び『大警視だより』続刊紹介85
 - (1) 旧『大警視だより』（『大警視だより』。鹿児島・「大警視川路利良」研究会刊 ⇒ 大警視川路利良研鑽会刊）85

(改頁 12) ***** 88

- (2) 新『大警視だより』（『大警視だより』続刊）。東京・大警視川路利良研鑽会刊） 88
 - ・『大警視だより』続刊第 1 号（通巻第 30 号、平成 28（2016）年 3 月 31 日刊） …88
 - ・『大警視だより』続刊第 2 号（通巻第 31 号、平成 28（2016）年 8 月 1 日刊） …89

・『大警視だより』続刊第 3 号（通巻第 32 号、平成 29（2017）年 1 月 1 日刊）…	90
・『大警視だより』続刊第 4 号（通巻第 33 号、平成 29（2017）年 7 月 1 日刊）…	91
・『大警視だより』続刊第 5 号（通巻第 34 号、平成 30（2018）年 1 月 1 日刊）…	92
・『大警視だより』続刊第 6 号（通巻第 35 号、平成 30（2018）年 7 月 1 日刊）…	93
・『大警視だより』続刊第 7 号（通巻第 36 号、平成最終号、平成 31（2019）年 1 月 1 日刊）…	93
・『大警視だより』続刊第 8 号（通巻第 37 号、加藤晶会長追悼号、令和（2019）元年 7 月 1 日刊）…	94
・『大警視だより』続刊第 9 号（加藤晶会長追悼号Ⅱ、通巻第 38 号、令和 2（2020）年 1 月 1 日刊）…	95
・『大警視だより』続刊第 10 号（加藤晶会長追悼号Ⅲ、復刊第 10 号記念号、通巻第 39 号、令和 2（2020）年 7 月 1 日刊）…	96
・『大警視だより』続刊第 11 号（加藤晶会長追悼号Ⅳ、通巻第 40 号、令和 3（2021）年 1 月 1 日刊）…	97
・『大警視だより』続刊第 12 号（福永英男前部会長追悼号、通巻第 41 号、令和 3（2021）年 7 月 1 日刊）…	98
・『大警視だより』続刊第 13 号（松井幹郎先生追悼号、通巻第 42 号、令和 3（2021）年 10 月 13 日刊）…	99
『大警視だより』続刊第 14 号（福永英男前部会長追悼号Ⅱ、通巻第 43 号、令和 4（2022）年 1 月 1 日刊）…	100
・『大警視だより』続刊第 15 号（松井幹郎先生追悼号Ⅱ 原田弘先生追悼号、通巻第 44 号、令和 4（2022）年 7 月 1 日刊）…	101
・『大警視だより』続刊第 16 号（通巻第 45 号、令和 5（2023）年 1 月 1 日刊）…	102
・『大警視だより』続刊第 17 号（通巻第 46 号、令和 5（2023）年 7 月 1 日刊）…	103
・『大警視だより』続刊第 18 号（通巻第 47 号、令和 6（2024）年 1 月 1 日刊）…	104
・『大警視だより』続刊第 19 号（廣瀬権警察政策学会警察史研究部会長・大警視川路利良研鑽会会長退任記念号、通巻第 48 号、令和 6（2024）年 7 月 1 日（月）刊）…	105
・『大警視だより』続刊第 20 号（復刊第 20 号、創刊第 50 号記念号、通巻第 50 号（通号変更（「臨時特別号」を加算）、令和 7（2025）年 1 月 1 日刊）…	107
・『大警視だより』続刊第 21 号（通巻第 51 号、令和 7（2025）年 7 月 1 日（火）刊）、…	109
【参考】『大警視だより』続刊発行「追悼号」、「記念号」紹介…	110

(附録 2) (関係分重複掲載) 警察政策学会警察史研究部会作成関係資料……………	111
(1) 「警察政策学会資料」……………	111
(2) 「警察政策学会学会資料・別刷」……………	112
(附録 3) (関係分重複掲載) 大警視川路利良研鑽会刊行物……………	112

(改頁 14) ***** 113

(附録 4) 警察政策学会警察史研究部会作成「警察政策学会資料」抄—『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』関係—……………	113
1 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—』(警察政策学会資料第 110 号、令和 2 (2020) 年 5 月 8 日刊。「第一輯」に相当。) 目次一覧……………	114
2 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第二輯)—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【上冊】』(警察政策学会資料第 114 号、令和 3 (2021) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧……………	119
3 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第二輯)—武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集—【下冊】』(警察政策学会資料第 115 号、令和 3 (2021) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧……………	121
4 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第三輯)—福永英男氏・原田弘氏・松井幹郎氏追悼論集—』(警察政策学会資料第 122 号、令和 4 (2022) 年 5 月 8 日刊) 目次一覧……………	123
5 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第四輯)』(警察政策学会資料第 130 号、令和 5 (2023) 年 8 月刊) 目次一覧……………	128
6 警察政策学会警察史研究部会編『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第五輯)』(警察政策学会資料第 138 号、令和 6 (2024) 年 12 月刊) 目次一覧……………	130
7 『武藤誠先生略年譜・著作目録』(警察政策学会資料・別冊。警察政策学会、平成 26 (2014) 年 11 月 7 日刊) 目次一覧……………	132
8 警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷、令和元 (2019) 年 10 月 1 日刊) 目次一覧……………	134

(改頁 15) ***** 136

【参考】明治警察史コーナーHP 項目一覧 (抄)……………	136
-------------------------------	-----

(改頁 16) ***** 136

【目次再掲】……………	137～141	(了)
-------------	---------	-----